



専科一期生の活動記録

(H21.4.1~R3.3.31)

思い出の踏み跡



伊奈学園専科一期の会

表紙絵はまちづくりコース 山田泰子さんの作品です

専科一期の会思い出の踏み跡発刊に寄せて

専科一期の会会長 瀧澤 正高



昨年は新型コロナウイルス・世界の感染者 4040 万人、死者は 111 万人超す
ざましい勢いで今も増加しています。紛争や自然災害に加え、新型コロナ
ウィルスの感染拡大で飢餓の状況が厳しさを増している昨今、令和 2 年の
ノーベル平和賞を飢餓の現場に食料を届ける「国連世界食糧計画」に授与
することが決まりました。地球を救うには気候変動アクションで社会を変

えていかねば成らないと思います。サステナブル・リカバリーの考え方が必要と思われま
す。一人一人の環境に対する考え方を強くすることが求められます。

専科一期を卒業して 12 年が経過しました。長いようで短い期間でした。大勢の皆さんの協
力のお陰で今まで継続して頂き感謝しています。「ワンコインで、オリンピックまで楽しく
団結」の合言葉で続いてきました。2020 東京オリンピック・パラリンピックは残念ながら
2021 年に延期されました。

専科一期の会ホームページは岡村さんのご尽力により他の校友会より充実した内容で読み
応えがありました。クラブ活動では手話ダンス同好会、太極拳クラブ、俳句ゆめクラブ、
俳句遊クラブ、グラウンドゴルフ、卓球クラブ等の活動報告をいただき、ホームページ掲
載の内容がとても充実になり感謝申し上げます。

長い現役時代を引退して、いきがい大学伊奈学園に入学して色々な事を学び、良き仲間も
出来て、充実した人生を歩むことが出来たのは望外の喜びです。

「思い出の踏み跡」集を発刊し、皆様に読んで頂けることはこの上ない喜びです。
皆様の今後のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

専科一期校友会の仲間の出会いはここから始まる

専科一期の会HP管理人 岡村昭則



いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から新しく開設された一年制課程コースで、従来の一年制課程よりも、より実践的な学習につとめ、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして、活躍することを目的として開設されました。思い返せば、私達の出会いは平成21年4月17日に「さいたま市文化センター」で行われた「いきがい大学入学式」に始まり、初めての顔合わせは4月20日に県民活動センターで行われた「いきがい大学伊奈学園始業式」です。一年制コースは、健康づくりコース、郷土を知るコース、まちづくりコースと3コースがあり、入学された皆さんは、それぞれが目標を持ち、期待を寄せながら各コースを目指したことでしょう。始業式が終われば、コース別の部屋でそれぞれの自己紹介が始まると、初めての出会いなので聞くことすべてに新鮮な反響がありました。

5月12日、自治会役員とクラブ役員を選出では、特に自治会役員選出には自発的に引き受けてくれる人も少なく難儀したことは言うまでもありません。何とかコース別の自治会役員も決まり、5月26日の自治会設立総会にこぎ着けることが出来ました。総会前にコース役員全員で、役職、規約、事業計画、予算等を審議して設立総会の準備も終わりました。5月26日の自治会設立総会では、提案された4議案で大揉めしましたが、修正されて了承されました。ここに専科一期生自治会はスタートし、イナ・ヴォイス委員会とホームページ委員会も活動を開始しました。

事業計画の目玉は学園祭と社会見学です。特に学園祭の取組は、学園祭運営の裏方としての取組と、各コースの出し物の取組があり、約5ヶ月間の準備が大変だったことは言うまでもありません。専科一期生も猛練習して出演し成功裡に終わりました。社会見学は群馬県の水澤寺と、明治の近代化を支えた旧官営富岡製糸場の見学です。当時、富岡製糸場は世界遺産に登録されていなかったもので混雑もなく見学することが出来ました。

また、クラブ活動も卓球クラブをはじめ8クラブが設立され、大勢の方が参加され楽しく活動していましたが、瞬く間に卒業が目の前に迫ってきました。卒業前に自治会から校友会に切り替えるために、22年3月9日に専科一期自治会解散総会と専科一期校友会設立総会が開催され、ここに専科一期校友会のスタートの運びとなりました。

専科一期生の半数以上が卒業後、二年生に進学されたことから、進学された方が二年制を卒業されるまでは専科一期校友会も順風満帆でしたが、二年制を卒業されると退会者も多くなり会員は減少の一途となり、会長を二回続けた田中忠さんの提案から、何しろ東京オリンピックまで校友会を維持することをモットーに、校友会運営を見直して26年3月に伊奈連協を退会し、更なる会員の減少から大きく構造改革された「ゆるやかな専科一期の会」を発足させ再スタートして今日に至っています。東京オリンピック終了を一つの区切りとして、12年間仲間と交流した思い出を人生の中の1ページとして残したいの一心で「思い出の踏み跡」を編集してきました。新型コロナウイルスの世界的な流行でオリンピックも延期されたものの不透明な状況です。コロナ感染防止の影響で校友会活動も大きな影響を受ける中で、「思い出の踏み跡」を皆様にお届けできることはこの上ない喜びです。心の本箱に格納し、末長く愛読していただけることを願ってやみません。

目 次

- 専科一期生として12年にわたる踏み跡発刊について
専科一期の会の仲間の出会いはここから始まる
- 01、専科一期生自治会設立総会
02、自治会事業計画・実施
03、平成22年3月15日専科一期生卒業記念写真
04、卒業懇親会風景
05、専科一期の会・会員数の変遷・各年度会長名と各年度予算・決算
06、校友会事業各年間別会員参加者延べ人数
07、HPに活動を掲載したクラブと各コースの各年間別会員参加者延べ人数
08、H21年度～R2年度別校友会活動報告
09、各クラブ別活動紹介
10、あとがき
- 一期の会会長
HP管理人
- 副会長

★別冊 12年間を振り返っての「思い出の記」に32名の投稿をいただきました。ありがとうございました。



いきがい大学伊奈学園専科一期生として



いきがい大学入学式

いきがい大学伊奈学園

始業式

★いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、それまでの一年制課程よりも、専門別に特化して、より実践的な学習につとめ社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域社会のリーダーとして、活動することを目的として設置されました。私たちは名誉ある専科コース一期生として入学しました。

★4月17日の入学式では、「いきがい大学は高齢化の進む中で昭和51年設立以来27、000名を越える卒業生を輩出してきました。高齢化率20%を超え、年金・医療等、問題になっています。入学された皆さんには元気で活力のある地域社会作りに活躍して頂く様、期待いたします。いきがい大学では広く仲間を見つけ、多いに仲間との交流を深めて、楽しい学園生活を送ってください」と学長の上田清司県知事の祝辞を受けました。

いきがい大学に想いを馳せ、明るい希望に満ちた気持ちでいっぱいであり、いきがい大学で勉学に励み、今後の学習を踏まえ、ふるさと埼玉のため、地域社会の一員として貢献できる様、努力する。決意を新たにさせる、入学式でした。

専科一期生自治会設立総会 (H21. 5. 26)

自 自治会役員の紹介

自治会長	鈴木 玉太郎 (健康づくりコース)
副会長	若林 今朝六 (健康づくりコース)
副会長	齊藤 晃 (郷土を知るコース)
副会長	石田 孝彦 (まちづくりコース)
会計主幹	新井 貞男 (健康づくりコース)
会計	岡田 時雄 (郷土を知るコース)
会計	吉沢 幸男 (まちづくりコース)
監事	浅見 法子 (郷土を知るコース)
監事	大島 修 (まちづくりコース)
理事	イナ・ヴォイス委員 2名 (各コース2名から選出)
	ホームページ委員 2名 (各コース3名から選出)
	各コース理事3名 9名
計	役員 22名
クラブ	卓球、墨彩、朗読、太極拳、陶芸、パソコン、囲碁
	グラウンドゴルフ

自治会事業計画・実施

事業名	月 日	場 所	摘 要
第1期専科学生自治会設立総会	平成21年 5月26日	県民活動総合センター	会則、事業計画、予算、役員の決定
★校内環境美化運動	9月～11月	県民活動総合センター	2年制と連携し実施
★社会見学	9月29日	富岡製糸場外	担当：健康づくりコース
★学園祭	10月21日～22日	県民活動総合センター	各コース、各クラブの演技。 主担当：郷土を知るコース
ホームページの運営	平成21年10月 22年3月		(別途委員会を構成) うち2名を理事に選出
イナ・ヴォイスの運営	平成21年10月 22年3月		(別途委員会を構成) うち2名を理事に選出
第一期学生自治会解散総会	平成22年3月9日	県民活動総合センター	
第一期生校友会設立総会	平成22年3月9日	県民活動総合センター	

●校内環境美化運動＝11/2 伊奈学園敷地内＝

11月2日早朝、小雨の中で県活センターの美化活動を実施しました。専科の3クラスが氏家所長の号令で作業開始、表通り前面の花壇予定地に点在する大石・小石を集中的に清掃。約30分間の活動でした。



●社会見学会＝21.9/29 水澤寺～旧富岡製糸場＝

伊奈学園専科コースに入学して1年間の学習計表をいただき、目を通して一番楽しみにしていたのは、誰しも県外社会見学ではなかったのではないのでしょうか。今回は健康づくりコースの皆さんが担当し企画されました。

★水澤寺



初紅葉千手観音像拝す
山寺の初そばを買い土産とす

梅田 博
岡村昭則

★旧富岡製糸場



製糸工場前にサルビア燃えにけり
織り姫の明治の秋を偲びけり

梅田 博
岡村昭則



●いきがい大学伊奈学園第20回学園祭=10.21~22 県民活動センター=

二日間県民活動総合センターで開催されました。21日(水)は小ホールで在校生(専科)、各クラブの演技発表、中央通路ではバザーの開催。22日は小ホールで校友会(OB)の活動事例発表、在校生(19期、20期)の演技発表が行われました。発表会では日ごろ練習してきた成果を十分に発揮されて、会場で盛大な拍手喝采をうけました。又、20日から23日まで1階展示コーナーで創作品展示があり、多くの作品が出品されました。



第20回伊奈学園祭 専科 郷土を知るコース



第20回伊奈学園祭 専科 健康づくりコース

専科第一期生修業式行わる！

3月9日、セミナーホール2で専科第一期生の修業式が執り行われました。まずは36回の講座日程を休むことなく出席されたみなさんに、いきがい大学学長（代読伊奈学園氏家所長）から36名（郷土を知るコースが一番多い15名）の方が授与されました。

授与終了後、氏家所長から卒業生を前に挨拶がありました。「伊奈学園専科一期生として各地域から集い、ここでの新しい出会いや培った



ことを大

切にさせていただき、一過性のものとしてではなく、活動することで人生を豊かにしてほしい。また、最近、亡くなった二十年前の一期卒業生が伊奈学園で学んだ感動を忘れることなく日常生活の中で活かし続けた素晴らしさに、その子供さんも感動して専科に入学して二年制に進みたい」という話も披露して挨拶を締めくくりま

したが、私も卒業後は学んだことを地域で生かしたいと思います



専科第一期学生自治会解散

昨年5月26日に自治会が設立されて以来、今日までの事業報告、会計報告等の議案が提出されて、残金は次期校友会に引き継ぐことを含め拍手で承認され、自治会は解散しました。自治会役員の皆様、一年間お疲れ様でした。引続き専科第一期校友会設立総会が開催されました。

専科第一期校友会設立！

郷土を知るコースの次期校友会副会長候補の北氏さんが司会を務め、次期校友会会長候補の田中忠さんを議長等に出し、校友会設立に向けて議事進行をすすめ、校友会会則、活動計画、予算案、役員等の議案説明後、満場一致で承認され専科第一期校友会は設立されました。新任役員紹介を



を行い総会は終了しました。会員の方々が気楽に参加できる校友会作りを、郷土を知るコースが先頭に立って準備に取り組んで来ました。この一年間、振り返りましても、「郷土を知るコース」は、班編成、全員の写真一覧配布、各班の懇親会、ホームページの充実、全員による学園祭の参加、新年会開催、文集作成、卒業後の「郷土会の結成」等様々な活動を行い、大変有意義な学園生活を送ってきました。これもクラスメートの協力なくしては出来ないことで感謝あるのみです

専科第一期生卒業懇親会

校友会設立後、卒業懇親会実行委員会幹事「まちづくりコース」の担当で会場を伊奈学園から大宮・東天紅に移して専科第一期生卒業懇親会が開催され、自治会長や氏家所長の挨拶後、懇親会が始まりました。



三コースが一同に集うのは初めてのことで大変な賑わいとなりました。個人的には、クラブ活動に参加して他の専科コースの人たちとの交流を深めたとはいえ、他のいきがい大学や伊奈学園二年制課程と同様に専科にも宿泊研修があったならば、もっと三コースの皆さんとの交流が深まったのではないかと思います。クラブ活動報告や余興の後、伊奈学園以外のいきがい大学の朝夕の挨拶歌である「四季の歌」と「今日の日はさようなら」をみんなで歌って閉会となりました。



斉藤さんの乾杯



氏家所長の挨拶



専科第一期生も卒業しました！

3月15日、埼玉会館ホールで平成21年度彩の国いきがい大学卒業式が行われました。卒業生は1111名、その中で伊奈学園専科卒業生は117名です。今年の卒業式の特徴は、平成21年度から初めて伊奈学園と東松山学園に開設した専科一年制課程第一期生が卒業式に加わったことです。まずは式次第に従って、「埼玉県歌」から始まりましたが、会場の皆さんも歌い慣れていないことから戸惑いを感じながら歌っていました。



次に学長である埼玉県知事から卒業証書授与に移りましたが、3分ともかからずに終わったために会場からそのあつけなさにため息がもれました。話し上手な知事はそのことを察し挨拶の中に織り込み、まずは70歳を過ぎた場合に平均して、女性は19・29歳、男性は14・8歳生きられることの統計を話され、演出家蜷川幸雄が主宰する彩の国さいたま芸術劇場による55歳以上の高齢者演劇集団「ゴールドシアター」の最高年齢の方は、80歳であることを披歴。埼玉県立大学開校十周年記念講演した、脳機能イメージングを用いたヒトの脳高次機能を研究している脳科学者川島隆太教授の話

を引用し、長生きの秘訣として脳を鍛えることで①毎日読み書きをすること。メールを1とすれば、パソコンは3倍、手書きは15倍と抜群に優れていること。②グループで活動すること。③頭を使いながら手を使うこと（特に料理作り）等を面白可笑しく語っていました。上田知事の素晴らしいところは自分の言葉で語ることです。つぎに県議会議長の挨拶、いきがい大学県連協小瀬会長はじめとする来賓紹介、祝電披露、いきがい大学川越学園自治会会長のお礼の言葉と続き、最後に「蛍の光」を斉唱して卒業式は滞りなく終わりました。最後に専科第

一期生全員で記念写真を撮って散会しました。私達は二階席から卒業式に参加しましたが、始まる前は一階よりも自由に交流風景が見られました。会場に入るや事前に斎藤科長から卒業証書を渡されました。昨年までは、卒業式終了後、伊奈学園長が渡していたとのことですから何か味気なさを感じます。学園生活を楽しんで、いろいろと勉強してきましたので一つの区切りとして卒業証書をもらうのも悪くはないですね。二階席の素晴らしいのは壇上を一





平成22年3月15日 彩の国いきが大学卒業記念 伊奈学園専科コース第1期生 於：埼玉会館

望できることでした。かくして卒業式は終わりました。

(1) 平成22年10月23日 郷士の会だより 第22号

ボランティア活動発表会
「はくつるの会」参加（10月22日）

この発表会は学園祭の中で行われていた「校友会活動発表会」と2月に開催された「ボランティア活動発表会」を統合した、初めての発表会です。

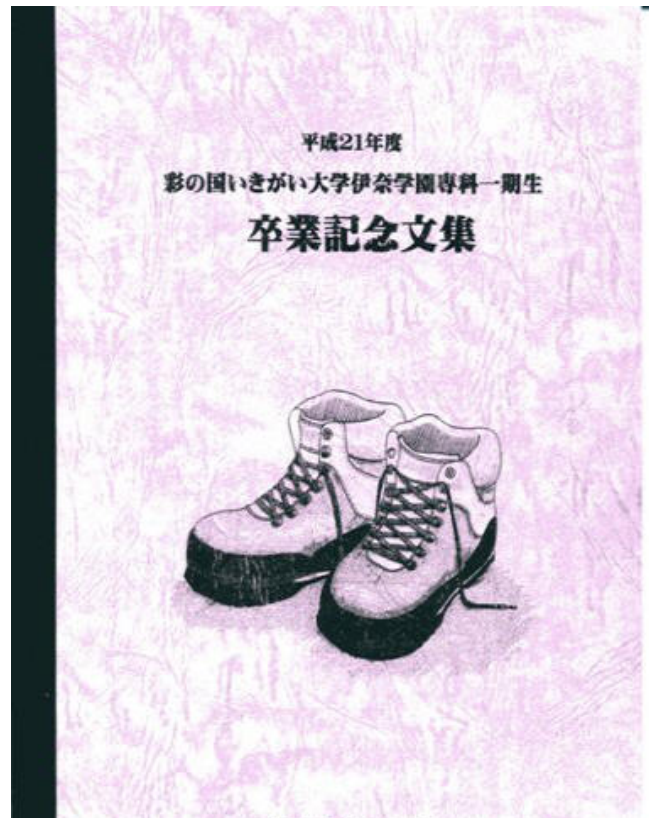
特に在校生にボランティア活動を紹介し、さらに理解を深めることをねらいとしています。

伊奈学園会長・島田実行委員長のあいさつでスタート。卒業生による5地域の活動と20のクラブの活動を各5分間の中で、効果的に発表されました。

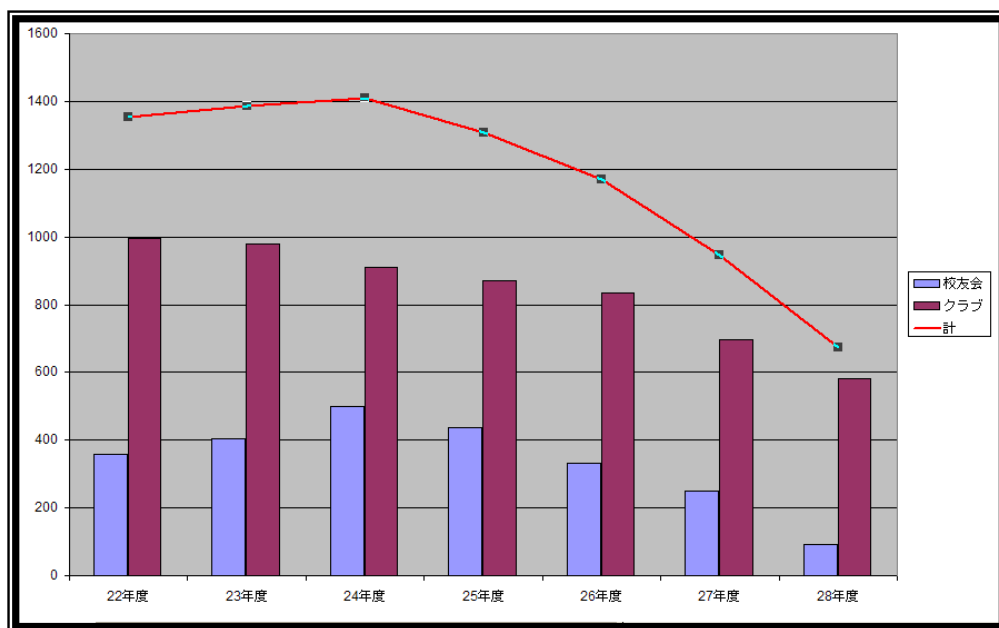
いずれの活動も地域と密着した内容で、それぞれ元氣いっばいに活動している様子を紹介しました。

資料「はくつるの会」は16番目の出場です。安藤部長の会紹介で演武開始。終結乱れぬ演技で観練習の成果を見せ、大きな拍手をもらっていました。

この発表会のために、発表者の方々、開催準備にご尽力された方々に心より感謝したいと思います。（田中 忠文・写真）



数字で見る活動状況



専科一期の会・会員数の変遷

年 度	会 長	会員数	2年制会員	会 費	備 考
H 2 1 年度	鈴木玉太郎	1 1 8 名		3, 0 0 0 円	自治会解散⇒校友会設立
H 2 2 年度	田中 忠	1 1 6 名	4 1 名	2, 0 0 0 円	
H 2 3 年度	玉置 貞明	1 0 8 名	4 1 名	”	
H 2 4 年度	角田 進	9 8 名	4 1 名	”	会則改定
H 2 5 年度	田中 忠	8 8 名	3 7 名	”	会則改定⇒伊奈連協退会議決
H 2 6 年度	蔦川 忠義	7 2 名	2 9 名	1, 5 0 0 円	
H 2 7 年度	伊藤 盛夫	5 8 名	2 3 名	”	
H 2 8 年度	安藤 允浩	5 3 名	2 3 名	5 0 0 円	会則廃止⇒運営方針決定
H 2 9 年度	久保田圭子	5 7 名	2 4 名	”	
H 3 0 年度	塙 恒雄	5 6 名	2 5 名	”	
R 1 年度	野村 侃滋	5 4 名	2 4 名	”	
R 2 年度	瀧澤 正高	5 3 名		”	

年 度	会員数	:健康コース	郷土コース	まちづくりコース
H 2 1 年度	1 1 8 名	3 9 名	4 0 名	3 9 名
H 2 2 年度	1 1 6 名	3 9 名	3 9 名	3 8 名
H 2 3 年度	1 0 8 名	3 5 名	3 7 名	3 6 名
H 2 4 年度	9 8 名	3 0 名	3 4 名	3 4 名
H 2 5 年度	8 8 名	2 8 名	2 7 名	3 3 名
H 2 6 年度	7 2 名	2 3 名	2 1 名	2 8 名
H 2 7 年度	5 8 名	1 4 名	1 9 名	2 5 名
H 2 8 年度	5 3 名	1 2 名	1 6 名	2 5 名
H 2 9 年度	5 7 名	1 4 名	1 9 名	2 4 名
H 3 0 年度	5 6 名	1 6 名	1 9 名	2 1 名
R 1 年度	5 4 名	1 6 名	1 7 名	2 1 名
R 2 年度	5 3 名	1 5 名	2 0 名	1 8 名
R 3 年度以降は会費なしの専科 1 期の会となります				

各年度予算・決算 単位は円

年 度	予 算	決 算	備 考 (予算の内訳等)
H 2 1 年度	1,383,951 円	1,371,432 円 残金 12,519 円	会費@3,000×118=354,000 円、社会見学会費、卒業懇親会会費等別途徴収
H 2 2 年度	415,279	353,538 繰越 61,741	会費 2,000×116=232,000 円、自治会・健康コース寄付金、交流会経費徴収
H 2 3 年度	266,553	188,582 繰越 77,971	会費 2,000×108=216,000 円、バス旅行残金、学習会 2 期分担金、繰越金
H 2 4 年度	279,665	195,408 繰越 84,257	2,000×57 名=114,000円、繰越金 1,850×41=75,850 円(二年制会員)
H 2 5 年度	249,180	138,522 繰越 110,658	@1,700×37=62,900、(二年制会員) @2,000×51=102,000 円、繰越金等
H 2 6 年度	218,682	87,939 繰越 130,743	1,500×72 名=108,000 円、預金利子 繰越金 110,658 円
H 2 7 年度	217,743	167,771 繰越 49,972	1,500×58=87,000 円 繰越 130,743 円
H 2 8 年度	76,472	16,866 繰越 59,606	@500×53 名=26,500 円 繰越 49,972 円
H 2 9 年度	88,106	41,387 繰越 46,719	@500×57 名=28,500 円 繰越 59,606 円
H 3 0 年度	74,719	40,906 繰越 33,813	@500×56 名=28,000 円 繰越 46,719 円
R 1 年度	60,813	35,000 繰越 25,813	@500×54 名=27,000 円 繰越 33,813 円
R 2 年度	52,313		@500×53 名=26,500 円 繰越 25,813

(単位:円)

記念誌発行準備金	年 度	積立金	積立金累計	摘 要
	2 9 年度	25,000	25,000	初年度
	3 0 年度	25,000	50,000	2 年度
	2 0 1 9 年度	25,000	75,000	3 年度
	2 0 2 0 年度	25,000	100,000	4 年度

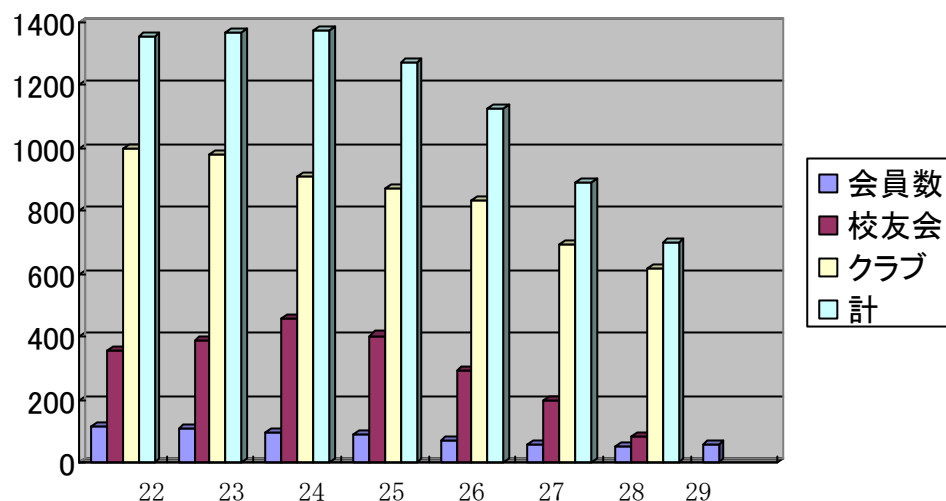
専科一期の会・校友会事業及びクラブ活動に参加した人数

HPに掲載した報告記事による参加者の数である

単位 名

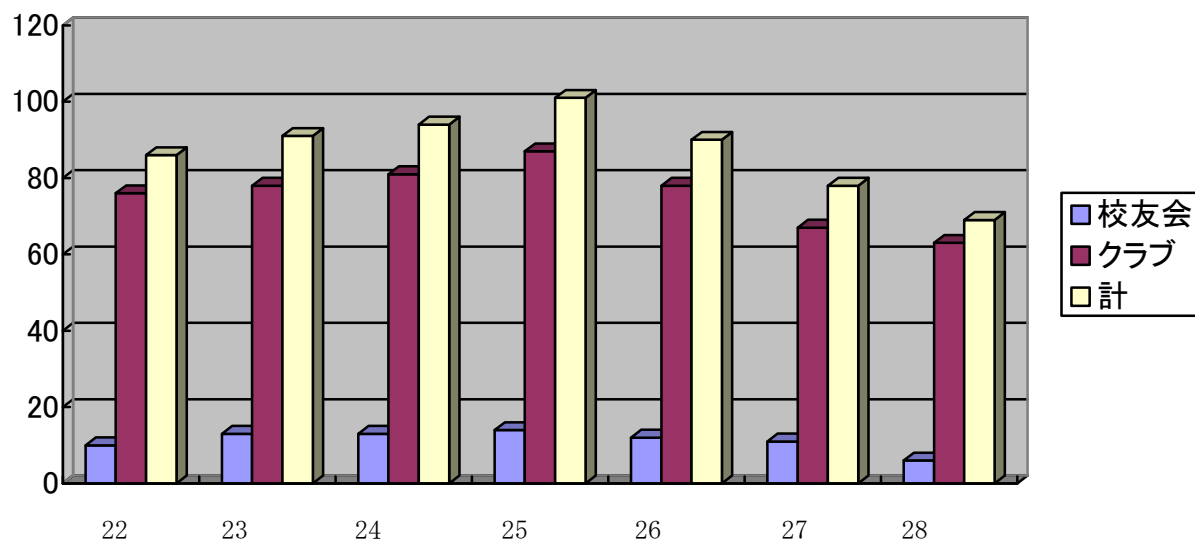
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2
会員数	116	108	98	88	72	58	53	57	56	54	53
校友会	357	388	461	404	291	197	84	91	60	27	6
クラブ	1116	1157	1119	979	935	785	703	904	759	611	243
計	1473	1545	1580	1383	1226	982	787	995	819	665	249

※クラブ活動はHP等で確認されていない練習日の参加人数もあるのでさらに増えると思います。



専科一期の会・校友会事業及びクラブ活動の回数

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2
校友会	10	13	13	14	12	11	6	5	5	3	1
クラブ	82	89	93	93	88	79	76	116	94	87	29
計	92	102	106	107	100	90	82	121	99	90	30



校友会事業各年間別会員参加者延べ人数 回数－参加人数

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★定期総会											
1-88	1-66	1-70	1-52	1-49	1-36	1-29	1-32	1-22	0		9-444
★臨時総会											
			1-34								1-34
★理事会											
7-152	7-150	8-177	9-182	8-127	7-77	1-4	1-4	1-4	1-4	1-6	51-887
★専科一期 HP 検討委員会、一期主催専科校友会及びHP連絡会、25、26、27											
1 2回	1 2回	9回	1回	1回	1回						36回
★交流会(暑気払い)、23年度は新年懇談会											
1-56	1-59	1-69	1-51	1-49	1-38						6-322
★日帰りバスハイク											
	1-57	1-53	1-38	1-39	1-27						5-214
★学習会 22 と 24 = 合同研修											
1-61	2-39	1-41	1-47	1-27	1-19						7-234
★音楽会 23 二期主催、24 一期主催											
	1-17	1-51									2-68
★健康コース企画事業											
						1-7	1-18	1-14	1-12		4-51
★郷土の会企画事業											
						2-25	1-26	1-11	中止		3-62
★まちづくりコース企画事業											
						1-19	1-11	1-9	1-11		4-50
★校友会ミニミニニュース発行											
1回											1回
★校友会ニュース発行											
	8回										8回
★校友会だより発行											
1回		2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	19回
★HP掲載情報発行											
	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	120回
★「郷土の会だより」は、H23.3.30「校友会だより一号」を発行するまで発行されました											
34回											34回
10-357	13-388	13-461	14-404	12-291	11-197	6-84	5-91	5-60	3-27	1-6	92-2366

HPに活動を掲載したクラブと各コースの各年間別会員参加者延べ人数

回数－参加人数

H22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	計
★手話ダンス同好会											
10-180	23-345	23-300	23-230	23-180	23-161	23-140	22-120	13-73	15-78	1-6	199-1813
★太極拳クラブ											
1-15	6-64	7-45	11-54	12-66	4-16	1-5	22-164	23-160	20-133	9-57	116-779
★はくつるの会ハイキング											
9-66	11-67	6-37	9-57	3-17	2-10	2-11	1-6				43-271
★俳句「ゆめ」クラブ R2はコロナの為に通信句会5回実施											
13-199	12-164	11-145	12-180	12-206	12-195	11-165	11-161	12-138	10-148	7-91	123-1792
★俳句「遊」クラブ R2はコロナの為に通信句会5回実施											
6-80	11-156	11-144	12-155	12-140	12-118	10-105	11-97	12-101	10-81	7-62	114-1239
★卓球クラブ											
21-315	18-250	22-254	18-203	20-257	16-177	18-182	18-175	11-114	解散		162-1927
★専科合同ハイキング											
	2-17	3-38	1-3	2-24	2-28	1-2	解散				11-112
★専科合同グラウンドゴルフ部(H25年度まで伊奈連・県連含む)											
1-4	1-17	3-39	1-15	1-15	4-40	4-34	22-102	16-102	24-99	5-27	82-494
★合同墨彩画展											
1-3	1-6	1-6	1-5	1-5		2-10	1-5		1-5		9-45
各コース別活動											
★健康づくりコース											
1-8	2-32	1-15	2-36		2-15	1-10	2-25	2-23	2-26		15-190
★郷土を知るコース											
3-90	1-26	4-79	2-25	1-15	1-17	2-32	3-24	3-32	4-31		24-371
★まちづくりコース											
1-31	1-13	1-17	1-16	1-10	1-8	1-7	3-25	2-16	1-10		13-153
★街道ウォーククラブは天谷さんの逝去により廃部になりましたが、その功績を称えて最後まで掲載します。											
15-125											15-125
82回	89回	93回	93回	88回	79回	76回	116回	94回	87回	29回	926回
1116人	1157人	1119人	979人	935人	785人	703人	904人	759人	611人	243人	9311人

※クラブ活動はHP等で確認されていない練習日の参加人数もあるのでさらに増えると思います。

※天谷さんは在学中5回56名、校友会1年目を加えると1年半で20回181名が参加しています。

平成 22 年度専科一期校友会活動報告

活動名★事業	実施日	場 所	事業概要
校友会設立総会	22. 3. 30	県活	会員 115 名発足
第 1 回理事会	4. 09	〃	伊奈連協理事会に臨時出席後報告会
第 2 回理事会	5. 14	県活	伊奈連協総会に出席後報告会
第 3 回理事会	6. 11	県活	定期理事会(偶数月の第二金曜日開催)
★第 1 回交流会	8. 25	ラフレ	初の校友会事業 5 6 名参加
第 4 回理事会	10. 15	県活	合同研修会担当打ち合わせ等
伊奈連協グランド・ゴルフ大会	10. 20	県活	1 期 4 名参加
ボランティア活動発表会	10. 22	県活	太極拳クラブが発表●
ダンスパーティの集い	11. 08	西部文化センター	3 名参加
★第 19 回合同研修会	11. 18	県活	太極拳・手話ダンスの演技、実技指導
第 5 回理事会	12. 09	〃	県連、伊奈連協等報告
第 6 回理事会	23. 2. 11		総会準備、打合せ、次期役員出席
第 7 回理事会	3. 09	〃	総会準備、打合せ、次期役員出席
第 1 回定期総会	3. 30	〃	活動報告、決算報告、88 名参加

●いきがい大学建学の精神であるボランティアで社会貢献している団体なので発表会参加を掲載しています。

クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数			
1	手話ダンス同好会	4 回	延べ 61 名 参加
2	太極拳クラブ	1 回	延べ 15 名
	はくつるの会ハイキング	9 回	延べ 66 名
3	俳句「ゆめ」クラブ	13 回	延べ 199 名
4	俳句「遊」クラブ	6 回	延べ 80 名
5	卓球クラブ	21 回	延べ 315 名
7	専科合同グラウンドゴルフ	1 回(伊奈)	4 名
8	合同墨彩画展	1 回	3 名
9	街道ウォーククラブ	15 回	125 名
各コース活動報告			
1	健康コース	1 回 日光	8 名
2	郷土コース	3 回大宮徳寿庵で懇親会 盆栽美術館と懇親会 鉄道博物館と懇親会	36 名参加 26 名 28 名
3	まちづくりコース	1 回 県民活動センター食堂で懇親会	31 名

●第1回定期総会＝23.3/30 活動センター＝

1、議事	司 会 北氏 和雄
(1) 第1号議案平成22年度活動報告	会 長 田中 忠
第2号議案平成22年度決算・監査報告	理 事 平田 裕康
第3号議案平成23年度役員選出	監 事 若林今朝六
<新理事の紹介>	副会長 小金澤憲男
第4号議案 平成23年度活動計画(案)	新会長 玉置 貞明
第5号議案 平成23年度予算(案)	新会長 玉置 貞明
閉会のことば	副会長 伊藤盛夫



平成23年度役員一覧表(案)

コース別	理 事	役 職	担当部署	伊奈連役員他
健康づくりコース	伊藤盛夫	副会長	社会活動部長	理事
	西村美智子		社会活動部	
	小野正子		社会活動部	
	川口昭士		社会活動部	
	川田なみ子		社会活動部	
郷土を知るコース	有村 弘	副会長	総務部長	監事
	梅田 博		総務部	
	熊倉 晃		総務部・会計	
	中島和子		総務部・会計	
	森田啓資		総務部	
まちづくりコース	玉置貞明 ●	会長		代表理事
	北山秋吉		企画広報部長	
	小山とし	副会長	企画広報	代議員
	山岸米子		企画広報	
	市川八重子		企画広報	
イナ・ヴォイス委員	大友 武		社会活動部	大友、原井
イナ・ヴォイス委員	吉野理美子		社会活動部	有村、吉野
イナ・ヴォイス委員	玉置貞明		社会活動部	伊藤、玉置
H P 委 員	伊 藤 盛 夫		広報部	栞原・埴
H P 委 員	岡 村 昭 則		広報部	天谷・田中
H P 委 員	久保田圭子		広報部	高平・山田
パソコンクラブ	野 村 侃 滋			
太極拳クラブ	蔦川忠義			
陶芸クラブ	有村 弘			
俳句遊クラブ	石井一好			
俳句ゆめクラブ	八千代幸男			
監 事	小金澤憲男 (まち)		田中 忠 (郷土)	



●第一回交流会は盛大に開催＝8/25 ラフレ埼玉＝

8月25日、専科卒業後、初めての交流会が、さいたま新都心の「ラフレさいたま」の15階にあるバイキングレストラン「レガーロ」で開かれました。卒業後、57名が2年生に入学しましたが、全員が専科一期校友会に加入され校友会活動に携わっていただいております。校友会活動の一環として、初めての交流会を開催したところ、健康づくりコース参加者20名、郷土を知るコース17名、まちづくりコース19名と、全体で56名の方々が参加しました。初めて顔合わせる人たちも多く、クラスメートと久しぶりに声を掛け合うことができました。

料理が出揃うまでの時間を利用して、まずは田中校友会会長から、これまでの校友会活動の経過報告、伊奈連協や県連協報告等についての説明がありました。料理が出揃ったので説明を早く切り上げてとの声もあり、早々に切り上げて食事会となりました。北氏総務部長の音頭で「皆さんが元気にお会いできたことの感謝と、これからの健康を祈念して」乾杯となりました。料理はバイキングで季節ごとの料理、フルーツ、デザートなど約30種類が用意されていました。みなさん、それぞれが自分の好きなものから取って来ては食べて、何回となく足を運んでいました。それに花を添えてくれたのが、新宿のビル群や富士山まで一望できた景色ではないでしょうか。

最後に埴副会長の一本締めで交流会を閉めていただきました。猛暑の中、ご参加された皆さんに感謝申し上げます。有難うございました。



受付



田中会長



玉置さん



●第1回ボランティア活動発表会・太極拳クラブ参加＝10/22 県民活動センター＝

この発表会は学園祭の中で行われていた「校友会活動発表会」と2月に開催された「ボランティア活動発表会」を統合した、初めての発表会です。特に在校生にボランティア活動を紹介し、さらに理解を深めることをねらいとしています。

伊奈連協会長・島田実行委員長のあいさつでスタート。卒業生による5地域の活動と20のクラブの活動を各15分間の中で、効果的に発表されました。いずれの活動も地域と密着した内容で、それぞれ元気いっぱい活動している様子を紹介しました。

★専科一期校友会「はくつるの会」は16番目の出場です。安藤部長の会紹介で演武開始。終始乱れぬ演技で猛練習の成果を見せ、大きな拍手をもらっていました。この発表会のために、発表者の方々、開催準備にご尽力された方々に心より感謝したいと思います




●第19回合同研修会は成功裡に終わる＝11/18 県民活動センター＝

19期生と専科一期生が担当して、伊奈連協第19回合同研修会が開かれました。専科一期生は初めての合同研修会の裏方としての参加ですが、期待と不安の交差する中、専科生は61名の方が参加されました。郷土の会からは23名が参加しました。

★午前の部小ホールで19期校友会早戸会長の司会で全体集会(開講式)が行われました。開講式終了後、専科一期生は307セミナー室で1時間40分にわたって集会を行いました。集会は式次第に従って、各活動状況を中心に報告が行われました。特に手話ダンスクラブと太極拳クラブの実演と、それに全員が参加する企画があり、大変盛り上がりました。

伊奈学園氏家所長も見学にされ、各期集会の中で一番盛り上がった企画であったと感激していました。郷土の会の皆さんを中心にした、研修会の動きを写真で紹介します。



午前の部 専科一期集会 三〇七号

セミナー室

- 1、会長あいさつ 田中
- 2、校友会活動報告 健康↓埜 小金沢
- 3、コース別報告 郷土↓北氏 まちづくり↓滝
- 4、沢
 - クラブ活動報告
 - 手話ダンス 実演含む 鎮目講
 - 太極拳、実演含む 吉橋講
- 師、
 - 陶芸 小林
 - 卓球 熊倉
 - パソコン 野村
 - 俳句まちづくり 石井
 - 郷土の会 松野
 - ウオーキング 天谷
 - その他のクラブ報告
- 5、委員報告 ホームページ 岡村
- イナヴォイス 玉置
- 6、二年制進級組報告 無し



★午後の部
織田準一さんのトランペット演奏



●郷土コース活動=22・6/14 第1回郷土の会交流会・大宮の徳寿庵=



卒業後、初めての「郷土の会懇親会」が大宮の徳寿庵で開かれ、36名が参加し盛大でした。



●郷土コース活動=9/26 第2回郷土の会交流会・盆栽美術館～日本海庄屋=



9月26日、第2回「郷土の会・交流会」を実施しましたところ、26名参加いただきました。今回は二班が担当することになっていましたので、7月5日に打合せ会を開き、今回は少し趣を代えて、さいたま市盆栽美術館と漫画会館を見学してから、懇親会を開くことにして本日の開催の運びとなりました。

●郷土コース活動=23.2/7 第3回郷土の会交流会・鉄道博物館～花暖簾=

2月7日、第三回「郷土の会・交流会」を実施したところ、28名が参加されました。今回は三班が担当で鉄道博物館を見学し、その後、大宮駅西口の「花暖簾」で交流会を行う企画です。

鉄道博物館と言えば、我々世代の男性は少なからず小さい頃から電車を見るのが好きだったので、思っ、「鉄道博物館見学に期待します」という案内文を出しました。期待を裏切ることなく楽しい一日でした。



●まちづくりコース活動＝22.6/11 県民活動センターレストラン＝

平成22年6月11日、県活レストラン「馬車道」で、専科第1期まちづくりコースの卒業生が集合し、「まちづくり交流会」を開きました。総勢37名のうち、31名の参加でした。今年度のまちづくりコースの交友会の代表である小金沢さんが司会をされ、冒頭に5月に亡くなられた級友の利根川さんを偲んで全員で黙祷しました。その後、皆でワイワイと賑やかに昼食をとりました。

卒業以来、初めて顔を合わせるクラスメイトとも久しぶりに声を掛け合うことが出来ました。2年制に進学された方、専科で卒業された方、4月以降の進路は違っていても、1年間級友として過ごしてきた仲間は、それぞれが自分の道を着実に歩んでいるようです。その席で小金沢さんから今後の交友に関する連絡事項の伝達と、HP委員の山田さんから専科第1期のHP「みんなの広場」への投稿のお願いがありました。2時過ぎにお開きとなりましたが、参加者全員の集合写真を県活の正面玄関で撮ってから解散しました。お天気も良く、楽しいひとときでした。



●健康コース活動＝22.6/23 日光・霧降高原の旅＝

あれ！男性はいないのでしょ

健康づくりコース 有志8名で1泊旅行に行きました。ホテルの送迎バスで、さいたま新都心駅より出発です。日光キスゲや紫陽花も、歓迎してくれているようでした。食後は、手話ダンスやおしゃべりに花が咲き、いきがい大学に入ったことや皆さんと出会えたこ



とに感謝でした。楽しい一日の締めくくりは、露天風呂。翌日は、雨。苔の緑が冴え、静まり返った木立に、雨もまた良し。



平成 23 年度専科一期校友会活動報告

活動名 事業★	実施日	場 所	活 動 概 要
第 1 回定期総会	3. 30	県活	22 年度活動報告、決算・監査報告、会員 116 名、H23 年度役員選出、活動計画、予算の決定、会員 114 名（86 名参加）
東日本大震災募金	3. 30	県活	総会出席者より募った「52,000 円」を 4/15 に県連協宛振込
第 1 回理事会	4. 15	〃	各理事自己紹介・年度計画の確認
★合同ウォーキング	5. 07	久喜市内	1 期主催 1 期 12 名、2 期 29 名
東日本大震災義捐金	5. 12	県活	会員数 108 名×200 円 21,600 円伊奈連協へ
★学習会	5. 19	県活	2 期主催 1 期 11 名、2 期 43 名
第 2 回理事会	6. 10	県活	報告事項、審議事項の検討
スポーツ障害保険加入	7. 07	スポーツ安全協会	卓球部他 14 名加入
暑気払い	7. 20	大宮東天紅	雨で中止
第 3 回理事会	8. 12	県活	報告事項、審議事項の検討
伊奈連協ランド・ゴルフ大会	9. 09	県活	1 期 3 名参加、山崎さん優勝
県連社交ダンスの集い	10. 07	上尾体育館	1 期 4 名参加
第 4 回理事会	10. 14	県活	報告事項、審議事項の検討
県連ランド・ゴルフ交歓大会	10. 19	はらっぱ宮代	1 期 1 名参加
ボランティア活動発表会	10. 21	県活	手話ダンスクラブが発表●
★日帰りバス旅行	10. 31	松代町遺跡見学	57 名参加
親睦ダンスの集い	11. 07	西部文化センター	1 期 2 名参加
★第 20 回合同研修会	11. 18	県活	太極拳・手話ダンスの演技、実技指導
第 5 回理事会	12. 09	〃	臨時総会資料確認、打合せ
★専科合同音楽会	1. 20	さいたま市民会館	1 期 17 名参加
★新年の懇親会	1. 25	大宮東天紅	59 名参加
第 6 回理事会	2. 10	県活	報告事項、審議事項、定期総会準備
★学習会	3. 07	〃	1 期 28 名、2 期 7 名
第 7 回理事会（新旧）	3. 09	県活	審議事項、総会準備・新旧理事会
第 2 回定期総会	3. 30	〃	活動報告、決算報告、66 名参加
・ 随時HPを更新し、毎月HP掲載情報を作成しメール配信しています。			

●いきがい大学建学の精神であるボランティアで社会貢献している団体ですので発表会参加を掲載しています。

クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数			
1	手話ダンス同好会	12回	延べ168名 参加
2	太極拳クラブ	6回	延べ64名
	はくつるの会ハイキング	11回	延べ67名
3	俳句「ゆめ」クラブ	12回	延べ164名
4	俳句「遊」クラブ	11回	延べ156名
5	卓球クラブ	18回	延べ250名
6	専科合同ハイキング	2回	延べ17名
7	専科合同グラウンドゴルフ	1回	17名
8	合同墨彩画展	1回	6名
各コース活動報告			
1	郷土コース	1回 国会議事堂・憲政会館・旧岩崎邸	26名参加
2	健康コース	2回 首都圏外郭水路見学 川越七福神めぐり	18名 14名
3	まちづくりコース	1回 与野七福神めぐり	13名

※クラブ活動ではHPに掲載していない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

●第2回定期総会＝H24. 3. 30＝

司 会 有村 弘			
1. 議事			
①第1号議案	平成23年度活動報告	会 長	玉置 貞明
②第2号議案	平成23年度決算・決算報告	理 事	熊倉 晃
		監 査	小金澤憲男
③第3号議案	会則の改定	会 長	玉置 貞明
④第4号議案	平成24年度新役員選出(案)	副会長	有村 弘
⑤新理事の紹介		新会長	
⑥第5号議案	平成24年度活動方針(案)	新会長	
⑥第6号議案	平成24年度予算計画(案)	新会長	
	閉会のことば	副会長	伊藤 盛夫



平成24年度役員一覧表（案）

コース別	理事	役職	担当部署	伊奈連役員他	備考
健康づくりコース	新井 貞 男		企画部長		
	鎮目二三子		企画部		
	高田 忠 良	副会長		代議員	
	角 田 進	●会長		代表理事	
	野本達子		企画部副部長		
郷土を知るコース	安藤 允 浩		社会活動部副部長		
	岡村 昭 則		広報部長		
	小林健一郎		社会活動部長		
	瀬戸川公子		広報部副部長		
	宮島 昭 夫	副会長		理 事	
まちづくりコース	伊藤 登		総務部長		
	内田 純 子	会 計			
	小林 正 子		総務部副部長		
	野良 テ ル	会計主管			
	星野 勇 三	副会長			
H P 委 員	伊藤 盛 夫		広報部	栞原・塙	健 康
H P 委 員	岡村 昭 則		広報部	天谷・田中	郷 土
H P 委 員	高平 保		広報部	久保田・山田	ま ち
パソコンクラブ	野村 侃 滋				郷 土
太極拳クラブ	塙 恒 雄				健 康
陶芸クラブ	小沢 孝				郷 土
俳句遊クラブ	大島 修				ま ち
俳句ゆめクラブ	小林健一郎				郷 土
卓球クラブ	角田 進				健 康
ハイキングクラブ	田中 忠				郷 土
グラウンド・ゴルフクラブ	小金沢憲男				ま ち
監 事	玉 置 貞 明（まち）		有 村 弘（郷土）		



●一期主催第1回専科合同ウォーキング=5/7久喜市史跡めぐり=

専科校友会のウォーキングクラブの第1回ウォーキングが5月7日（土）久喜駅西口を起点に、花崎駅までの約10Kmで開催されました。当日は、曇り空の天候でしたが、1期生12名、2期生29名の参加者があり、久喜市在住、1期の野村さんに案内して頂きました。久喜駅西口⇒甘棠院⇒久喜市歴史資料館⇒鷲宮神社⇒花崎駅⇒花崎城址
★久喜駅周辺の道路も都市化の影響で昔に比べて変貌しているようです。交通に注意しながら、甘棠院に向かいました。甘棠院では住職の好意で院の中を見学でき資料も頂く。新緑の5月初旬、道行く田圃では田植えをしているのが見られ。又、葛西用水路に並行して植えられたポピーは所々に花が咲いていましたが、まだ蕾が多く、中旬が見ごろになりそうです。歴史資料館と公民館と二手に分かれて昼食をとり、館内の「久喜市の名宝」展を見学して、その後鷲宮神社へ向かいました。花崎城址まで行く予定でしたが昼近く降り出した雨のため花崎駅で解散となりました。（専科1期 伊藤盛夫）



甘棠院前で野村さんの説明を聞く皆さん



鷲宮神社での一行



参加された専科校友会の皆さんです

●二期主催専科合同学習会・一期参加＝5/19 県活＝
「心の文化」に参加して

専科二期校友会主催専科合同学習会に、専科一期校友会も参加するため一期校友会としても全会員に案内



をしてきました。当日は二期校友会会員43名、一期校友会会員11名の計54名の方が参加された。皆さんにとって関心のある学習会であったことは間違いなく、素晴らしい学習会に一期校友会会員として拍手を送ります。

★講演したのは、下仁田町の常光寺、西光寺の住職である堀越教之さんです。「今こそ、日本の心の文化を」というテーマで、この度の東日本大震災の状況などをおりまぜて1～10までのレジメについて順次お話しされた。住職は宗教家として東日本大震災の被災された皆さんに「何ができるか」という自問に対して、「被災された皆さんの悲しみ、苦しみ」をお聞きし、素直にオーム返しの「こだます」をしながら相手のために祈ることしかできないという結論と、そして平安時代前期の日本で起こった巨大地震の一

つである、貞観地震・津波が記録として残されているように、東日本大震災の状況を後世に伝えることの重要性をお話しされた。講演の内容はこの二点に絞られていた。

★私個人として考えると、東日本大震災で被災された皆さん、原発事故で避難された皆さんの現在の置かれている状況を見ると本当に心が痛む。堀越住職が言うように国民の一人として、被災された方々に対して「何ができるか」を突き詰めると、本当に出来ることは少ない。私は校友全会員に専科一期HP切り替えの時に自然災害で「地震きて大津波きて跡形もなく町消ゆる悲しみ深き」という心境に、加えて人災事故に等しい福島原発事故で避難されている方々を思うと心が痛むばかりです。正に国難といわざる得ない中で私たちは自分のできること（節電、風評に惑わされず東北地方の物産を買う、募金する）を実行していきましょう。」と呼びかけた。被災地の復興をどう進め再生していくかは政治の問題であり、今の政府の対応に歯がゆさがあることは確かだが、全国会議員が被災者の目線で対応する政策を打ち出して、早急に実施に移してもらいたいのだ。この国難の最中、権力闘争に始終している国会議員に対して、私たちは声を大にして自分の意見をはっきりと伝えていくことが大事だと痛感している。

★住職の言われた、後世に東日本大震災の状況を伝える重要性は大事なことです。901年刊行の最後の正史『日本三代実録』には、この地震による被災の状況が記述されている。この伝えられたことを真剣に検討し取組む必要があるのです。2009年、独立行政法人産業技術総合研究所が貞観地震での津波が宮城県石巻市から福島県浪江町にかけて、海岸線から内陸3～4キロまで浸水していたことを把握し、福島第一原発の想定津波の高さについて貞観津波の高さを反映して見直すよう迫っていたのに、東電と原子力保安院は、過去の事例からの津波の規模についても、統一見解でないからという理由で無視して来た結末が今回の未曾有の事故に繋がってしまった。今回の津波の高さは、115年前に発生した明治三陸地震津波とほぼ同規模であった。三陸海岸では、この明治三陸地震津波が甚大な被害を発生させたことから、各地で、この体験を教訓として活かす伝承が行われてきた。これらの伝承を忠実に守った地域では家屋の損壊を免れたところが少なくないという。

★東日本大地震後の津波で大きな被害を受けた福島第一原発。原子炉4基で水素爆発が起り、深刻な状況が続いている。さまざまな事象が連続して起きたことに原子力安全・保安院などは「想定外」としているが、はたしてそれは不可避だったのかと、疑問を差し挟んでいるのが、原発の危険性を告発し続けてきたノンフィクション作家の広瀬隆氏。同氏は「津波そのものによる天災は、避けることができない。これは日本の宿命である。しかしこの悲惨な原発事故は人災である」と指摘するとともに、今回の津波の高さについては「本当に予測できなかったことなのか、1896年の明治三陸地震津波では岩手県沿岸で最大約38.2メートルの津波の高さも記録されている。『想定外』の言葉を安っぽく濫用するなどマスメディアに言いたい。被害が出たあとに、被害を解析してくれても困る。事故後に『想定できなかった』ということは、専門家ではない」と断じている。また、4年前に大津波での原発事故の危険性を共産党福島県委員会が東電に提出しているが検討すらされなかったという。(文：郷土の会HP委員 岡村、写真：校友会会長 玉置)

●郷土コース活動=23・6/4 国会議事堂～憲政記念館～旧岩崎邸=

専科一期郷土の会の交流会で衆議院会館、国会議事堂衆議院本館、憲政記念館、重要文化財「旧岩崎邸庭園」等を見学する機会を持つことが出来ました。クラスメートの姪御で議員秘書されている方のご協力で特別通行証を借りていただき、普段見学できない所まで見させていただきました。明治時代に国会が開設されて以来、国会は良きにつけ、悪気につけ「国政の決め事」を決定してきた国の最高機関です。その国会が開かれる議事堂を建物の観点から見学するのは初めてのことなので、今日は少し興奮気味に見てきました。現在の国会議事堂に至るまでの歴史を見ていきます。



憲政会館



旧岩崎邸

●第2回ボランティア活動発表会・手話ダンス同好会参加＝10/21 県活＝



●日帰りバス旅行＝10/31 松代町史跡めぐり＝

大宮で久しぶりに専科一期のクラスメートに会う。そこには笑顔と会話が弾み楽しい旅を予感させてくれた。参加者は57名です。旅好きの私は個人的にも松代町の文化遺産や遺跡の見学には期待していた。好天には恵まれなかったものの、今回も旅で得たものは大きかった。

★松代大本営跡は、太平洋戦争末期、本土決戦に備えて極秘のうちに大本営、政府各省庁等を松代に移すという計画の下に構築された遺構群です。日本（当時の大日本帝国）の国家中枢機能移転のために長野県埴科郡松代町など（現在の長野市松代地区）の山中に掘られた地下坑道跡。象山、舞鶴山、皆神山の3箇所が掘削された。また舞鶴山地下壕付近の地上部には、天皇御座所、皇后御座所、宮内省（現在の宮内庁）として予定されていた。この工事には、多くの朝鮮人労働者が動員され、過酷な労働を強いられた。しかし、その犠牲者などについてはほとんど明らかにされていない。馬鹿げた遺構を見て、山本五十六海軍総司令官は国際的な観点から見ても物資の乏しい日本は負け戦であることが判っていたが反対しても抗しきれなかつた悲劇を垣間見る思いがした。

★池田満寿夫美術館は岡本太郎「太陽の塔」、丸木位里「原爆の図」、池田満寿夫「草の上の劇場」の三人は私が好きな画家である。共通点は世界で大きく評価されているが、個人の独創性や強烈な想像性を毛嫌いする保守的な日本画壇では正等に評価されていないことである。そのようなところが私の反骨精神をくすぐりファンである由縁でもある。特に池田満寿夫の作品を見ているとピカソに通じるところもある。池田満寿夫美術館は、長野市出身の国際的芸術家の名を冠した唯一の美術館、として、信州・長野市最南端にある真田十万石の城下町、松代町に1997年4月開館。この美術館は栗のお菓子で有名な竹風堂がスポンサーとして運営している。（岡村）



松代城址

●一期主催第2回専科合同ウォーキング=11/14 筑波山=
筑波山紅葉狩り

11月14日(月)、第2回ウォーキングは筑波山ウォーキングです。1期5名・2期3名の参加でしたが十分に足を鍛える内容でした。ハイキングの名の下に約3時間のきつい登山に耐えて、大いに汗をかきました。

つくば駅からバスで筑波山神社入口で下車、参拝後すぐに登山道に入る。10分も登るとすでに大汗、早くも日頃の不摂生を反省する羽目に。この2時間20分の登りに女性陣もよく耐え、大きな岩の造形を楽しみながら女体山に到着。ここで2期落合・相澤両氏と合流、遅い昼食を摂る。お握りお菓子を分け合った後、男体山を征服、山頂からの景色を楽しんだ。肝心の紅葉狩りは暖かい日が続いたためか、例年より悪い(野村さん)とのことであった。



男体山を前で



神社脇の紅葉



筑波山山頂



男体山頂付近の展望



●第20回合同研修会=11/18 県活=
はくつるの会合同研修会で演技

昨年の演技が大変好評であったとの声に押され、23年11月18日（金）第20回合同研修会で「はくつるの会」が模範演技と参加者への指導を行いました。当日は60名の参加者があり、課題学習の取組み発表や手話ダンスグループの演技の後、トリで登場しました。吉橋講師と9人の参加メンバーによる楊名時太極拳二十四式の一部を披露した後、講師の分りやすい指導により参加者全員が太極拳を舞い「謝謝」「再見」の挨拶で締めとなりました。昼食前の太極拳で皆さん心も身体もリフレッシュし、楽しい食事で大いに旧交を温められたことと思います。～ゆったりと鶴が舞うごとく～（文・蔦川）

午前部 専科一期集会 セミナーホール2（三階）	
受付九時十五分より 九時三十分～十一時三十分	
一 開会の辞	(司会) 伊藤 盛夫 三分
一 会長あいさつ	玉置 貞明 五分
一 課題学習に取り組んで	二年生(専科出身) 各・十分
一 テーマや苦心の点など	福祉環境科 ふるさと伝承科 地域創造科 美術工芸科
(休憩時間 十分)	
一 手話ダンス 美演含む	鎌田 講師 二十分
一 太極拳 美演含む	吉橋 講師 二十分
一 開会の辞	有村 弘 二分
(調整時間二十分) 合計 百分	



●二期主催専科合同音楽会・一期参加=1/20 大宮市民会館=

★いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、それまでの一年制課程よりも、専門別に特化して、より実践的な学習につとめ社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域社会のリーダーとして、活動することを目的として設置されました。しかしながら、入学して卒業するまでの間に活動を通して感じたことは、専科コースは二年制課程と違って一年間と云う時間の制約から、卒業後の校友会活動や各期専科校友会HPの維持管理等に様々な課題があることを知りました。

★卒業後の校友会活動を活発に行うには、それらの諸課題の解決を専科各期で取組むことは大変労力のいることで長続きしないことは目に見えて明らかなことです。そこで専科一期は二期の皆さんが卒業と同時に、専科校友会として諸課題を一つでも解決できればと思

って呼びかけしたところ、快く参加していただき合同のクラブ活動や学習会がスタートしました。初年度として、合同墨彩クラブ、合同ハイキングクラブ、合同グラウンドゴルフクラブ等が設置され一緒に事業を実施し、また、学習会や音楽会についても一緒に実施しています。3期のみなさんにも卒業後参加していただき専科校友会を発展させたいと考えています。

★今回の音楽会の参加者は130数名で素晴らしいミニコンサートとなりました。1期からも17名が参加しました。特に2期校友会落合会長から3期自治会の柳会長にご案内したところ、快く受けていただきHP等で会員にも呼びかけてくれました。25名も3期のみなさんが参加され音楽会を盛り上げてくれことに感謝あるのみです。企画から運営まで担当していただいた2期役員の皆さんに心より感謝申し上げます。有り難うございました。（一期会長及びHP委員会）

専科校友会主催。 .. 懐かしい歌声♪も聞こえる。 ..

おんがくかい



専科校友会1期及び2期の皆様で音楽会を開催します。

出演はグループ「プリランテ」、ピアノ・フルート・ヴォーカルの演奏と合唱の皆さんです。専科から歌謡歌など懐かしいナンバーをはじめ今の流行歌までライブ演奏をお楽しみ下さい。

※多数のご来賓とご家族やお友達のお参加も大歓迎です。

日時:1月20日(金曜日) 2:15~4:15

会場:市民会館大宮 小ホール JR大宮駅より徒歩10分 〒330-0843 4031
◎11月利用の場合は3日大宮駅西口3番乗り場、東武バス「天沼南端」行き(約5分) → 「出番1丁目」バス停下車 徒歩5分

受付: 1:30~ (開場1:40 開演2:15)

構成: 1曲: ヴォーカル (ヤマハサイレント大提琴) 演奏と合唱・・・30分
 2曲: ピアノと歌唱・・・10分
～休憩10分～
 3曲: 皆で参加♪ (学生時代、理想屋周旋の歌など8曲予定)・・・30分

◎「プリランテ」プロフィール

全日本ピアノ及びヤマハピアニスト協会会員、ヤマハヴォーカル認定講師、ヤマハ大提琴上級認定講師、日中やのルネサンスホール等でピアノ・エレクトーン・ヴォーカル・大提琴の演奏にあたる。高齢者施設でのボランティア音楽指導、各種イベントでの演奏を行っている。

2019年1月 いきがい大学 伊奈学園 専科1期校友会 専科2期校友会



●新年の懇親会=1/25 大宮東天紅=
専科一期校友会第二回交流会は盛大に開催！

1月25日、専科一期校友会は交流事業の一つとして「新春の懇親会」を大宮・東天紅で開催しました。昨年7月25日に第二回交流会を予定していましたが、台風のため延期となってしまったので代替として開催したものです。今日の天気は素晴らしく東天紅の会場からは奥武蔵の山々、神通川流域の山々、榛名、赤城の山々等、眼下には大宮の街並みが望め、懇親会に花を添えてくれた最高のロケーションです。会場入口の受付は、クラスメートと久しぶりに声を掛け合う光景が数多見られました。全体で60名の方に参加いただきました。まずは、小山としさんの司会で懇親会の幕を開き、次いで玉置校友会会長から、昨年の校友会活動や東日本大震災等についての報告がありました。伊藤副会長の音頭で「これからの校友会活動の発展を祈念して」乾杯し、食事会となりました。料理は

バイキングでしたが、料金が安かったことも影響して量も少なくあっという間に品切れとなってしまい、料理の不足を歌で満して下さいという会長が挨拶を実践すべく、各コースとも2曲選定して壇上に上がって合唱し絆を深めました。最後のお楽しみはビンゴゲームです。それが終わってから田中前



会長から専科校友会グラウンドゴルフ部創設大会参加者が13名になったとの報告がありました。それでも間が持たなくて切り上げ時間を早めにして、最後に小金澤さんの一本締めで交流会を閉めていただきました。ご参加された皆さんに感謝申し上げます。有難うございました。



●健康コース活動=23・11/12 首都圏外郭水路特別見学会=



●まちづくりコース活動=24・1/7 与野七福神めぐり=



●健康コース活動=24・2/8 小江戸川越七福神めぐり=



●専科一期主催学習会＝3/7 県活＝

3月7日（水）県民活動センター210セミナー室で、今年2回目の専科一期主管の専科合同学習会が開かれ、43名（一期29名、2期12名、3期2名）の方々が参加されました。今年は福島原発事故もありましたので、県出前講座にお願いして第一部「放射性物質」、第二部「食事と健康管理」をテーマに2時間半にわたって講義を受けました。その一端をご紹介します。



第一部「放射性物質」

レジメに従ってご説明をいただきましたが、私たちに知っているようで知らないことばかりで戸惑いもありましたが、私たちが生きるための食品安全のことである故にみなさん真剣に耳を傾けていました。ここで外島さんからお話しいただいた内容は、埼玉県ホームページに掲載されていますので、参加されなかった方も下記のアドレスで御覧いただきたいと思います。

★政府は基準値以上なら危険だから生産地の出荷停止、基準値以下なら安全と言っていますが、汚染された食品を食べれば危険なのです。自然界にも放射線物質（宇宙や大地）は存在しており、日々の生活の中で外部被爆しています。これに対して吸入や食べ物から体内に放射能物質が入って起こる内部被爆があります。この事を考えても汚染は永遠に続くのですから、危険があることを消費者が十分に認識した上で、より安全な食品を選ぶべきであり、国はそのための情報こそを国民に提供すべきなのです。私たちも原子力発電について事故になるまで無関心でいたことは否めませんが、次の時代を担う子供達のために食品の安全について関心を持つべきであることを痛感した学習会でした。

埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/houshasen/eikyol-1.html>

第二部「食事と健康管理」

人生において健康維持は最も基本になる部分で、とても大切な事です。健康維持は常日頃、自分自身で注意して継続していかなければなりません。そこで今日は管理栄養士・健康運動指導士の遠藤良江さんから、健康管理は「食・体・心」のバランス関係にあり、そこで健康と病気の予防についてお話

しいただきました。講義を聞くにしても無理をせず自然体でどうぞと云うことなので笑いの渦ありで皆さんの顔が緩んでいたことがとても印象的でした。



【 食事と健康管理 】

平成24年3月7日
県民活動総合センター

食

健康

病気の予防

体 心

< 食 >

- * 主食（米・パン・麺）、主菜（肉・魚・卵・豆類）、副菜（野菜・きのこ・海藻）など組み合わせましょう
- * 毎日同じような時間帯に食事をしましょう
- * 楽しく食べましょう

< 体 >

- * 食後1～2時間位から始めましょう
- * 空気を吸いながら10分以上続けましょう
- * 激しい運動は逆効果です。また痛みがある時は休ませましょう
- * 競争心を持たずにマイペースでほどほどに

< 心 >

- * 疲れを取るために体（伸展）や心（趣味）を休めましょう
- * 生きがいを持ちましょう
- * ストレスを溜めずに発散しましょう

平成24年度専科一期校友会活動報告

活動名	実施日	場所	活動概要
(第2回定期総会)	3.30	県民活動センター	H23年度活動報告、決算、新役員 H24年度活動計画、予算、の承認
★花見合同ウォーキング	4.09	土呂～大宮公園	28名参加（1期16名、2期12名）
第1回理事会	4.13	県民活動センター	各理事自己紹介、年度計画の確認、各部の活動計画
校友会だより1号発行	6.01		16ページ、カラーコピー20部
★合同音楽会	6.09	県民活動センター	102名参加（1期51名、2期38名、 3期8名、一般5名）
第2回理事会	6.15	県民活動センター	音楽会実施報告、暑気払い実施計画重 複会員は伊奈連協会費150円返還
★交流会（暑気払い）	7.23	大宮サンパレス	69名参加、各人に500円返還
第3回理事会	8.10	県民活動センター	暑気払い実施報告、日帰りバス旅行実 施計画
グラウンドゴルフ大会	9.07	県民活動センター	伊奈連協主催 1期から16名参加
第4回理事会	10.12	県民活動センター	専科合同ウォーキング実施計画、期別 集会実施計画
★日帰りバス旅行	10.23	勝沼、甲府方面	当初申込み68名、当日参加53名 ワイナリー、武田神社、山梨美術館
グラウンドゴルフ	10.24	熊谷ドーム	県連協主催 1期から4名参加
ボランティア発表会	10.26	県民活動センター	太極拳・はくつるの会、手話ダンス同 好会が参加●
★古河合同ウォーキング	10.30	茨城県古河市内	27名参加（1期8名、2期16名、3期3名）
いきいきフェスティバル	11.04	県民活動センター	太極拳クラブ参加●
★合同研修会	11.16	県民活動センター	41名参加学習会は専科3期と合同
第5回理事会	12.14	宮町自治会館	日帰りバス旅行実施報告、予算執行状 況報告、会則改訂案の検討
校友会だより2号発行	1.01		16ページ、カラーコピー20部
★開運ウォーキング会	1.05	さいたま市与野	与野七福神めぐり 21名参加
第6回理事会（新旧）	2.15	県民活動センター	総会議案、新年度役員候補の各役職お よび各部分担について
芸能祭	3.08	埼玉会館	県連協主催、専科1期担当
第7回理事会（新旧）	3.15	県民活動センター	総会準備
第8回理事会（新旧）	4.12	県民活動センター	総会準備
第3回定期総会	4.19	県民活動センター	70名参加

クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数			
1	手話ダンス同好会	11回	延べ92名 参加
2	太極拳クラブ	7回	延べ45名
	はくつるの会ハイキング	6回	延べ37名
3	俳句「ゆめ」クラブ	11回	延べ145名
4	俳句「遊」クラブ	11回	延べ144名
5	卓球クラブ	22回	延べ254名
7	専科合同グラウンドゴルフ	3回(伊奈・県連)	延べ39名
8	専科合同ハイキング	3回	延べ38名
9	合同墨彩画展	1回	6名
各コース活動報告			
1	健康コース	1回 凸版印刷博物館と防衛省見学	15名
2	郷土コース	4回鴻巣市史跡めぐり	25名参加
		皇居・警視庁見学	24名
		県立歴史と民族博物館と懇親会	21名
		関宿城博物館見学	9名
3	まちづくりコース	1回 鉄道博物館と盆栽美術館	17名

※クラブ活動はHPに掲載していない練習日もあり参加人数は更に増えると思います。

※広報として、毎月HP掲載情報をメールリングリストで配布しています。

●第3回定期総会＝H25. 4. 19＝

	司 会 小林 正子
1、開会のことば	理 事 高田 忠良
2、会長挨拶	会 長 角田 進
3、議長選出	
4、書紀	
議事録署名人の選出	
5、報告事項	
①平成25年度活動報告	会 長 角田 進
②クラブの活動報告	クラブ 代表者
6、決議事項	
第1号議案 平成24年度決算(案)承認の件	理 事 野良 テル
	監 事 玉置 貞明
第2号議案 会則改訂の件	会 長 角田 進
第3号議案 平成25年度役員選任の件	会 長 角田 進
<新理事の紹介>	新会長
第4号議案 平成25年度活動計画(案)承認の件	新会長
第5号議案 平成25年度予算(案)承認の件	新会長
7、閉会のことば	(24年度) 副会長 宮島 昭夫



平成25年度役員選任

コース別	理事	役職	担当部・役	伊奈連役員	備考
健康づくりコース	佐藤寿米子		広報部副部長		
	中村正武		総務部長	理事	
	原井克之	副会長	コース長		
	山崎高三郎	会計主管	会計		
郷土を知るコース	吉澤愛子		企画部副部長		
	今村信博		企画部副部長		
	大井昭子		会計		
	北氏和雄	副会長	コース長	代議員	
	田中忠 ●	会長		代表理事	
まちづくりコース	吉野利美子		総務部副部長		
	石田孝彦	副会長	コース長		
	柿沼政夫		企画部副部長		
	関利雄		会計		
	中原愛子		総務部副部長		
H P 委員	山田宏明		企画部長		
	伊藤盛夫			栗原・埴	健康
H P 委員	岡村昭則		広報部長	天谷・田中	郷土
H P 委員	高平保			久保田・山田	まち
監事	角田進 (健康)		伊藤登 (まち)		



●専科一期主催第3回合同ハイキング＝4/9 大宮公園周辺花見＝

4月9日(月)、第3回専科校友会合同ハイキングは桜日和となり、大宮公園周辺の花見をしながら★土呂駅⇒市民の森⇒土呂の地蔵堂⇒寿能城跡⇒大宮第二公園⇒大宮公園・氷川神社⇒大宮駅まで歩きました。専科校友会合同事業として3月に呼びかけて実施したもので、当日まで何人参加してくれるのか心配でした。東北線土呂駅に集合したのは、一期生16名・二期生12名で何と28名です。その中には大宮出身で専科一期の最高年齢で米寿を過ぎている関利雄さんもいます。関さんと私のお付き合いが始まったのは6年前のさいたま市シニア大学に入学して2年間一緒に学び、クラブ活動のパソコンクラブでのお付き合いは現在も続いています。高齢の関さんがシニア大学校友会・いきがい大学川越学園校友会及び伊奈学園専科一期校友会と21期校友会のどの行事にも元気に参加している姿を見るに付け、我々にとっても大変励みにもなっています。



いつかある時、関さんに「元気の源は何ですか」とお訪ねすると、「スケジュールに参加行事を一杯入れて、それに参加するために気持を集中させることです。だから私は健康に対する特別に何もやっていません」と返事が返ってきました。それは関さん流の健康法なのです。関さんの健康をお手伝いすることも兼ねて、これまでもシニア大学校友会やいきがい大学伊奈学園専科校友会で関さんに「太平洋戦争体験」を講演していただきました。講演する度に関さんの目は輝いており、大勢の人に感銘を与えたことは言うまでもありません。関さんを支えていたのが最愛の奥様ですが、その奥様が一昨年亡くなられ悲しみで行事参加も一時遠のいていましたが、また、復活されて今回の合同ハイキングにも関さんの参加をいただき、我々も、また、関さんから元気を貰いました。

私たちもお年寄りの集団ですから、歩き出して2時間も桜狩しながら大宮第二公園まで来ると、みなさんへトへトに歩き疲れてしまいました。桜の花が枝垂れる下での昼食は本当に美味しかったことは言うまでもありません。昼食後、解散したので私は帰りましたが、仲間曰く、周辺を散策してから大宮駅に向かう途中で喫茶店に入ってお茶タイムとしたところ、参加者の中で最年長である89歳の関さんが席に座るや、直ぐにケータイ電話を取り出して歩数計を見て、日進の家から土呂駅まで歩いて来た歩数も加えて今日は1万4千歩も歩いたと呟いたので、周りの人はその健脚ぶりに驚いてしまったとか。それにしてもスピードといい、最後まで遅れず歩かれた体力に感服するとともに、後輩の我々は見習わなくてはとの思いを強くしたことを話してくれました。関さんは、この4月から新たな挑戦として、ジャック大宮にあるNHK学園に入学して学んでいます。学ぶことを楽しまれている関さんに拍手を送ると共に、私達の集いに、これからも関さんが参加されることを願って止みません。またお会いしましょう。

(郷土の会 岡村)



●校友会だより第1号



(1)

彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期校友会会報

平成24年6月1日発行



校友会だより

平成24年度 第1号
 発行者 角田 進
 会員総数 98名

専科一期校友会
 会長 角田 進



ごあいさつ



皆様こんにちは。この度、平成24年3月30日開催の定期総会におきまして会長に選出され就任いたしました。微力ではありますが、1年間精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当校友会は、初代会長の田中さん、2代目会長の玉置さんの強いリーダーシップのもと、さまざまな催し物を定着させてまいりました。特に、期を超えた合同行事は、参加人数の確保、費用の各期による分担などメリットが多く、今後もさらに進めてまいりたいと思っております。

今から2年前、当校友会の発足と時を同じくして、52名の仲間が2年制課程に進んでいきました。その方たちが今年3月卒業されるに際し、専科校友会を退会して2年制の校友会のみ所属することで、会員数が大幅に減少してしまうのではないかと心配いたしました。幸いなことに杞憂に終わりました。これもひとえに過去2年間の先輩理事各位のご努力と、会員の皆様のご理解によるものと深く感謝いたします。

この結果に甘えることなく、3年目が正念場と心得、同時に就任した新理事の皆様ともども、

「気軽に楽しくおおらかに」をモットーに、この会をさらに進化させるべく活動してまいります。会員の皆様には、変わらぬご支援ご協力のほど、重ねてお願いいたします。

結びに、次の言葉を皆様にお贈りいたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

★「伊奈学園でめぐり会った仲間、専科第1期校

友会でなければ会えない人がいる」

=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
各部からの方針	P 2
各コースの計画	P 4
役員を紹介と担当	P 5
年間行事一覧表	P 6
クラブの紹介	P 7
その他報告	P 8
編集後記	P 16



●一期主催専科合同音楽会=6/9 県民活動センター

今日の合同音楽会は専科一期校友会角田会長の発案で企画・実施されました。実施にいたるまでには、会長はじめ企画部、パソコンクラブ、2期役員、3期役員等の皆さんにご協力をいただきましたことを報告させていただきます。今回は初めて県民活動センターのホールを使うということで、どの位の方々が参加してくれるのか心配しておりましたが1期～3期・一般を含めて全体で94名の参加をいただきました。

★小林浩さんのミニコンサートは、小林孝子さんのピアノ伴奏で始まりました。プロのテノール歌手の歌声を目の前で聴くことが出来るなんて滅多にないことです。また、「みんなで唄おう」では、小林さんの解説やジョークを交えての唱歌指導は大変面白く、会場から何回も笑いがこぼれました。明治時代は国を盛り上げるために教育に力を入れていたこともあって、沢山の唱歌が作詞作曲され名曲として今日に受け継がれてきた故に、我々も口ずさむことができることを実感しました。参加された皆さんも童心に返って沢山の唱歌を唄っている姿はいきいきしていました。

★「みんなで唄おう」の終わりは、専科一期校友会を代表すボランティア団体の「手話同好会」の皆さんに壇上に上がっていただき、「今日の日はさようなら」を一緒に唄いながら手話ダンスで閉めていただきました（手話ダンス同好会は毎月各地の施設を訪問してボランティア活動を行っていますのでHPを御覧下さい）。それに続き小林夫妻へ花束贈呈が行われました。最後に専科二期校友会落合会長に閉会の挨拶をいただき、無事に第2回専科校友会音楽会は終了しました。



最後に手話ダンス同好会のみなさんに「今日の日はさようなら」を踊っていただきました。

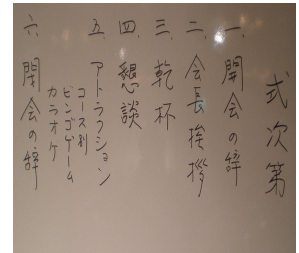
●第3回交流会=7/23 大宮サンパレス=



専科一期校友会は交流事業の一つとして「暑気払い」を大宮サンパレス（5階:リベルテ）で開催しました。梅雨明け後の今日の天気は、それほどの蒸し暑くもなく会場に足を運ぶことができました。卒業して丸2年が経ちました。今回は参加申込者が70名で、当日は、急用で1名不参加の69名でしたが、これまで一番の参加者数となりました。会場入口でコース別受付を済ませ、各自が各コース別テーブルの席番号を決めてからテーブルに着きました。久しぶりにお会いするクラスメートと声

を掛け合う光景が数多見られました。昨年度の東天紅のようなロケーションはありませんが、結婚式披露会場とあって静かで落ち着いた雰囲気が私達を和ませてくれました。

★まずは、新井副会長の司会で懇親会の幕が開き、次いで角田校友会会長から、校友会活動や伊奈連協の状況等についての報告がありました。星野副会長の音頭で「これからの校友会活動の発展と会員



の健康を祈念して」乾杯し、懇談に入りました。皆でお弁当を食べながら交流の会話が弾んだことは言うまでもありません。食事後のアトラクションは各コース別の持ち時間以内で催し物を披露することになっています。郷土コースが先陣を承り、参加することに意義

ありを強く意識し、急仕立てで歌2曲を合唱しました。筆者としてはなかなかの出来だったと思っています。次にまちづくりコースも歌を合唱しましたが、合唱団に所属されている方がいるのか素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。最後は健康コースの手話ダンスで締めさせていただきました。手話ダンスは伊奈学園建学の精神を実践している専科一期校友会のボランティア団体で、毎月一回施設訪問をしてボランティア活動に励んでいます。その活動は毎月専科一期ホームページに掲載していますので是非御覧になって下さい。



次のお楽しみのビンゴゲームは宮島副会長の案内で始まりしました。これまで賑わっていた会場も声少なめに真剣に数字に向き合う光景となり、その内にため息が漏れ出したり、ビンゴに笑顔がこぼれたりしながら全員でお楽しみいただきました。残った時間でカラオケを楽しみました。ここに出演される方は、みなさん上手な人ばかりでしたが、なんと言っても、新井さんのパフォーマンスカラオケと二組のデュエットが印象に残りました。最後に、高田副会長が交流会を盛り上げていただいた



参加会員の皆様へ御礼の挨拶があり、一本締めで交流会を閉めていただきました。その後、各コース別に記念写真を撮って散会しました。



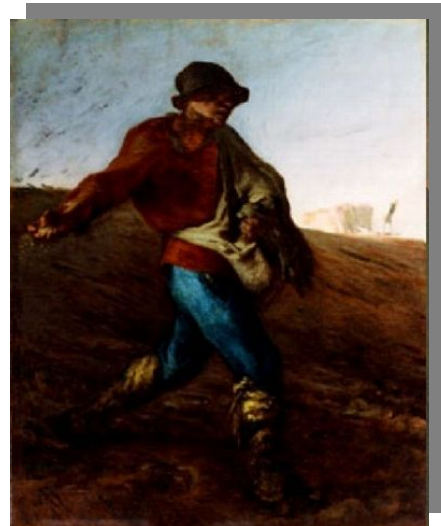
●日帰りバス旅行＝10/23 武田神社・山梨県立美術館外＝

小雨の降るなか、健康づくりコース 21 名、郷土を知るコース 14 名、まちづくりコース 18 名合計 53 名がバス 2 台に分乗、席割は 1 号車に郷土を知るコースと健康づくりコースの男性が、2 号車はまちづくりコースと健康づくりコースの女性がそれぞれ別れ、ポッチャリ美人のバスガイドさんの合図で大宮シーノビル前を 8 時 40 分に出発して目的地に向かう。途中、圏央道狭山 PA でトイレ休憩を取り、八王子ジャンクションから中央道に入り、始まったばかりの山々の紅葉を眺めながら勝沼 IC を経て最初の見学地、万寿園へ。

★万寿園では葡萄酒醸造の行程を見学し、赤・白ワイン、花梨等試飲でほろ酔い気分になり、バーベキューハウスでの昼食は地元名物カボチャほうとうに舌鼓をうち、お土産にワインボトルを買う人もいました。再びバスで武田神社に向かい、到着したころは雨も上がりました。神社の周りは池に囲まれて鬱蒼とした森の中に武田氏ゆかりの躰躰が先屋敷跡、宝物殿、武田 24 将列伝記等があり、郷土の偉人の思いが偲ばれる。



★最後の見学地、山梨県立美術館は DVD の作品と学芸員の実物説明で館内を見学、1978 年開設以来、ミレーの美術館として親しまれています。「種をまく人」を中心にヨーロッパの主要な風景画家、パルビゾン派の作家、山梨ゆかりの「萩原英雄 コレクション」「深沢幸雄コレクション」が中心で、収蔵品の総点数は 1 万点に及ぶ。見学時間が短い！の声がしきり。



★帰りは甲府昭和 IC から談合坂へ、ガイドさんの音頭でビンゴゲームを始め、9 名のビンゴ達成者に会長から賞品袋が渡された、中身は不明？談合坂でトイレ休憩を取り、川越 IC を経て大宮へ、このころ心配していた雨も少し降り出した。会長の今後の校友会行事予定にご協力お願い、運転手さん、ガイドさんの御礼の言葉に皆、拍手で答え無事旅行を終えました。18 時 20 分大宮着・解散

第3回ボランティア活動発表会

(H24. 10. 26)



音楽に合わせて、手話ダンスを舞う

専科一期手話ダンス同好会



楊名時太極拳24式

専科一期はくつるの会



●一期主催第4回専科合同ウォーキング＝10/30 古河史跡めぐり＝

10月30日（火）、第4回専科校友会合同ハイキングは、冷え込みの厳しい天気となりましたが、東北線古河駅に集合したのは、一期生8名・二期生20名と全員で28名のも大勢の参加をいただきました。

★歴史ある古河市は、1455年鎌倉にいた関東管領足利成氏が幕府と対立、成氏は古河城に拠点に移し古河公方を名乗り周囲に強大な勢力圏を築いた事で北関東の中心的な都市として重要視されました。成氏が死去すると一族間の対立が度々起こり、戦国大名として巨大化出来ず、次第に北条氏に従属するようになりました。5代古河公方足利義氏には男子がなかった為一時断絶、豊臣秀吉の命により義氏の娘の氏姫と一族である足利国朝とを婚姻させ古河公方家が再興し後の喜連川氏（喜連川藩主）の祖となりました。江戸時代に入ると幕府から戦略的拠点として重要視され歴代古河藩主には譜代大名が配置され（江戸時代中期以降は土井氏8万石）、古河城は将軍の日光東照宮（栃木県日光市）参拝の折には宿舎として利用されました。又、古河市は奥州街道の宿場町や利根川、渡良瀬川の舟運の拠点として経済的に発展し多くの物資が運び込まれました。このように発展して来たのが古河の歴史で、今日はその歴史巡りを楽しみました。



古河城乾門が移築されている福法寺で説明を聞く高い



土井一族の菩提寺・正定寺 朱塗りの門が格調



徳川時代の古河初代城主・小笠原秀政が開基した



総合公園内の公方別邸鴻巣館

●いきいきフェスティバル=11/4 太極拳クラブ参加=

彩の国いきいきフェスティバル
太極拳クラブ「はくつるの会」出演

秋晴れの11月4日（日）県民活動総合センターの一大イベント「彩の国いきいきフェスティバル」が開催されました。

「はくつるの会」はクラブ紹介の後、吉橋師範と精鋭7名が正面玄関前特設ステージで「楊名時太極拳24式」を演技しました。直前のステージが、HIP HOPにキッズダンスと超若者の激しいリズムでしたが、我がチームは、鶴が舞うごとく優雅に伸び伸びと演技し、万雷の拍手を戴きました。太極拳は己の健康のためであるが、人前にでることも励みになる良い機会であると実感しました。いきいきフェスティバルは、1万人を越す人出とか、他にも楽しい企画やイベントが一杯で大いに楽しんだ一日でした。（文・写真 蔦川）



●伊奈連協第21回合同研修会＝11/16 県民活動センター＝

午前の部

★専科一期卒業後、21期二年制へ進学された方も今年3月に卒業されたので、両方の校友会 会員になっている方も多く、合同研修会にはどちらの校友会に参加するか選択を迫られる中 で、専科一期校友会には二年制を卒業された方も含めて全体で41名参加。



★まずは、角田会長の挨拶で専科一期の期別集会は幕を開けました。

★次に各コース活動報告がありました。●健康コース（伊藤盛夫）＝9/26の凸版印刷博物館見学会報告がありました。●郷土コース（宮島昭夫）＝5/20の鴻巣の史跡めぐり、9/25の皇居と警視庁見学会報告がありました。●まちづくりコース（星野雄三）＝現在、コースとしてまとまった事業は行っていないとの報告がありました。

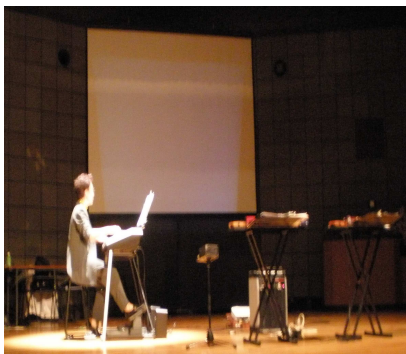
★次に会場を代えて県出前講座「震災に強い都市づくり」を専科三期と合同で受講しました。全体の参加者は98名（専科一期41名、専科三期57名）と盛況で307セミナー室は会員の皆さんで埋め尽くされ、県の講師も熱弁をふるっていました。最後に角田会長の挨拶で県出前講座も終了しました。



午後の部

★1階小ホールで合同集会の開講式が行われました。昨年から合同研修会も卒業生が多くなり、会場の確保もままならず、奇数と偶数別にして午前・午後の二部制となったことから、開講式も午前と午後の2回行っています。合同研修会の企画担当は21期と専科3期です。そのご苦労に対し 感謝申し上げます。

★合同研修イベントとして、川畑恵子・金子由美子さんの演奏による「ミニコンサートと歌を楽しむ」が開催されました。今年の1月、さいたま市大宮市民会館で開催された専科一期・二期合同音楽会で演奏していただいたお二人です。



●校友会だより第2号

(1) 彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期校友会会報 平成25年1月1日発行



校友会だより

平成24年度 第2号
発行者 角田 進
会員総数 97名

専科一期校友会
会長 角田 進



新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月の就任以来、2年制校友会との重複会員が誕生したことを踏まえ、何とか専科1期校友会に所属することの価値を高めようと頑張ってきました。1つは制度上の改善策で、伊奈連協と県連協への会費について、重複会員は専科の分を免除することを連協の皆様にご了承いただきました。2つ目は、本会のモットーを「気軽に楽しくおおらかに」と定め、お花見ウォーキングに始まり、音楽会、暑気払い、日帰りバス旅行に古河史跡めぐりウォーキングと、専科2期、3期との合同開催も含め、さまざまな催し物を展開してまいりました。お楽しみいただけましたか。

さて、本会の平成24年度活動もあと3か月となりました。私たち理事会では3月に県連協主催で行われる第1回芸能祭への対応と、4月からの新しい体制にスムーズな引継ぎをするべく、準備を進めているところです。今後も引き続き、本会の活動が皆様の充実した生活の一部となりますよう、役員一同つとめてまいります。皆様におかれましても、本会のますますの発展にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとってさらに良き年となりますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
年間行事実施済表	P 2
校友会行事報告	P 3
各コース活動報告	P 9
クラブ活動報告	P 11
編集後記	P 16



彩の国さいたま

●専科一期主催第5回合同ハイキング=25.1/7 与野七福神めぐり=

何しろ一昨年、初代校友会会長の田中さんと二代会長の玉置さんが専科合同ハイキングクラブを立ち上げて二年にならんとしている。今年は玉置さんが昨年まちづくりコースで実施した与野七福神めぐりをお願いして開催していただいた。専科校友会として呼びかけたところ、専科四期生まで入れて21名とちょうど行動し易い人数でほっとした。参加者は一期14名、二期6名、四期1名の方々の21名です。まずは玉置さんの案内説明に続き、角田一期会長の挨拶、落合二期会長の挨拶をいただいてから、寒いとは言え、風もなく歩みも軽く元気よく七福神めぐりのウォーキングに出発と相成った。アリーナーは高校のバレーボール全国大会で熱気あふれる若者たちで賑わっている。それを尻目に我々は七福神めぐりへと街に出る。



- ★久方に仲間集いて福詣
- ★風もなく歩みも軽く福詣
- ★福詣して甘酒を飲みにけり
(氷川神社)
- ★七福神めぐりや心新たなる
(一山神社)
- ★マスクして願いごとのみ福詣
(天祖神社)
- ★名刹の僧に出会わず福詣 (円乘院)
- ★鈴鳴らしおのおの祈る福詣
(円福寺)
- ★甘酒のもてなし受けぬ福詣
(鈴谷大堂)
- ★七福の詣の終わり弁財天 (二度栗山弘法尊院)
- ★健康は何より宝福詣



(文・写真 岡村)

●健康コース活動＝9/26 凸版印刷博物館と防衛省見学会＝

専科1期校友会健康コースで9月26日（水）に15名で凸版印刷博物館と防衛省市ヶ谷記念館を見学しました。大宮駅豆の木前に8時20分に集合して、京浜線で王子駅へ、地下鉄南北線に乗り替え飯田橋駅で下車、徒歩15分で印刷博物館へ。印刷博物館見学は1時間20分、昼食時間は1時間。昼食後徒歩15分でJR飯田橋駅→市ヶ谷駅、徒歩10分で防衛省へ。防衛省見学15時40分終了・解散。

☆凸版印刷博物館

印刷博物館では案内人により印刷文化の歴史を一望できる大壁面で説明を受けました。壁面上の展示物は以下の6つのテーマで構成されている。前印刷（岩や骨などに記録された情報）、印刷との出会い（印刷の黎明期）文字を活かす（活字の登場）色とかたちを写す（図版の登場）、より速く、より広く（動力を得た印刷）、印刷の遺伝子（デジタル時代の印刷）実施体験としてタイピング印刷でカレンダーを作成しました。昼食時は社員食堂で前もって注文した食事を楽しく頂きました又、前菜、食後のコーヒー、ジュース等は飲み放題でした。

☆防衛省市ヶ谷記念館

正面入口で見学者名簿と本人確認証明書を照合して入場。昭和20年8月米軍に接收され、翌年5月極東国際軍事裁判（東京裁判）の法定として使用された。昭和35年から陸上自衛隊東部方面総監部及び陸上・海上・航空自衛隊幹部学校等として使用された。平成12年5月、防衛庁が檜町（六本木地区）から移転した。1階大講堂 2階旧陸軍大臣室（前陸自東宝総監室）旧便殿の間（前陸自幹部学校長室）



活字の収納と取り出し



ミニカレンダーのプリント体験



凸版印刷食堂で

防衛省記念館前⇒
(文・写真 伊藤)



●郷土コース活動＝5/20鴻巣市史跡めぐり＝



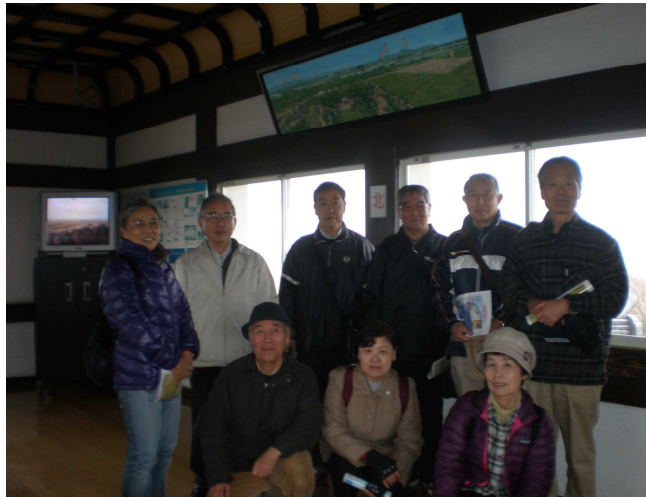
●郷土コース活動＝9/25皇居・警視庁見学＝



●郷土コース活動=25. 2/6 県立歴史と民族博物館と懇親会=



●郷土コース活動=25. 3/27 関宿城と中之島の辛夷の花見=



●まちづくりコース活動＝25. 2/18 鉄道博物館と盆栽美術館見学＝

まちづくりコースの活動は年1回で今年度は、平成25年2月18日(月)、鉄道博物館と盆栽美術館を見学しました。寒い時節なので、暖かな屋内見物の企画にしたのも担当理事さんたちのご配慮でしょうか。集まり具合は曇り空の為かイマイチでしたが17名が参加しました。10時の開館前、先ずはD51形式蒸気機関車の顔を背景に記念撮影。

★鉄道博物館館内の案内は、現役ボランティアガイドの伊藤登さん(総務部長)とお仲間の高橋さんが1時間半かけて懇切丁寧に説明してくれました。「汽笛一声 新橋を…」の鉄道唱歌で始まる日本鉄道の幕開けは明治5年の新橋―横浜間の開業、所要時間53分で、昔の新橋・横浜駅は汐留・桜木町駅の場所にあったこととか、新幹線は「夢の弾丸列車」として戦前から計画されていて、今の「夢の超特急」が実現したとか…。また、お召列車の前では、大正天皇は大の列車好きで内装は超豪華版のオール木製で作られているとか。誰かが言っていた。細かいことまではとても覚えきれない。これだけ記憶しよう…明治16年上野―熊谷開設で浦和・上尾駅開業、18年に大宮駅開業と吹き声。

模型ジオラマを10分間見た後、正午から高崎線・室蘭線で働いてきたC57135型機関車の汽笛吹鳴見学。転車台が360度回転する間に汽笛4声、機関手は伊藤登さんでした。昼食は3階で新潟行き、上野行き、青森行きの新幹線を眺めながら駅弁わっぱめしを食す。



伊藤 登さんのガイド

★大宮盆栽美術館

鉄 鉄道博物館駅からは東へ暫しウォーキング。野田線大宮公園駅を右手奥に見ながら直進、途中北上すると瀟洒な和風の建物に到着。拝観者はご婦人が二人、われらが入ると館内は急に賑やかに。親譲りの盆栽を持っているKさんに聞くと面倒で手入れし切れないとの弁。また、庭園の立派な盆栽の値段を係員に聞いたところ、教えられないと…??この美術館に来て、盆栽に「根張り、立ち上がり、シャリ(舍利)、ジン(神)、葉」など、各部の呼び名があることまた盆栽の座敷飾りに「真・行・草」があることを勉強しました。

往きも帰りも道中の会話もあって、楽しい愉しい一日でした。幹事さん皆さんありがとう。

(文：玉置、写真：滝澤)



平成25年度専科一期校友会活動報告

活動名★事業	実施日	場 所	活 動 概 要
第3回定期総会	4.19	県民活動総合センター	H24年度活動報告、H25年度活動計画、新役員の承認
第1回理事会	4.25	〃	年度計画の確認
第2回理事会	5.24	〃	自己紹介、各部の活動計画
校友会だより1号発行	6.01		25年度活動等紹介
第3回理事会	6.24	県民活動総合センター	暑気払い計画
★暑気払い	7.02	大宮サパレス	51名参加
第4回理事会	8.23	県民活動総合センター	バスハイク計画、臨時総会について
第5回理事会	10.17	〃	臨時総会資料確認、打合せ
第4回ボランティア発表会	10.26	〃	手話ダンス、太極拳参加●
★日帰りバス旅行	10.29	小諸懐古園他	38名参加
臨時総会	11.15	県民活動総合センター	今後の校友会活動提案 34名参加
第6回理事会	12.20	〃	学習会企画
校友会だより2号発行	1.01		
第7回理事会（新旧）	2.26	県民活動総合センター	新旧理事会
★講演会	2.26	〃	藤吉 次郎氏（元テレビ東京アナウンサー）
第8回理事会（新旧）	3.20	〃	総会資料確認、打合せ
第9回理事会（新旧）	4.11	〃	総会資料確認、打合せ
第4回定期総会	4.18	〃	52名参加
クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数			
1	手話ダンス同好会	17回	延べ122名 参加
2	太極拳クラブ	11回	延べ54名
	はくつるの会ハイキング	9回	延べ57名
3	俳句「ゆめ」クラブ	12回	延べ180名
4	俳句「遊」クラブ	12回	延べ155名
5	卓球クラブ	18回	延べ203名
7	専科合同グラウンドゴルフ	1回	15名
8	専科合同ハイキング	1回	3名
9	合同墨彩画展	1回	5名
各コース活動報告			
1	郷土コース	2回 お人形の町・岩槻史跡めぐり JR東日本大宮総合車両センター	8名参加 17名
2	健康コース	2回 醤油の街を散策 川口駅東口観光コースを散策	21名 15名
3	まちづくりコース	1回 醤油の町野田市の醤油工場見学と歴史散策会	16名

●第4回定期総会＝H26. 4/18 県活＝

1. 開会のことば

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 書紀

議事録署名人の選出

5. 議事

①第1号議案 平成25年度活動報告

②第2号議案 平成25年度決算報告

③第3号議案 平成25年度監査報告

④第4号議案 平成26年度新役員選任（案）

⑤第5号議案 平成26年度活動方針（案）

⑥第6号議案 平成26年度予算計画（案）

6. 議長解任

7. 新会長就任挨拶

8. 閉会のことば

司会 中村 正武

理事 北氏 和雄

会長 田中 忠

企画部長 山田 宏明

会計主管 山崎高三郎

監事 角田 進

新会長

新副会長

新会計

副会長 原井 克之



平成26年度役員選任

担当区分	理事	役職	コース役職	備考
まちづくりコース	蔦川 忠義 ●	会 長		
(総務担当)	小金沢 憲男	副会長	コース長	
	大島 修	総務部長		
	高橋 幸子	総務副部長		
	石井 三代子	総務副部長	コース会計	
郷土コース (広報担当)	岡村 昭則	副会長兼広報部長	郷土を知るコース長	
	浅見 法子	会計主管		
	森田 啓資	広報副部長		
	長澤 輝子	広報副部長兼会計	コース会計	
健康コース	埴 恒雄	副会長兼企画部長	コース長	
(企画担当)	栗原 八洲子	企画副部長		
	松山 ノブ子	企画副部長		
	斎藤 志津子	企画副部長	コース会計	
監 事	山崎 高三郎 (健康)		石田 孝彦 (まち)	

- ・幹事会=会長・副会長・各部長・会計主管の5名
- ・理事会=理事及び監事の全員

ホームページ委員				
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄		
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠		
まちづくりコース	高平 保	久保田 圭子	山田 宏明	

HP委員はホームページ作成の原稿収集の広報部支援を行う。

参考：クラブ・同好会（他期との合同を含む）	
①パソコンクラブ	⑥ハイキングクラブ
②太極拳クラブ	⑦グラウンドゴルフクラブ
③俳句・ゆめクラブ	⑧陶芸クラブ
④俳句・遊クラブ	⑨墨彩クラブ
⑤卓球クラブ	⑩手話ダンス同好会



●校友会だより第1号



校友会だより

平成25年度 第1号
 発行者 田中 忠
 会員総数 88名

専科一期校友会
 会長 田中 忠



ごあいさつ

25年度の校友会会長を務めることになりました田中でございます。専科コースは各期とも卒業後、半数以上の方が二年制に進学されることから、校友会運営に様々な問題を抱えております。

専科一期卒業生の皆様には、ほとんどの方が会員として残っていただき、校友会活動にご協力をお願いしていることに心より感謝申し上げます。

これまでの3年間で校友会の年間活動も一定のルーチン化が図られ、各コース活動、クラブ活動、ホームページ活動等が活発に実施され、会員の親睦が図られていることや、伊奈学園建学の精神である地域ボランティア活動の参加へ、手話ダンスクラブや太極拳クラブが実践に移りとおおいに発展しています。

また、専科一期校友会は、専科各期校友会に呼びかけて音楽会・学習会の合同事業を展開させ、グラウンドゴルフやハイキング等合同クラブを結成し活動しています。加えてホームページも専科校友会トップページをオープンさせて、黒連協・伊奈連協・専科合同等の各期共通事業案内を行い、各期ホームページ取材の省略化を図ってきました。

このように専科一期校友会活動が活発なのも過去3年間にわたる、理事各位及び関係者の努力と、会員の皆様のご理解とご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。

さて、25年度の校友会運営につきましては、新たな事業を盛り込んだ計画に基づき実施しますので、積極的なご参加をお願いします。また、伊奈連協への意向調査も実施したいと考えています。新しく就任された役員一同、これからも校友会のモットーである「気軽楽しくおらかな校友会」を目指して活動していきますので、変わらぬご支援とご協力のほどお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	-----	P 1
各部からの方針	-----	P 2
各コースの計画	-----	P 3
役員分担表	-----	P 4
年間行事一覧表	-----	P 5
クラブ活動一覧表	-----	P 6
クラブ活動報告	-----	P 7
コース活動報告	-----	P 16
みんなのひろば	-----	P 18



●第4回交流会=7/2 大宮サンパレス=

7月2日、専科一期校友会は交流事業の一つとして「暑気払い」を大宮サンパレスで開催しました。梅雨最中とはいえ、今日の天気は我々の行事を歓迎するかのように晴れ渡り、足元に気をとられることもなく会場に足を運ぶことができました。卒業して丸3年が経ちました。会員数は卒業時の116名から88名になりましたが、今日の暑気払いには51名の方が参加してくれました。会場入口でコース別受付を済ませ、各自が各コース別テーブルの座席表によりテーブルに着きました。久しぶりにお会いするクラスメートと声を掛け合う光景が数多見られました。特に嬉しかったのは遠い横浜市金沢区から健康コースの田中里子さんが参加してくれたことです。★ここは結婚式披露会場とあって、



いつ来ても静かで落ち着いた雰囲気は私達を和ませてくれます。まずは、柿沼企画部副部長の司会で暑気払いの幕が開き、次いで石田副会長の開会宣言、田中校友会会長の挨拶がありました。中村副会長の音頭で「専科一期校友会の発展と会員の健康を祈念して」乾杯し、懇談に入りました。皆でお弁当を食べながら交流の会話が弾んだことは言うまでもありません。★食事後のアトラクションは各コース別の持ち時間内で催し物を披露することになっています。健康コースは、手話ダンス同好会の皆さんが「ビリーブ」、「いつでも夢を」に合わせて手話ダンスを披露してくれました。専科一期校友会で誇れるボランティア活動を続けています。次にまちづくりコースは手品です。今日のリーダーを務める平林さんは蕎麦打ち名人ですが、それに一品を加えるべく手品を勉強中

とか。はじめに平林さんがハンケチを使った手品を見せてくれました。次に山崎さんで、初公開するのは、ペットボトルの口に百円玉で蓋して筒を被せ、筒から球を落とす手品や、ペットボトルの中で割りばしを自由に浮かせる手品を行いました。失敗の連続で会場は爆笑の渦でした。平林さんはボランティア活動で蕎麦打ちと手品を紹介するため、この8月にアジアに旅行すると語っていました。



しんがりは郷土コースで昨年のように参加することに意義ありを強く意識し、急仕立てで「瀬戸の花嫁」と「リンゴの歌」を合唱しました。最後に前角田校友会会長に指揮していただき、東日本大震災で被災された方々への思いを込めて「花は咲く」を参加者全員で合唱して終わりました。

★次のお楽しみのビンゴゲームは、企画部の皆さんが裏方を務め開始されました。郷土コースが「リンゴの歌」の三番をビンゴゲームへの思いを込めて替え歌を合唱したように、これまで賑わっていた会場も声少なめに真剣に数字に向き合う光景となり、その内にため息が漏れ出したり、ビンゴに笑顔がこぼれたりしながら全員でお楽しみいただき、半数近くの方が賞品をゲットして終わりました。このゲームは参加者の皆さんをワクワクさせますね。次回は日帰りバス旅行で行うと思いますのでご期待を！

★会場の時間が残り僅かとなったので、大急ぎでコース別参加者の写真を撮り、最後に、北氏副会長が交流会を盛り上げていただいた参加会員の皆様へ御礼の挨拶と会員の健勝を祈念して一本締めで交流会を閉めていただきました。次回は10/29の日帰りバスハイクです。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。(広報部長)

●第4回ボランティア活動発表会=10/25 手話ダンス同好会参加=

10月25日、第4回ボランティア活動発表会に出場しました。今年で3年連続となり、そろそろ卒業になるかも。ただ、伊奈学園校友会のこの催し物は、他の学園の「芸能祭」と異なり、普段ボランティア活動を実践しているグループが優先的に出場するので、来年も申込数いかなでは、逆にイナ・ヴォイスからお声がかかるかも知れません。

★今回は、グループの紹介をプロジェクターを用いて行うということで、最初の5分位は本会の成り立ち、練習スケジュール、4月からの訪問実績とその様子、の順に投影・紹介しました。続いて、いつもボランティア訪問で行っている「みんなで唄おう」のコーナー、この日は会場の皆さんに参加していただき、「紅葉」を唄いました。



★最初の踊りは、手話ダンスではなくレクダンスの「ギンギラギンにさりげなく」。曲目を紹介すると会場から「ホーッ」という声が聞こえるなか、4分間の踊りに集中しました。実は本番前、リハーサルで3回踊っており、これが4回目。途中から少し足に来たのが情けない。踊り終わって息を切らせながら次の曲「里の秋」を紹介したのは多少演技も入っていましたが、歌を先にしたのは正解でした。

里の秋で息を整え、最後はようやく覚えた「明日があるさ」で締めました。予定の20分はパソコンと音響担当のお二人のスムーズな操作のお蔭で、2分残して終了となりました。さて今回の人気投票、結果は昨年に引き続き2位となり、奥ゆかしさのなかに実力が地に付いたと言えるのではないのでしょうか。（文：角田、撮影：イナ・ヴォイス）



●日帰りバス旅行＝10/29 小諸懐古園外＝

10月29日、先週27号と28号台風が通過し、よい天気が続いたので今日もなんとか持ってほしいとの願いが受け入れられ、秋曇りの中、専科一期校友会恒例行事のバスハイクに36名の参加をいただき、楽しい一日を過ごすことができました。これも山田企画部長をはじめ企画担当のみなさんのご協力があって、「懐古園とこんにやく博物館」の見学が実現したことであり、企画されたご苦勞に対し、参加者一同感謝あるのみです。

さて、今日の旅を少し振り返ってみましょう。昔より旅は私達を日常生活から解放してくれるとあって、みなさんリラックスして集合されてから解散するまで仲間との会話が弾んでいました。参加された皆さんを観察していると、旅の味付けを「写真撮影で行っている人、俳句を詠んで行っている人、歴史が好きでガイドの説明を聞きながら徴古館の展示品に目を凝らし見ている人、石碑等を深く読んで昔に思いはせている人、島崎藤村の唱歌を口ずさんでいた人、見学の合間に手話ダンスの練習をしている人」等様々で旅をそれぞれの感覚で楽しんでいた。

加えて旅の楽しみは食べることです。今回は佐久の「おぎのや」の名物の釜飯と、「こんにやく博物館」のこんにやくバイキングが私達の食べる楽しみを堪能させてくれました。昔、信越線で軽井沢へ峠越えする時に横川駅で買って食べた峠の釜飯は、今でも美味しかった記憶が脳裏に深く刻み込まれていますが、現在の大量生産で機械的に作り出される釜飯は、味が今一つと言ったところではないでしょうか。

こんにやくのバイキングはみなさん初めてなので興味しんしんで何種類にも料理された「こんにやく料理」を楽しんでいました。私は田楽味噌オデンとこんにやくラーメンを美味しくいただきました。こんにやく料理に感動してか、みなさん「こんにやく」を沢山買い込んだ方が多かったですように見受けられました。



●いきいきフェスティバル=11/4 太極拳クラブ参加=

私達専科1期太極拳クラブ“はくつるの会”は11月4日県民活動センターで開催された、いきいき埼玉主催の彩の国いきいきフェスティバルの演技の部に出演しました。

★出演団体は選考で選ばれた14団体でフラダンス6団体、他のダンス系が3団体と女性を中心とした華やかな団体が目を引きました。その華やかさの中で私達太極拳は黒い衣装と真っ赤な帯締めで会場の雰囲気を一ピリッと締めたと感じています。

★今回の出し物は楊名時太極拳の不老拳と百華拳です。不老拳とは太極拳24式の中の前般12式の演武です。また百華拳は後半12式の演武ですがこの演武は全員が円になり観衆から見ると円が回ったり、円が縮小・拡大したりして丁度花がっぼんだり開いたり揺れ動く様が見られます。聴衆の方からは初めて見る動きのある演武で、興味を持って見られたとの感想が聞かれました。数千人が訪れると言う大変賑わうこのフェスティバルに出演し、なんとか演武ができたことは私達にとって記念すべき日となりました。(文：埴 写真：高田)



伊奈連協退会意向調査にご協力有難うございました

★「一専科一期校友会を10年間続けるために一」というタイトルの下に、伊奈連協退会を打ち出すに至った3要因挙げて会員の理解をいただき、退会意向調査を実施しました。卒業生の半分が二年制に進学・卒業で会員が減少で専科校友会活動は、各期専科校友会とも縮小化していく特殊要因があること②専科校友会は各期とも年数を経過するに連れて役員のみ手がないこと。

③専科校友会校友会が抱えるダブル会員の特殊要因による会員減少を、伊奈連協力は顧みることなく、機能していない伊奈連協の中核部である企画部と広報部の担当を専科校友会に押し付けてきたことから、専科一期校友会の組織防衛を図る必要があること。

★伊奈連協退会意向調査

私たち会員も齢を重ねていくと、エネルギーが少なくなっていく自然摂理の中での行動範囲も狭くなることは否めない状況があります。専科一期校友会活動を充実させるためには、余計なものは切り落としていくことが大事だと考えています。現在の伊奈連協に加盟していても会員にとってメリットは少なく、専科一期校友会役員に大変重い負担がかかるのみです。幹事会としては退会したいと思っておりますが、一番のベースになるのは皆さんの意見ですから意向調査を実施しますのでどちらかに○で囲み8月15日までに各コース副会長にメールまたは電話で回答してください。

A、伊奈連協退会に賛成する B、伊奈連協に留まるべきだ

伊奈連協退会意向調査結果

単位：名

コース	退会賛成	退会反対	保留	未回答	計
健康	27				27
郷土	26			1	27
まちづくり	23	1	2	7	33
計	76	1	2	8	87

※ 健康コースの鈴木玉三郎さんが退会しましたので会員総数は87名です。

この調査結果に基づき、

8/19 幹事会で伊奈連協退会を決定。

8/23 理事会で調査結果を報告し理事会の承認を得る。

11/15 臨時総会を開き、伊奈連協退会の意思決定をし、規約改正を行います。

11/15以降に伊奈連協に専科一期校友会は26年度より退会することを通告します。

★専科一期校友会を10年間維持するために、「伊奈連協は主体性を持って広報活動していない」ことを指摘して伊奈連協への公開質問状や伊奈連協組織改革案を出したことから端を発し、専科二期・三期は組織防衛のため伊奈連協を退会しました。専科一期校友会の伊奈連協退会へ向けて取組も今回結実したことで「難問を一つ乗り越えた」という充実感が湧いてきます。会員の皆様のご協力に感謝します。

★脱退することによって諸々の利点が生まれます。

①専科一期校友会理事の負担が大幅に軽減される。

②会費が軽減できる。(2000円⇒1500円)

③自由な独自の活動を目指せます。

(広報部長)

●伊奈連協退会のための臨時総会＝H25. 11. 15＝

日 時 平成25年11月15日(金) 午前10時～

場 所 県民活動総合センター第3会議室

出席者 校友会会員 35名 (会員総数87名)

議 題 ①第1号議案 今後の校友会活動提案

②第2号議案 組織改革に向けた提案

・会則改訂提案

・細則改訂提案



★定刻により、副会長の石田忠彦さんから開会が宣言され、続いて議長選任の件を会則により会長の田中忠さんを議長に選任した。議長は事務局に会員総数、本日の出席会員数の報告を求め、本会の宣言を行った。引き続き、書記に吉野利美子さん、中原愛子さんを選任、議事録署名人に角田進さんと小金澤憲男さんを総会の承認を得て選任した。

★議決事項

①第1号議案 今後の校友会活動提案について、田中会長より「卒業後3年経過の校友会活動をふり返り、伊奈連協退会への提案と校友会活動のスリム化を総会に諮る。」との説明がなされた。

②第2号議案 組織改革に向けた提案について、北氏副会長より「・本会会則の改訂について、議案書に基づき、主な改定点は、本会の活動から連協との関係を削除、理事は各コース前年度末の会員数により選出と、会費は年額1,500円とすることを、議長はこれを総会に諮る。」と説明がなされた。次に「・本会細則の改訂について、議案書に基づき、主な改定点は連協との関係を削除とイナ・ヴォイス活動はボランティア活動と全般的な表示にすることを総会に諮る。」との説明がなされた。



2案件について提案説明が終わったので、議長が1号議案、2号議案、併せての採決を諮り、異議なく原案どおり承認可決された。

★以上をもって本臨時総会の議事はすべて終了し、田中会長は議長を退任。副会長の原井氏から閉会が宣言された。

※総会終了後は各コース別にお話の会が開かれました。昼食後、伊奈連協の合同研修会に参加して「夢のコンサート・マリンパー調べ」を楽しみました。

●校友会だより第2号

(1)

影の国いさがい大学伊奈学園専科一期校友会会報

平成26年1月1日発行



校友会だより

平成25年度 第2号
 発行者 田中 忠
 会員総数 87名

専科一期校友会
 会長 田中 忠



新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この一年、校友会の運営に関しまして会員みなさまには多大なご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。振り返りますと、専科コースは年々会員の減少が著しくなることから、校友会活動の停滞も考え、組織防衛のために、皆様のご協力により伊奈連協の退会を決めさせていただきました。校友会行事の「暑気払いと日帰りバス旅行」も多くの会員の参加をいただき無事に終わることができました。

これまで実施してきた合同の学習会や音楽会は、専科二・三期の伊奈連協退会を契機に取組も参加者実費徴収型事業に変わりましたが、今年度は専科一期主催で学習会を開く予定です。昨年11月、初めて専科校友会合同グラウンドゴルフ大会を実施し、一期から四期まで合わせ29名の参加をいただき成功裏に終わりました。

今後も引き続き、本会の活動が充実したものになりますよう、役員一同努めてまいりますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年が皆様にとってさらに良き年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
年間行事実施状況	P 2
校友会行事報告	P 3
各コース活動報告	P 11
クラブ活動報告	P 14
みんなのひろば	P 20
編集後記	P 20



●学習会＝26/2.26 フリーアナウンサー（元・テレビ東京）藤吉次郎氏の講演＝

専科一期校友会は活動の一環として、これまでも合同の学習会や音楽会等を実施してきました。今年度は専科各期校友会とも会員減少の続く中で、合同学習会や音楽会が企画できればと考えていましたが、今年度、企画する校友会がなかったことから、専科一期校友会が前角田会長の協力をいただき、フリーアナウンサー藤吉次郎氏の講演会を開催しました。専科二期から四期までご案内して、全体で47名の方が参加されました。講演の内容を簡単に紹介します。

★まず、フリーアナウンサーという立場からソチオリンピックに行かれて、記憶に残るオリンピックと記録に残るオリンピックがあり、今回は記憶に残るオリンピックで浅田真央選手の女子フィギュアスケートフリーを「最高の演技」で魅せた感動に言葉はいらぬの一言でした。この感動を語らずして臨場感を伝えるかがアナウンサーの技量にかかっていることを話され、聞く私も実感しました。

その他に、1984年のロスアンゼルスオリンピックや1994年前のワールドカップのドーハの悲劇、あるいは今回の男子ジャンプ・ラージヒルの葛西紀明選手の実況中継にアナウンサーの適切な言葉を選んで臨場感を伝える難しさを語っていました。アナウンサーはしゃべりすぎるので間をあけることが大事とも語っていました。

★スポーツ中継の裏話をお話しいただいた後、本題の「正しい日本語を使っていますか」をお話しいただきました。これは日常生活の中で私達は無意識に使っていますが、アナウンサーに一番求められていることだと思いながら聞きました。基本は心・技・体の3拍子で、心は分かりやすい、技は分かりやすく伝えられる技術、体は健康な体を作っておくことに尽きるようです。日本語として、現在使われている言葉、生きた言葉、正しい言葉等があります。新聞協会では統一的な用語集があるようです。どういう言葉であれ、やはり使い方が問題なのです。今日は、いわゆる「ら抜き表現」について教えられました。「一般的にはです・ます調を使うのが大事と語っていました。「ら抜き表現」は、「食べれる」「見れる」「出れる」のように、本来「たべられる」、「見られる」、「出られる」などというべきところを。「ら」を抜いて表現した（とされる）可能表現のことです。今回は藤吉フリーアナウンサーの立場から使う言葉、話す言葉、書く言葉を正しく使うためのヒントや、間違った使い方などの例え等をお話しいただきました。藤吉さんが手振りで表現されたり、裏話では面白いこともお話しされるので笑いがこぼれる場面もしばしば見受けられました。振り返ると、私達も無意識に間違った言葉使いをしていること痛感しました。アナウンサーだからこそ言葉使いの厳しさが求められていることが理解できました。

以上のようなお話を聞き、女性3名、男性1名より質問がありましたことを書きくわえて講演内容のまとめとします。（広報部長）



●健康コース活動＝4.19 醤油の街を散策＝



●健康コース活動＝11.21 川口駅東口観光コースを散策＝



●郷土コース活動=4/2お人形の町・岩槻史跡めぐり=



=12/4 J R 東日本大宮総合車両センター=



●まちづくりコース活動=26/3. 19 醤油の町野田市の醤油工場見学と歴史散策会=



平成26年度専科一期校友会活動報告

年月	開催	行事内容 ★事業	会場・場所	備考会員87名
3月	20日	第8回理事会(新旧引き継ぎ)	県活(302室)	
4月	11日	第9回理事会(新旧引き継ぎ)	県活(302室)	
	18日	校友会第4回定期総会	県活(210室)	出席52名
	25日	第1回理事会	県活(203室)	出席13名
5月	16日	第2回専科校友会及びHP合同連絡会	県活(204室)	専科1~5期15名(専科1期4名)
	23日	★一期主催合同ウォーキング	銀座八丁神社めぐり	19名参加1期18名
6月	1日	校友会だより第1号		広報部
	13日	第2回理事会	県活(203室)	出席12名
7月	10日	★交流会(暑気払い)	大宮サンパレス	49名参加
8月	22日	第3回理事会	県活(33準備室)	出席14名
9月	29日	★一期主催合同ウォーキング	栃木県大平山散策	13名参加・一期6名
10月	10日	第4回理事会	県活(203室)	出席11名
	29日	★日帰りバス旅行	足尾銅山、富弘美術館	39名参加
12月	12日	第5回理事会	県活(206室)	出席12名
1月	1日	校友会だより第2号		広報部
2月	13日	第6回理事会(新旧理事)	県活(302室)	出席26名
	13日	★一期主催合同学習会・年金	県活(306室)	1期27名全33名
3月	13日	第7回理事会(新旧理事)	県活(302室)	出席18名
	10日	26年度会計監査	県活(302室)	
	10日	第8回理事会(新旧引き継ぎ)	県活(302室)	出席21名
	24日	校友会第5回定期総会	県活(210室)	49名参加
クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数				
1	手話ダンス同好会		13回	延べ81名 参加
2	太極拳クラブ		12回	延べ66名
	はくつるの会ハイキング		3回	延べ17名
3	俳句「ゆめ」クラブ		12回	延べ206名
4	俳句「遊」クラブ		12回	延べ140名
5	卓球クラブ		20回	延べ257名
6	専科合同ハイキング		2回	延べ24名
7	専科合同グラウンドゴルフ		1回	15名
8	合同墨彩画展		1回	5名
各コース活動報告				
1	郷土コース	1回	野田醤油工場と清水公園	15名参加
2	まちづくりコース	1回	東京スカイツリー	10名

●第5回定期総会＝H27.4.24＝

司会 大島 修

1. 開会のことば

理事 小金澤憲男

2. 会長挨拶会長 蔦川忠義

3. 議長選出

4. 書紀

議事録署名人の選出

5. 議事

①第1号議案 平成26年度活動報告

企画部長 塙 恒雄

②第2号議案 平成26年度決算報告

会計主管 浅見法子

③第3号議案 平成26年度監査報告

監 事 石田孝彦

⑤第4号議案 平成27年度新役員選任(案)

新 会 長

⑥第5号議案 平成27年度活動方針(案)

新 副 会 長

⑦第6号議案 平成27年度予算計画(案)

新 会 計

6. 議長解任

7. 新会長就任挨拶

8. 閉会のことば

副会長 岡村昭則



平成27年度役員選任

担当区分	理事	役職	コース役職	備考
(総務担当)	伊藤 盛夫 ●	会長兼総務部長	健康づくりコース長	
	吉橋 佳子	副会長総務部		
	奥山 久子	総務部	健康づくりコース会計	
	星沢 恵美子	総務部		
	岩松 忠子	総務部	郷土を知るコース会計	
(広報担当)	岡村 昭則	副会長兼広報部長	郷土を知るコース長	
(企画担当)	大森 勇	副会長兼企画部長	まちづくりコース長	
	新井 真弓	会計主管		
	石井 一好	企画部		
	久保田 圭子	企画部	まちづくりコース会計	
	高平 保	企画部		
	野村 侃滋	企画部		
	宮島 昭夫	企画部		
監 事	蔦川 忠義 (まち)		浅見 法子 (郷土)	

- ・ 幹事会＝会長・副会長・各部長・会計主管の5名
- ・ 理事会＝理事及び監事の全員

ホームページ委員			
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄	
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠	
まちづくりコース	高平 保	久保田 圭子	山田 宏明

H P 委員はホームページ作成の原稿収集の広報部支援を行う。

参考：クラブ・同好会（他期との合同を含む）

①パソコンクラブ	⑥ハイキングクラブ
②太極拳クラブ	⑦グラウンドゴルフクラブ
③俳句・ゆめクラブ	⑧陶芸クラブ
④俳句・遊クラブ	⑨墨彩クラブ
⑤卓球クラブ	⑩手話ダンス同好会



●専科一期主催第1回合同ウォーキング＝5/23 銀座八丁神社めぐり＝

玉置さんの支援による1年ぶりの専科合同ハイキングである。4月中旬に各期校友会へ呼びかけたが、当日まで何人参加してくれるか心配していた。当日の東京駅八重洲中央改札口に集合してくれたのは19名（1期18名・2期1名＝女性12名・男性9名）で心配は杞憂に終わった。参加された女性の皆さんは、日本の誇る代表的な街として世界中にその名を轟かせている銀座の神社めぐりをするとあってオシャレしていたので一段と華やいていた。10時15分中央区文化財サポーター協会のボランティアガイド東洋さんと杉本の案内で銀座の神社めぐりへと踏み出した。

銀座の歴史は古く、およそ400年前徳川家康が江戸に新しい政権を立ち上げるとすぐに日比谷入り江の埋め立てをして、そこに商人や職人の町として誕生した。1612年に駿府にあった銀座役所が移転してから1800年まで銀貨の鑄造が行われており、「銀座」という名前は、この銀貨鑄造所が置かれていたことから発生した地名となって今日に至っている。

今日はガイドの東洋さんから●正一位伏見稲荷神社、●青物市場跡の記念碑、●史跡歌舞伎座発祥の地、●龍光不動尊、●朝日稲荷神社、●座出世地蔵尊と三囲神社銀座撰社、●宝童稲荷神社、●銀座四丁目交差点のコイコリン、●服部時計店の説明、●あづま稲荷神社、●豊岩稲荷神社、●金春通りの煉瓦遺構の碑等を案内していただき、現地で詳細な説明を受けた。どの町にもそれぞれに歴史があり、現代でもその歴史の名残を受け継いできていることを窺い知ることができた。私の頭の中も通り一片の学びで明日には忘れ去ってしまうのかも知れないが、ガイドさんの説明を思い出しながら家で調べて今日のまとめをする時間は私にとって至福の時間であったことは紛れない事実である。だからこそ知らないことを少しでも知ることの喜びは何物にも代えがたいのだ。何と言っても銀座で人間ウォチングするのは最高に楽しかった。



●校友会だより第1号

(1)

彩の国いしがい大学伊奈学園専科一期校友会会報

平成26年6月1日発行



校友会だより

平成26年度 第1号
 発行者 萬川忠義
 会員総数 72名

専科一期校友会
 会長 萬川 忠義



こあいさつ

皆さんこんにちは。4月18日開催の定期総会において、平成26年度会長に選出され就任致しました萬川でございます。微力ではございますが、一年間精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

当校友会は、歴代の会長や理事、ホームページ委員・イナヴォイス委員の方々のご努力とクラブ活動責任者等多くの会員のご協力により、組織・活動共に充実した5年目を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

また、昨年は専科校友会の立場と今後のあり方について会員の皆様で真剣に協議し臨時総会を開催した結果、専科1期校友会を長く維持し活動するため、組織のスリム化と併せ伊奈連協を退会いたしました。即ち、独自の活動がよりし易い環境が整備されました。

当校友会は、年間活動計画に基づく全体計画を軸として、各コース活動、クラブ活動、ホームページ活動等が活発に実施されており、地域へのボランティア活動もクラブ単独から複数のクラブ・グループが協力するなど、多様なケースが見られるようになりました。

また会員数減少の中、専科各期校友会との連絡会を通じ、講演会・音楽会等の事業で協力することやホームページを有効に活用することで相互に情報を交換し、活動を充実したものにしたいと考えます。

専科だからできる「気楽に楽しくおおらかに」をモットーに、事業をすすめることと致しますので、皆様の積極的な参加とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶.....	P 1
各部からの方針.....	P 2
各コースの計画.....	P 3
役員分担表.....	P 4
年間行事一覧表.....	P 5
第4回定期総会.....	P 6
クラブ活動一覧表.....	P 7
クラブ活動報告.....	P 8
コース活動報告.....	P 16
みんなのひろば.....	P 18



●第5回交流会=7/10 大宮サンパレス=

7月10日、専科一期校友会交流事業の最初の事業として「暑気払い」を昨年同様に大宮サンパレスホテルで開催しました。49名の方が参加しました。台風8号が近づいていることから風雨が強くなるのではと昨日から心配していましたが、鹿児島に上陸後、台風の勢力も弱まり、今日は蒸し暑い空模様となり、雨も降らず、無事に「暑気払い」を開催できたことを役員一同ホッとしたところです。

卒業して丸4年が経ち、会員も72名と減りましたが、49名の参加されたみなさんが久しぶりの交流に話を弾ませている姿を見るにつけ、専科一期で学んでよかったなあと実感すると共に、来年以降も続けていかねばと思いを強くしました。特に90歳を超えられた関利雄さんが元気な姿で出席されたことで、関さんから生きることのエネルギーをいただきました。関さんは私たちの希望の星なので、これからも元気に参加されることを願って止みません。



★さて、暑気払いを振り返ってみましょう。まず塙企画部長から総合司会の栞原志津子さんの紹介があり、栞原さんの挨拶から暑気払いの幕が開かれました。



開会あいさつを小金澤副会長から「私たちのために台風が避けてくれた」という挨拶は印象的でした。つづいて葛川会長の挨拶があり、参加された皆さんに感謝の意を伝え、校友会活動への協力を呼びかけていました。次に大島総務部長の音頭で「専科一期校友会の発展と会員の健康を祈念して」乾杯し、懇談に入りました。お弁当を食べながら各テーブルで交流の会話が弾んだことは言うまでもありません。また、食後は各自他のテーブルに出向き仲間と交流する風景も多くみられました。

撮影を担当している私としては、みんな元気に仲間とのおしゃべりを楽しんでいる風景は最高でした。★食後のアトラクションは、昨年と趣を変えてカラオケは各班選出の個人で歌ことにしたところ、各班ともすぐに出場者が決まってしまいました。健康コースでは角田さんが南こうせつさんが作曲した北朝鮮による拉致被害者



に対する思いの歌「国境の風」をトップバッターで披露してくれました。次に郷土コースからは梅田さんが大泉逸郎の「孫」を歌い、つづいて、まちづくりコースから葛川会長が踊りたくなるような歌を唄って、私たちに違う一面を見せてくれました。続いてまちづくりの大島総務部長、郷土コースの相場さんと長澤さんのデュエット「酒場」、引き続き、まちづくコースの山田宏さんが歌い、最後に角田さんと塙さんのリードにより、全員で森田公一の「青春時代」を歌ってカラオケタイムを締めくくりました。次は全員に景品が出るビンゴゲームです。ビンゴゲームは



短い時間でしたが全員が共に楽しめました。★残り時間も計画通りに進んだところで、コース別に写真を撮り、最後に岡村副会長が交流会を盛り上げていただいた参加者の皆さんのお礼の挨拶と会員の皆様の健勝を祈念して一本締めで閉会しました。



●専科一期主催第2回合同ウォーキング＝9/29 足尾山系南端・太平山散策と葡萄狩り＝

9月29日専科校友会合同ハイキング部主催のハイキングが開かれました。専科合同ハイキングは1期6名、2期7名の13名が参加しました。当日は快晴の秋晴れで絶好のハイキング日和となりました。低い山(345m)にも関わらず、急な上り坂あり、下り坂ありと変化に富んだコースでした。関東平野で最初に立ち上がっている山地ですから、謙信平からは条件が揃えば富士山から東京スカイツリーまで見通せる眺めの良さです。ルートは客人神社⇒謙信平⇒太平山神社⇒大中寺⇒清水寺そしてぶどう団地の「はごろも園」でお土産の葡萄狩りを楽しみました。帰路のJR大平下駅には発車1分前に到着というタイミングの良さでした。『ハイキングは晴天に限る』が皆さんの声でした。(田中)大平神社で記念撮影



ブドウ狩り
←神社から栃木市内の眺め

●日帰りバス旅行＝10/29 足尾銅山、富弘美術館＝

10月29日、今日は秋晴れに恵まれた絶好のバスハイク日和となる。専科一期校友会恒例行事とはいえ、半年前からの計画でこのような素晴らしい天気にも恵まれたことは幸運と言っても過言ではない。久しぶりに集まった専科1期校友会参加者は39名。なにしろ今回も企画予算が少ないことや、みなさんが年金生活者なの参加しやすい料金で楽しくをモットーに、自分たちでできることは手作りできようという企画部長の考えで「旅の葉」を作ったり、ガイドは企画部員の女性の方をお願いしてシナリオを作っていたり、工夫を重ねた楽しいバスハイクがスタートした。旅は私達を日常生活から解放してくれるとあって、みなさんバスに乗るやリラックスして集合してから解散するまで仲間との会話が弾んでいた。現地に着くまでの車中は斎藤さんがガイドを務め旅にアクセントをつけてくれたり、時間を見てはクイズを出して正解者には賞品あげたり、時には日光周辺の紅葉を見たりしながら、また、足尾銅山が近づけば、前会長の角田さんが植林の話をしてくれたり、車中は退屈する時間もなくて国道122号線沿いにある足尾銅山に着きました。私個人としても若き日に足尾線間藤駅にスーテーションビバークして松木沢に岩登りの訓練に行った思い出もあり、懐かしい町です。まずはHP用の全員で集合写真を撮ってから見学となりました。★足尾銅山跡の坑道に入り、江戸時代から昭和までの銅採掘の歴史を学び、約400年にわたって今日の日本を支えてきた一面や鉱毒事件で苦しんだ農民がいることを忘れてはいけないと実感しました。★富弘美術館では中学校教師だった星野富弘さんはクラブ活動中の事故による脊髄損傷で手足が使えなくなり、人生絶望の淵に落とされ、母の献身的な介護、覚えていた詩人の言葉、キリスト教信仰がベースになって、苦難の末に見つけた生き方は、口を使って身近な草花や自然など小宇宙の世界を詩画で描くことでした。その生き方が大輪を開き、独特な詩画の世界を生み出し、今日では国内外で作品展が開かれるに至っています。★桐生織物観光センター織物の作品に触れて見学は終わった。最後の出し物はビンゴゲームで車内を楽しみ無事に旅は終わった。今回の旅は天候に恵まれ企画のみなさんに感謝！（広報部）



●校友会だより第2号

(1)

彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期校友会会報

平成27年1月1日発行



校友会だより

平成26年度 第2号
発行者 葛川 忠義
会員総数 72名

専科一期校友会

会長 葛川 忠義



新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大型台風による土砂災害や御嶽山の噴火など自然の猛威にあらためて驚き、地球環境の変化を真剣に考えさせられる年でもありました。

そのような中、専科1期の全体行事は、皆様の積極的なご参加により7月の暑気払い、10月のバス旅行が盛大に催され、専科合同のウォーキング大会2回、11月のグラウンドゴルフ大会といずれも天候にも恵まれ多くの参加者のもと楽しく交流を深めることができました。参加者の皆様と開催実行関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

また、本年2月には皆様に関心の高い年金問題をテーマとした「学習会」を開催予定しておりますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

「気軽に楽しくおおらかに」をモットーとする専科1期校友会が、全体行事を柱に、クラス会・クラブ活動などの広がりにより、益々その真価を発揮する年になることを願っております。結びに、今年が皆様にとってさらに良き年となりますようお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
年間行事実施済表	P 2
校友会行事報告	P 3
各コース活動報告	P 9
クラブ活動報告	P 11
編集後記	P 16



彩の国さいたま

●一期主催専科合同学習会＝2/13 県民活動センター＝

★彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期で学んだ私たちは、全員の方が年金生活を送っているのではないのでしょうか。年々減っていく年金でどう暮らしていくか誰しも頭を痛めているところだと思います。そこで校友会の学習会は、小金澤さんのご協力を得て社会保険労務士で埼玉年金委員を務めている高橋利夫さんに年金全般について6ページのテキストを下に講演をしていただきました。内容は基本的な年金の説明でしたので、年金受給者の我々にとっては美味しい話はありませんでしたが、質問の中で皆さんが心配していた「遺族年金」と「離婚時の年金分割」について多少なりともふれていただき、勉強になったのではないのでしょうか。講座の内容はアウトラインの紹介だけでしたが、「遺族年金」と「離婚時の年金分割」については、質問もあり皆さんの関心が今年から改正された相続に絡んでいることが判りました。

★この学習会は専科一期主催ですが、専科2期から5期まで合同として参加を呼び掛けました。参加者は専科一期＝27名（健康8名、郷土6名、まち13名）、専科2期1名、専科3期5名計33名の参加をいただき、熱心な聴講と質疑応答がありました。（広報部）



●郷土コース活動＝27・3/30▲もの知りしょうゆ館～清水公園＝



郷土の会の集いが1年ぶりに開かれる。郷土の会は5年前の卒業時の会員数とあまり変わらないが、専科1期校友会に所属される会員が19名に減少したことから当初の5班編成を再構築し、3班編成にして今年からスタートした。最初の企画を3班の宮島さん達を中心とする方々に今回企画していただいた。久しぶりの集いなので20名の申し込みがあったが、15名の参加となった。今日は花見日和で最高の天気。

★キッコーマンのしょうゆ工場の見学である。私自身、7年前に一度見学している。覚えているのは醤油アイスクリームの美味しかったことだけである。映写室で「しおり」の内容を紹介するビデオを見てから、ガイドが壁に貼られた醤油製造工程の表をみながら、ガラス越しに見える工場内部の機械等について説明してくれるのでわかりやすい。昼食は講堂で幼稚園児と一緒に弁当を食べ、それから御用醤油醸造所門を背に記念写真を撮り、見学して最後は売店で「醤油アイスクリーム」を堪能してから清水公園の桜狩りに向かった。



★清水公園は、私は4回目でそれぞれに思い出がある。橋本さんが朝の集合場所を間違えて清水公園駅で降りてしまったという。駅から公園までは近く大勢の花見客が行き交う。今日はお天気もよく、風もなく、桜も満開に近くいことなしの桜日和である。仁王門の前に2時半に集合することを決めて、それぞれが散って行った。私は真言宗智山派金乗院、フィールドアスレチック、花ファンタジア、聚楽館枝垂れ桜を見てから皆さんが待っている仁王門に戻って着た。かくして楽しい集いは無事に終わった。楽しい一日を企画してくれた幹事さんに感謝あるのみ。(郷土の会)

●まちづくりコース活動=11/21 東京スカイツリー見学会=

まちづくりコースの皆さんと東京スカイツリー見学に行きました。参加者は10名で大宮駅に集合高崎線で上野駅まで行き地下鉄に乗り換えて終点浅草駅で降り、電車で東京スカイツリー駅まで行く予定でしたが、皆が歩こうということになり、東京スカイツリーまで歩きました。四階の入場券売り場までエスカレーターで行き入場券を購入しました。

東京スカイツリーは平成20年着工、平成24年5月完成。全長634mで地上350mの展望デッキは5mを超える大型ガラスを360度に配置しタワーの足もとから約70キロ先まで見渡せる開放的な造りになっています。昨年行った時は強風のため40分間運転中止となりましたが、今回はスムーズに上ることができました。東京ドームの先に富士山が見えるはずでしたが霞んで見えませんでした。さらに100m上がって地上450mの展望回廊はチューブ型でガラス張りの回廊が続き空中散歩している感覚です。展望回廊から下を見ると自動車はまるでマッチ箱のようでした。四階のフロアに12時の集合場所にしていたので皆そこに集まり浅草まで歩きました。浅草で天ぷらの老舗で天井を食べ仲間見世を散策して浅草寺を参拝してそこで解散しました。



平成27年度専科一期校友会活動報告

月日	行事内容 ★事業	会場	備考
4	10	26年度第8回理事会(新・旧引継)	県活302号室
	24	第5回定期総会	県活210号室
	30	27年度第1回理事会	県活203号室
5	12	★一期主催第1回合同ウォーキング	東秩父村和紙の里
	15	第3回専科校友会及びHP合同連絡会	県活204号室
6	1	校友会だより第1号発行	
	18	第2回理事会	県活205号室
7	10	★暑気払い	大宮サンパレス
8	1	「戦後70年平和記念集」発行	
	20	第3回理事会	県活207号室
9	16	★一期主催第2回合同ウォーキング	深谷市 論語の里
10	22	第4回理事会	県活201号室
	29	★バス旅行	ひたち海浜公園外
12	17	第5回理事会	県活305号室
1	1	校友会だより第2号発行	
2	18	第6回理事会(新・旧理事)	県活301号室, 午前
		★一期主催合同学習会「自転車の正しい通行」・「振り込め詐欺について」	県活305号室, 午後
3	17	第7回理事会(新・旧理事)	県活301号室
4	14	27年度会計監査	県活201号室, 午前
		第8回理事会(新・旧引継)	県活301号室, 午後
	28	第6回定期総会	県活210号室



H27. 8. 1 発行



H27. 7. 1 発行



H27. 7. 1 発行

クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数			
1	手話ダンス同好会	11回	延べ72名 参加
2	太極拳クラブ	4回	延べ16名
	はくつるの会ハイキング	2回	延べ10名
3	俳句「ゆめ」クラブ	12回	延べ195名
4	俳句「遊」クラブ	12回	延べ118名
5	卓球クラブ	16回	延べ177名
6	専科合同ハイキング	2回	延べ28名
7	専科合同グラウンドゴルフ	4回	延べ40名
各コース活動報告			
1	健康コース	2回 造幣局と巣鴨の街散策 東大構内散策と上野史跡巡り	8名参加 7名参加
2	郷土コース	1回 首都圏外郭放水路見学と交流会	17名
3	まちづくりコース	1回 雨降る中の公園散策	8名

※クラブ活動ではHPに掲載していない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

※広報として、毎月HP掲載情報をメールリングリストで配布しています。

●第6回定期総会＝H28.4.28＝

1. 開会のことば	司 会 埴 恒雄
2. 会長挨拶	理 事 星澤恵美子
3. 議長選出	会 長 伊藤 盛夫
4. 書紀 議事録署名人の選出	
5. 議事	
①第1号議案 平成27年度活動報告	企画部長 大森 勇
②第2号議案 平成27年度決算報告	会計主管 新井 真弓
③第3号議案 平成27年度監査報告	監 事 蔦川 忠義
④第4号議案 会則の改定(案) ・会則見直しの件 ・「専科一期の会」運営方針(案)	副会長 大森 勇
⑤第5号議案 平成28年度新役員選任(案)	新 会 長
⑥第6号議案 平成28年度活動方針(案)	新 副 会 長
⑦第7号議案 平成28年度予算計画(案)	新 会 計
6. 議長解任	
7. 新会長就任挨拶	
8. 閉会のことば	理 事 星澤恵美子



★会則見直しの件

(会則を改定するに至った経緯)

私達は平成21年4月に彩の国いきが大学伊奈学園専科一期生として入学、翌年3月に116名が卒業し、校友会を結成して6年が経ちました。当時の専科一期の卒業生の半数以上が二年制コースに進学し、二年制コースを卒業した後は、専科一期校友会を脱退する会員も多くなり、加えてご本人やご家庭の事情、会員の高齢化などから、専科一期校友会会員は減少の一途を辿っており、現在の会員数は58名となっています。

この様に校友会を取り巻く環境は厳しくなっています。今までのような会則をベースに置いた運営では役員負担が大きく、役員になりたくなくて退会する会員も増えて、東京オリンピックまで校友会を続けようという目標を達成することは難しい状況です。

28年度校友会会長は郷土コースが担当することから、郷土コースから校友会運営について改革案が提案されましたので、今年度の理事会で検討した結果、抜本的な組織改革を行うことになりました。これまでの校友会会則を廃止し、それに代わるものとして緩やかな申し合わせ事項の「専科一期の会」を提案する次第です。

★「専科一期の会」運営方針

(名称) 本会は「専科一期の会」と称する。

(目的) 本会は、会員相互の交流・親睦を図ることを目的とする。

(会員) 本会は、専科一期卒業生をもって構成する。但し、年会費を納入したものとする。

なお、退会した会員の再加入を妨げない。

(役員及び役員の構成)

- ・本会の役員は各コース役員代表とHP管理人の4名とする。
- ・役員は会長1名、副会長1名、会計1名、広報（HP管理人）の4名とする。
- ・役員は各コースで持ち回りとする。

会長	28 郷土 ➡ 29 まち ➡ 30 健康 ➡ 31 郷土 ➡ 32 まち
副会長	28 まち ➡ 29 健康 ➡ 30 郷土 ➡ 31 まち ➡ 32 健康
会計	28 健康 ➡ 29 郷土 ➡ 30 まち ➡ 31 健康 ➡ 32 郷土
広報	28 ➡ 32 郷土 (HP 管理人岡村)

- ・役員会は必要に応じて開催する。

(活 動) 本会は目的を達成するため次の活動を行う。

- ・企画行事は年3回。各コースの企画行事は現地集合、現地解散、実費徴収を原則とし、各コースが企画・実行する。企画が決まったらHPと一斉メールでPRする。パソコンのない方には電話等で連絡する。

- ・7月行事=副会長コース

- ・10月行事=会計コース

- ・1月行事=会長コース

注：実施時期については、計画の都合により月が前後することがある。

- ・4月総会=新・旧役員担当

総会では前年度の活動報告、会計報告、今年度の活動、会計徴収を行う。総会終了後は、コース毎に集まり歓談の場を設ける。

- ・他期校友会との連携・交流とボランティア活動を行う。

(会 費) 本会の会費は500円とし、定期総会時まで次年度分を納入するものとする。

なお、既納の会費は途中退会の場合にも返却しない。会費は、HP/メーリングリスト運営費及び年1回発行の「専科一期の会たより」、総会の会場費等にあてる。

(施 行) この「専科一期の会」運営方針は平成28年4月28日から施行する。

★平成28年度役員選任

役 職	氏 名	コース別
会 長	安藤 允浩	郷土を知るコース
副会長	玉置 貞明	まちづくりコース
会 計	高田 忠良	健康づくりコース
監 事	伊藤 盛夫 (健康)	新井 真弓 (まち)
広 報 (HP 管理人)	岡村 昭則 (郷土)	
ホームページ委員		
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠
まちづくりコース	高平 保	久保田 圭子 山田 宏明



●専科一期主催第1回合同ウォーキング＝5/12 東秩父村「和紙の里」＝

今回も台風が近づいていることもあり、何人が参加してくれるのか大森企画部長も心配していた。しかし、集合場所の東上線小川町駅に24名の方が参加してくれたので心配は杞憂に終わった。その内訳は一期＝18名、二期＝2名、三期＝3名、六期＝1名である。バスに乗り15分程で「和紙の里」まで来られた。ともかくHPに掲載する集合写真を撮ってから和紙の里に入館した。

★ここで参加者の半数以上が「手すき和紙体験」の申し込みされている。係員の説明を受けてから、まずは担当者の指導を受けながら、紙漉してそこからみなさん、葉書（草花入り）色紙（草花入り）に分かれて草や花の材料を和紙の上に貼り付けて、自由自在にデザインしていく。そこで和紙体験は終わり、そのあとは担当者が処理してくれ後日、皆さんの下に送られてくるという。短い時間であったがよい体験をしたと喜んでいました。

★それから1時集合まで自由時間となった。それぞれが古民家、庭園や文化伝習館等を見学し、会館の2階で開かれている日本画家の個展等を見たりしてから、休憩所で皆さんと昼食を共にした。今まで他のコースの人と一緒に食べてお話したことがなかったので今回はじっくりとお話しできてよかったことは言うまでもない、これまで以上に親しくなれた。食後の運動と思って裏山の展望台に上がった。「和紙の里」全体の俯瞰は圧巻だった。

★最年長の関さんはバスで帰ったが、後の方は1時に集合して小川町駅まで全員がウォーキングすることになった。23名が周辺の風景や草花を見ながら、お話ししながら楽しく歩いた。東秩父村農産物販売所等3ヶ所で休憩を入れた。最後は小川町の銘酒である晴雲の試飲と見学である。皆さん1時間半以上歩いているので草臥れたが「銘酒の試飲」となる目をキラキラさせていた。お土産に買って帰る人もそれなりにいたのでお店の人も喜んでいました。駅まで15分掛けて寂れた街の銀座通りを抜けて小川町駅に無事に着き解散と相成った。お疲れ様でした。（広報部）





校友会だより

平成27年度 第1号
発行者 伊藤盛夫
会員総数 58名

専科一期校友会
会長 伊藤 盛夫



ごあいさつ

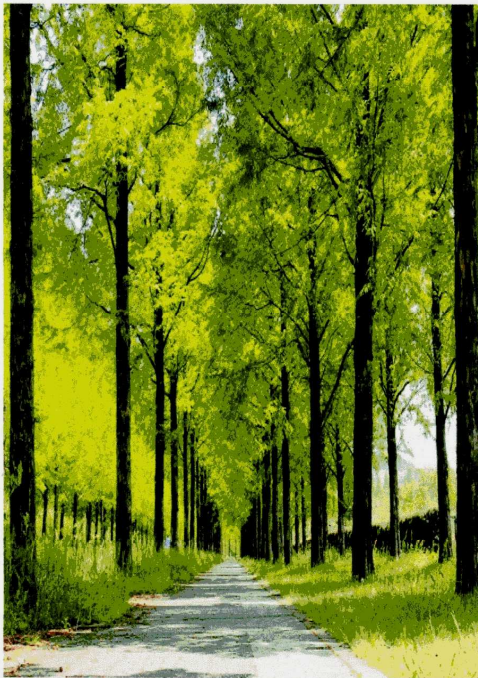
4月24日の定期総会において、27年度の校友会会長に選出され就任致しました伊藤でございます。不慣れでございますが、1年間一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

専科1期校友会は今年で6年目を迎えることになりました。この間、組織のスリム化を語り伊奈連協脱退、専科各期との学習会、ウォーキング、グラウンドゴルフ等の合同行事の推進が成されてきました。歴代会長、理事、ホームページ委員・イナボイス委員、クラブ活動責任者の努力、及び会員のご支援・ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。本年度も年間活動計画を軸に、コース活動、クラブ活動、ホームページ活動と地域へのボランティア活動を実施していきます。

本年度は、いきがい大学の制度改正がなされました。伊奈学園も2年制を廃止し、専科課程は第6期で終了して、専攻課程（一年間）、一年制課程になりました。

専科1期校友会も会員の減少するなかで、更に専科各期と協力して学習会、ウォーキング、グラウンドゴルフ、音楽会等の合同行事やいきがいネットクラブを有効活用して、ホームページで相互に情報交換し、連携・交流を詰っていきます。又、役職の輪番制についても更に検証していきます。

専科だからできる「気楽に楽しくおおらかに」をモットーに、事業を進めることにいたします。皆様の積極的な参加とご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
各部からの方針	P 2
各コースの計画	P 3
役員分担表	P 4
年間行事一覧表	P 5
クラブ活動一覧表	P 6
クラブ活動報告	P 7
コース活動報告	P 18
みんなのひろば	P 19



●第6回交流会=7/10 大宮サンパレス=

専科一期校友会第6回目の交流事業「暑気払い」を昨年同様に大宮サンパレスホテルで開催しました。今年度は企画部が早目に計画を決めて会員にPRしたことから会員59名中38名の方が参加しました。昨日までは何日も梅雨特有の蒸し暑く雨模様の天気が続きましたが、今日は青空も覗く真夏日に近い蒸し暑い空模様となり無事に「暑気払い」を開催できたことを役員一同ホッとしたところです。



卒業して丸5年が経ち、会員も72名から58名と減りましたが、今日は38名の方が参加され、みなさんが久しぶりの交流に話を弾ませていました。その姿を見るにつけ、専科一期で学んでよかったなあと実感すると共に、来年以降も、東京オリンピックまで続けていかねばと思いを強くしました。特に92歳を超えられた関利雄さんが元気な姿で出席されたことで、関さんから生きることのエネルギーをいただきました。

関さんは私たちの希望の星なので、これからも元気に参加されることを願って止みません。

★さて、暑気払いを振り返ってみましょう。まずは総合司会の久保田圭子さんの挨拶から始まり、暑気払いの幕が開かれました。開会あいさつを本来なら高平さん



さんが行うことになっていましたが、体調不良のため出席出来ず、急遽、大森企画部長が行い、つづいて伊藤会長の挨拶があり、参加された皆さんに感謝の意を伝え、校友会活動の事業案内と参加の協力を呼びかけていました。特に戦後70年平和祈念集の原稿募集を7月31日まで行っている



ので大勢の方の投稿を呼び掛けていました。次に岡村広報部長の音頭で「本日出席された方々が健康な姿でお会いできたことを喜びあうとともに、初代の田中会長のいう東京オリンピックまで暑気払いも続けるためにも、専科一期校友会の発展と会員の健康を祈念して」乾杯し、懇談に入りました。年一度の出会いや、クラブ活動での定例的な出会いの方々様々ですが、お弁当を食べながら各テーブルで交流の会話が弾んだことは言うまでもありません。また、食後は各自他のテーブルに出向き仲間と交流する風景も多くみられました。撮影を担当している私としては、みんな元気に仲間とのおしゃべりを楽しんでいる風景は最高でした。専科一期で学んだものとして年一度の懇親会の続けねばと思いを強くしたところです。余興で郷土コースは「戦争を知らない子どもたち」を合唱しました。

した。次に岡村広報部長の音頭で「本日出席された方々が健康な姿でお会いできたことを喜びあうとともに、初代の田中会長のいう東京オリンピックまで暑気払いも続けるためにも、専科一期校友会の発展と会員の健康を祈念して」乾杯し、懇談に入りました。年一度の出会いや、クラブ活動での定例的な出会いの方々様々ですが、お弁当を食べながら各テーブルで交流の会話が弾んだことは言うまでもありません。また、食後は各自他のテーブルに出向き仲間と交流する風景も多くみられました。撮影を担当している私としては、みんな元気に仲間とのおしゃべりを楽しんでいる風景は最高でした。専科一期で学んだものとして年一度の懇親会の続けねばと思いを強くしたところです。余興で郷土コースは「戦争を知らない子どもたち」を合唱しました。



●みんなの広場で戦後70年平和祈念を特集しました！8／1発行



目 次

(投稿順に掲載しています)

1、太平洋戦争体験記＝関 利雄	-----	P 4
2、終戦の年国民小学校に入学しました＝小金澤憲男	-----	P 6
3、平成17年7月28日の日記より＝岡村昭則	-----	P 7
4、平成17年10月21日の日記より＝岡村昭則	-----	P 8
5、戦後70年平和祈念に広島を訪れる＝岡村昭則	-----	P 9
6、“お国のために”＝埴 恒雄	-----	P 17
7、占領の置き土産＝角田 進	-----	P 18
8、羽田で出会った少年兵＝角田 進	-----	P 19
9、「明日への遺言」を見て＝角田 進	-----	P 20
10、太平洋戦争開戦の年に生まれて＝伊藤盛夫	-----	P 23
11、戦後70年の思い出＝瀧澤正高	-----	P 24
12、戦争について思うこと＝大森 勇	-----	P 25
13、何時になったら戦争の無い平和な世界が来るのでしょうか？＝浅見法子	-----	P 26
14、戦後70年の経過について＝伊藤 登	-----	P 27
15、残された出征の一枚の写真＝岡村昭則	-----	P 28
16、郷土コースの戦後70年平和祈念集作成応援合唱	-----	P 30
17、日本は戦争してはいけない＝梅田 博	-----	P 32
18、戦争の傷跡、そして平和を願って…＝新井貞男	-----	P 33
19、終戦の年に日本に帰る＝有村 博	-----	P 34
20、祖父を顧みて平和を願わずにはいられない＝蔦川忠義	-----	P 35
21、人生のプロログ＝岡田時雄	-----	P 37
22、母から戦時中の話を聞きました！＝久保田圭子	-----	P 39
23、戦死の父、熊谷空襲、そして今思う事＝北氏和雄	-----	P 41
24、この夏特に思うこと＝高橋幸子	-----	P 45
25、終戦の日（満4歳4ヶ月）の体験＝森田啓資	-----	P 47
26、戦争とは＝伊藤昭子	-----	P 50
27、星川の提灯＝21期民話の会	-----	P 51
28、我が引上げ記＝野村侃滋	-----	P 53
29、戦後70年平和だった日本に危機感を感じる＝松山ノブ子	-----	P 57
30、戦争のない平和な社会が続くことを願っています＝斎藤志津子	-----	P 58
31、学童の縁故疎開＝田中 忠	-----	P 59
32、我々の出番はなんであろうか＝平林和人	-----	P 60
33、残っていた2枚の写真＝玉置貞明	-----	P 61
34、靖国とアウシュビッツ＝安藤允浩	-----	P 62
あとがき	-----	P 65

●専科一期主催第2回合同ウォーキング＝9/16 深谷市「論語の里」＝

専科一期校友会主催秋の専科合同ハイキングを秋雨の降りそうな空模様の深谷市で実施する。今回の企画も現地集合、現地解散ということで呼びかけている。大森企画部長が下見され、素晴らしい案内パンフレット作成して案内したので、専科合同として6期までは私が呼びかけた。何しろアウトドアの行事は天候に左右されることが大であり、今回も秋雨が降りそうな空模様であるが天気予報を信じることにして、集合されたのは16名。その内訳は一期＝10名、二期＝6名である。伊藤会長、大森企画部長の挨拶を受けてから大森企画部長を先頭に、1975年に廃線なった深谷駅から日本煉瓦工場までの約4Kmの区間に（上敷免鉄道・日本初の民間専用線）の線路跡は遊歩道になっているので日本煉瓦資料館を目指した。福川鉄橋近くに昔使われていた煉瓦作り橋げたと線路が展示されている。ここは自転車道と歩道の2車線になっているので快適な市民の運動コースともいえる。時々、行き交う人と爽やかな挨拶を交わす。ひたすら田園風景を眺めながら日本煉瓦資料館とホフマン輪窯へと足を運ぶも、土日しかオープンされていないので資料館の外観を眺めるにとどめた。そんな昔に思いを馳せ、渋沢栄一の喜寿（77歳）を祝って第一銀行の行員たちの出資により建築され、平成の時代に移築された誠之堂・清風亭へ向かう。

★堤防歩いている時はこの前起こった常総市の鬼怒川堤防破壊の話が多かったことは言うまでもない。堤防下の畑は整列した深谷ねぎの青々と成長していた。今が旬なのだろうか。誠之堂をバックに参加者の記念写真を参加者全員で撮る。そこから程近い「楓」で昼食後、渋沢栄一の従兄で学問の師である尾高惇忠の生家へ向かう。尾高惇忠は、明治維新後は富岡製糸場の初代場長を務めました。この生家は、江戸時代後期に惇忠の曾祖父が建てたといわれ、惇忠や栄一らが高崎城乗っ取り計画を謀議したと伝わる部屋が二階にある。惇忠の妹が渋沢栄一の妻で、官営富岡製糸場の第一号工女として尾高惇忠の娘「勇」を率先して入場させている。次に渋沢栄一記念館を見学。郷土の偉人「渋沢栄一翁」の功績を広く顕彰する目的で平成7年11月、オープン。ここを見学して渋沢栄一生家に向かう。

★この屋敷は、渋沢家の住宅等として使われてきたもので、通称「中の家（なかんち）」と呼ばれている。昭和58年からは「学校法人青淵塾渋沢国際学園」の学校施設として使用され、多くの外国人留学生が学びました。平成12年、同法人の解散に伴い深谷市に帰属し現在に至っている。



●日帰りバス旅行＝10/29 ひたち海浜公園、魚市場＝

参加者：健康7名、郷土9名、まち11名 計27名午前中は曇り空で水戸・大洗ICを過ぎたころ小雨が降りだし、海浜公園に入るところまで降り続いた。間もなく雨もやみ傘なしで公園内を散策できました。時期的の最盛期を過ぎていたためか空いていてゆったり見物できました。それでもコキアが一面に咲き誇っているのには感動しました。

那珂湊おさかな市場では2階の食堂で刺身定食に舌鼓を打ちながら食事ができました。食事後は1階の海産物の買い物をして大分荷物が増えました。

帰路の守谷SAでトイレ休憩とコーヒータイムで30分を取り、車中では談笑に花が咲きカラオケビンゴゲームもする間もなく無事大宮に着き解散となりました。

●行程

シーノビル前（8：10）→三郷JC（8：45）→守谷SA休憩（9：00～9：15）→水戸・大洗IC（10：15）→ひたち海浜公園（10：20）那珂湊おさかな市場（11：40～13：40）昼食休憩・海産物の買い物→水戸・大洗IC（13：50）→守谷SA休憩（14：45～15：15）→シーノビル前（16：00）解散（校友会会長）





校友会だより

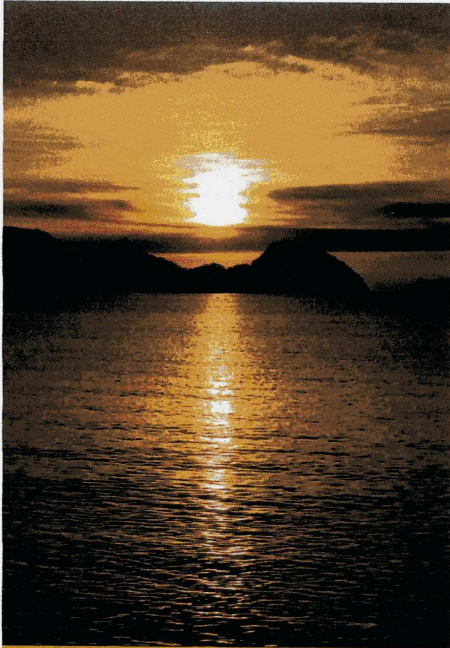
平成 27 年度 第 2 号
 発行者 伊藤 盛夫
 会員総数 59 名

専科一期校友会

会長 伊藤 盛夫



新年ご挨拶



明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の専科行事は合同ウオーキング（小川町和紙の里、深谷市の論語の里）、暑気払い（大宮サンパレス）、バス旅行（ひたち海浜公園、那珂湊お魚市場）、グラウンドゴルフ大会 2 回（県活グラウンド）と皆様の積極的なご協力により盛大に開催することができました。参加者、開催関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

去年は、戦後七十年の節目にあたり総理の談話が内外の注目を集める年でもありました。七十年前は私達も殆どの方が幼少の頃です。専科 1 期校友会では多くの方に「戦後七十年平和記念集」として本人の記憶、親の体験、戦地に行かれた方々、又、映像などをもとに体験談にまとめました。戦争の悲惨さ、恐ろしさ、虚しさを綴った記録で生涯忘れることはありません。

今年は 2 月の学習会で上尾警察署の出前講座「自転車の安全利用、振り込め詐欺」についての学習会を予定しています、身近な問題ですので多数の方の参加をお願いいたします。

専科 1 期校友会が全体行事を軸にクラス会、クラブ活動、ボランティア活動を通して専科校友会のリーダーとして更に真価を発揮するように願っております。

結びに、今年が皆様にとってさらに良き年になりますようにお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
年間行事実施済表	P 2
校友会行事報告	P 3
クラブ活動報告	P 9
各コース活動報告	P 17
編集後記	P 20



●一期主催専科合同学習会＝28. 2/18 県活＝

自転車の正しい通行・振り込め詐欺について

日 時：平成28年2月18日(木)

会 場：県活305セミナー室

参加者 21名(専科1期 19名 専科2期 2名)

講 義 上尾警察署 交通政策課 大谷講師



知ってる？
守ってる？ **自転車利用の交通ルールとマナー**

自転車関連事故は大きな社会問題となっており、自転車利用者のルール遵守とマナー向上に対する国民の関心が高まっています。ここでは、自転車を安全に利用するために皆さんに守っていただきたいルールとマナーをご紹介します。

- ▶ あなたの自転車安全利用度は
- ▶ ここが危ない！自転車の事故
- ▶ 守ろう！自転車安全利用五則
 - ▶ 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - ▶ 車道は左側を通行
 - ▶ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - ▶ 安全ルールを守る
 - ▶ 子どもはヘルメットを着用
- ▶ こんな運転もやめましょう

★振り込め詐欺

振り込め詐欺は、電話やはがきなどの文書などで相手をだまし、金銭の振り込みを要求する犯罪行為。詐欺事件の総称として2004年に警察庁が命名した。面識のない不特定多数の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、対面することなく被害者をだまし、被害者に現金などを交付させたりする特殊詐欺の一種。対策➡電話でお金のこと、預金番号、クレジットカード番号の話が出たら電話をきる。何もしないこと。それでも心配ならば警察、消費者センターや銀行窓口や郵便局窓口で相談する。また、子供の名前をかたったら子供と実際に連絡して確かめる。電話がかかっても何もしないことが被害を食い止める。

●健康コース活動＝6/16 造幣局見学と巣鴨地蔵の街散策＝



＝11/21 東大構内散策と上野史跡巡り＝



●郷土コース活動＝11/14 首都圏外郭放水路見学会と懇親会＝



郷土の会は、一班が担当で首都圏外郭放水路見学会と大宮駅東口「がってん寿司」での交流会を埼玉県民の日に開催することを2ヶ月前から予定していた。例年だと晴れることが多いので期待していたが、お天気は気まぐれで今日は生憎の雨模様である。参加者も両方に参加する人、交流会のみに参加する人に分かれたが、17名の方が参加してくれた。今日は埼玉県民の日で国土交通省首都圏外郭放水路特別見学会とあって事前予約は不要であることや、同時に彩龍の川まつり、カップ市よさこい祭りが開催されるので朝から混雑することを予測して、早く目に見学地に着いたのが正解で順調に見学して、午後の交流会に遅れずに参加できた。

●まちづくりコース活動=11/25 六義園～旧古川邸=

小雨降る中の公園散策もまた風情？

予て計画しておりました、まちづくりコースの公園ウォーキングを11月25日予定通り実施致しました。午前中はくもり、午後から雨の予報のためか参加者は8名でした。前日は天候もよく暖かな1日で夜は月も見えたので、明日は予報が外れればとひそかに期待していましたが予報は見事に当たってしまいました。10時ごろより小雨が降りだしましたが、予定より10分ほど遅れて駒込駅を出発。

まず六義園に向かいました。六義園では小雨が降ったり止んだりの中1時間ほど散策しました。中国の人と思われる団体もあり雨の中を散策していました。池に映る紅葉の揺れは晴天の時とはまた違った風情を感じました。残念ながら六義園の紅葉は遅れている模様でした。尚なお六義園は元禄15年川越藩主柳沢吉保が築園した和歌の趣味を基調とする大名庭園です。そして繊細で温和な日本庭園です。六義園を11時20分ごろ出発。途中駒込は「染井吉野桜」の発祥の地だそうでその由来について高平さんのお話を聞き、次の目的地旧古河庭園に向かいました。15分ほど歩いて到着。庭園内の東屋では女性の皆さんの笑い声を聴きながら昼食。小雨模様のなか参加された皆さんの心遣いを感じるものがありました。有難う。古河庭園は陸奥宗光の邸宅でしたが、宗光の次男が古河財閥の養子になったとき、古河家の所有となりました。また武蔵野台地の低地と斜面を活かし、北側の小高い丘には洋館を立て、斜面には洋風庭園、低地には日本庭園を配したのが特徴です。昼食後古河庭園を30分ほど散策。計画では次の目的地である飛鳥山公園、名主の滝公園の散策、お札と切手の博物館の見学を予定していましたが雨のため中止し、2時ごろ最寄りの駅「上中里駅」で解散としました。その後希望者は細川家所縁の永青文庫で展示中の春画展に向かいました。(大森勇記)



平成28年度専科一期の会活動報告

月日		行事内容	会場	備考
4	28	第6回定期総会	県活210号室	出席者36名
6	1	専科1期の会だより第1号発行		
7	13	まちづくり担当企画事業	上野動物園散策	参加者19名
11	14	健康担当企画事業	御岳溪谷ハイキング	参加者7名、電車事故で2名不参加
1	1	専科1期の会だより第2号発行		
1	18	郷土担当企画事業	本多清六記念館	参加者11名
1	28	郷土担当企画事業	明治神宮の森見学	参加者14名
2	18	理事会	大宮シーノ	参加者4名
3	31	第7回定期総会	大宮シーノ	参加者29名
クラブ活動報告HPに掲載した回数と延参加人数				
1		手話ダンス同好会	11回	延べ59名参加
2		太極拳クラブ	1回	5名参加
		はくつるの会ハイキング	2回	延べ11名参加
3		俳句「ゆめ」クラブ	11回	延べ165名参加
4		俳句「遊」クラブ	10回	延べ105名参加
5		卓球クラブ	18回	182名
6		専科合同ハイキング	1回	2名
7		専科合同グラウンドゴルフ	3回	延べ28名参加
8		合同墨彩画展	2回	延べ10名参加
各コース活動報告				
1	健康コース	1回本土寺紫陽花祭り		10名参加
2	郷土コース	2回久喜鷲宮催馬楽神楽、大宮で懇親会		延べ32名参加
3	まちづくりコース	1回迎賓館見学		7名参加
<p>一期校友会事業参加者延べ91名、クラブ活動参加者延べ342名、各コース事業参加者延べ49名で全参加者延べ人数は482名となります。</p>				

※クラブ活動ではHPに掲載していない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

※広報として、毎月HP掲載情報をメールリングリストで配布しています。

●第7回定期総会＝H29.3.31＝

1、開会の挨拶	副会長 玉置 貞明
2、会長挨拶	会 長 安藤 允浩
3、議長	会 長 安藤 允浩
4、書紀	広報担当岡村 昭則
5、	
①第1号議案 平成28年度活動報告	副会長 玉置 貞明
②第2号議案 平成28年度決算報告	会 計 高田 忠良
③第3号議案 平成28年度監査報告	会計監事伊藤 盛夫
④第4号議案 平成29年度新役員選任（案）	副会長 玉置 貞明
安藤会長の退任あいさつ	
議長交代（久保田新会長）	
⑤第5号議案 平成29年度活動方針（案）	新会長
⑥第6号議案 平成28年度予算計画（案）	新会計
⑦第7号議案「専科一期の会踏み跡集」発刊について	広報担当岡村 昭則
6、議長解任	
7、新会長就任挨拶	
8、閉会のことば	副会長 玉置 貞明





平成29年度役員選任（案）

役 職	氏 名	コース別	
会 長	久保田 圭子	まちづくりコース	
副会長	新井 貞男	健康づくりコース	
会 計	岡田 時雄	郷土を知るコース	
監 事	安藤 允浩（郷土）		
広 報（HP 管理人）	岡村 昭則（郷土）		
ホームページ委員			
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄	
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠	
まちづくりコース	高平 保	久保田 圭子	山田 宏明




●専科1期の会だより第1号


(1) 彩の国いきがい大学伊奈学園専科1期の会会報 平成28年6月1日発行



平成28年度 第1号
発行者 安藤 允浩
会員総数 52名



専科1期の会
会長 安藤 允浩



此の度、会長をお引き受けするにまつ経緯を記すことで、就任の挨拶に代えさせていただきます。正直に言いますと、昨年の今頃、一年後には校友会を辞めようと考えていました。大きな理由は、二つです。

①携わっているボランティア活動の関係で、校友会の行事になかなか参加できません。行事の開催通知を戴く度に、苦勞して企画された理事の皆さんに申し訳なく思いながら、欠席の返事をするのは大変に心苦しいものがありました。

②既に末席理事を汚した経験が有るとは言え、構成人員数から言っても間もなく理事役が回ってきます。例え、平理事であっても、過去の経験から言っても、理事会に単に出席するだけでさき特に時間的な負担が大きく、ボランティア活動を始めとして現在、続けている色々な活動に大きな制約が生じてしまうことは明白です。

そんな中、昨秋、郷土を知るコースの見学行事が行われた後の懇親会の席上、岡村さんから「来年度の校友会長は我がコースから出すという申し合わせになっている。ついては、1班から候補者を出して欲しい」との発言がありました。このことを受けて、全体の懇親会が終了後、私が所属する1班（7名）で対応を協議しました。皆さん全員が役員になった場合の負担の大きさについて懸念を述べられました。そこで、私は次の前提のもとに「校友会改革」について、三つの提案をしました。

前提とは、郷土を知る・まちづくり・健康づくりの三コースそれぞれのコースごとの結束は強いということと、有難いことに岡村さんと言う「稀有な」存在により校友会全体としての広報活動は万全でありネットワーク上の心配はいらないという点です。

「校友会を改革するための三大原則」

A：「校友会」は、各コースを細く横に結ぶだけのユルユルの組織とする。

B：役員は、各コースから1名ずつを選び、計3名とする。

また、今までの理事会のように年に何回も集まってるの定例会議は設定しない。極論すれば1回も開催しなくて済むような会運営とする。


C：「校友会」として、全体行事は実施しない。

ただし、各コースが年に一度だけ持ち回りで行事を企画し、他のコースにも呼びかけて実施することとする。その行事は、事前に出欠を取ったり、会費を集めたりすることはせず、現地集合・解散、自費支払とする。

理事会でこの内容で議論して戴き、この趣旨が生かされた改革が為されたら、1班から会長候補を出そう、もし不可なら全員が退会しようという事で、話はまとまりました。かなり、大胆な提案でしたが、伊藤会長をはじめとする平成27年度の理事の皆さんの熱心かつ前向きな議論により、ほぼ趣旨を生かした成案が示されました。言い出しっぺとしては、お引き受けせざるを得なくなり、今日に至っているという事です。皆さんのご理解を戴き、「何もしない会長」、「同 副会長」、「同 会計」が一年間無事に務め終えられましたなら、少なくとも役員を引き受けるのが負担で「校友会」を捨てる方は居なくなると思います。

また、同じ理由で、既に退会された方の中にも復帰して下さる方が居られるのではないかと期待しています。

以上、通常の就任挨拶なら「頑張って一生懸命にやります、どうぞ、ご協力をお願いします」と宣言するところですが、「ユルユル、ラクラク」でやっていきますという型破りなご挨拶になりましたことをお許しください。



彩の国いきがい大学

●まちづくりコース担当企画事業

28年度まちづくりコース担当企画行事

(H28. 7. 13 上野動物園見学)

参加者：健康2名、郷土6名、まち11名 計19名

これまでの校友会を大改革して今年度から専科一期の会としてスタートし、今年度から3コースが持ち回りで年一度事業を企画し、全会員に呼びかけることになった。今回はその第一回目の企画事業である。それ故に是が非でも成功させたいと役員一同願っていたことは言うまでもない。今日の天気は朝から雨が降るような予報だったので参加者は少ないのと思っていたものの、上野動物園入口前に専科一期の会会員が大勢参加されたのには驚いた。まずは企画者の玉置副会長から挨拶があり、大勢の方が参加してくれたことに感謝の意を述べられ、引き続き安藤会長からご挨拶をいただき団体で入園と相成った。

★上野動物園に最近来られた小金澤さんの案内で、まずは上野公園人気NO. 1のジャイアントパンダを見に行く。さすがに人気者とあって外国人も大勢見に来ている。次に象のすむ森を訪れて3頭の象がいたが、なかなか我々の方を向いてくれずシャッターチャンスは来なかったに近い。やはり目の前で見える象は大きい。図を見るとなんと一頭の象の体重は4100キロを超えているではないか。次にさる山を訪れる。ここは人間社会の縮図を見るようなところがある。力関係で序列が決まったり、上下関係で身づくろいをしたり、孤独なサルがいたり、それぞれの行動を見ているだけでも飽きない。サルたちの糞を掃除している飼育員を見かけたが、サルはこの人たちに守られながら、我々に見る楽しさを提供していることを痛感せずにはいられなかった。サルが人間に近い動物であるが故に印象が強い。

熊たちの丘では北極圏に棲む白熊が二頭いたが、その大きさには驚くばかり。この熊の大きさは北海道に棲むヒグマに近い。その隣にヒグマもいたがやはり大きくて、人間が面と向かいあったらどうすることもできない。吉村昭の「熊嵐」が蘇ってくる。その隣に本島に棲んでいるツキノワ熊がいたが、白クマやヒグマよりも一回り小さいものの、このクマが今年東北地方で四名も噛み殺しているのだから、小さいとはいえ馬鹿に出来ない。

次に訪れたのはトラである。ネコ科とはいえ、人間になついている一般の猫と比較しても話にならないほど大きい。顔を見ていると猫の顔に似ており、優しい目をしているが肉食動物なので、目の鋭さもあり、キバも足の爪も大きく、獲物を狙うスピードも速い。テレビで見ているよりも目の前で見ると迫力がある。

ゴリラは人に慣れているのか、いろいろと写真のポーズを取ってくれる。こどもは可愛いが、大人のゴリラ顔を見ると大きいので不気味だ。東園の大方の動物を見たので、モノレールに乗って西園にゆく。ここではペンギン、フラミンゴ、サイ、キリン等を見るが、昼時なので西園食堂に入って参加者のほとんどがテーブルを囲み懇親を行う。昼食後、流れ解散となったが、このような企画なら会員も自由に参加できるし、気兼ねがいらぬので長続き出来うそうだった。企画してくれた玉置さんに感謝あるのみ。(岡村)



28年度健康コース担当企画行事

(H28. 11. 2 御岳溪谷ハイキング)

参加者：健康4名、郷土3名計7名 高崎線信号事故で2名参加できず

天気は快晴で、風もなくハイキングには絶好の日和です。

当日、8時40分大宮駅中央改札(南)集合予定が高崎線の送電故障のため2名は不参加となり7名により、武蔵野号八王子行きに乗車、立川駅で青梅線に乗り変えて、軍畑駅には予定時間の50分遅れの到着となりました。

軍畑駅をおりて舗装道路を450メートルほど進むと、溪谷遊歩道入り口です、入り口を下ると多摩川の清流沿いに出ます、遊歩道は多少アップダウンがあり、紅葉も一部に見られましたが、見頃は下旬頃でしょうか。歩行者専用の楓橋で対岸に渡ったところに建つのが寒山寺です。中国の蘇州にある寒山寺にちなんでおり、ちいさいながらも趣のあるお堂が建てられています。ここで参拝して、楓橋を引き返して上流に向かいます。道はなだらかになり、川には小石が分水流になっているところが見え、岸边には岩が並び台地となり、バーベキュー等ができます。鶉の瀬橋を経て600mほどで、広く開けた御園園地に到着です。持参してきたおにぎりや昼食をとりながら団欒、御岳園地の対岸、御岳小橋を渡ったところにあるのが玉堂美術館です。玉堂美術館を通り過ぎて御岳橋を渡って御岳駅に到着。電車の時間には45分ほどあるため、駅前の土産店でコーヒーと、当店自慢の柚羊羹を食べて、又、店頭格安なジャガイモ、ショウガをお土産に購入、ここで現地解散し、14時19分発の電車で帰路につきました。

(文・写真 伊藤)



●専科1期の会だより第2号

(1)

彩の国いしがい大学伊奈学園専科一期の会会報

平成29年1月1日発行



平成28年度 第2号
 発行者 安藤 允浩
 会員総数 52名

専科一期の会
 会長 安藤 允浩



新年ご挨拶

新年 明けましておめでとうございます



=CONTENTS=

会長挨拶	P 1
年間行事実施済表	P 2
校友会行事報告	P 3
各コース活動報告	P 5
クラブ活動報告	P 7
みんなの投稿	P 15
編集後記	P 20



会員の皆様におかれましては、新年をどのようにお迎えでしょうか。昨年は、政治の世界、文化の世界、自然現象の世界等々たくさんの分野において、予期しない、言い換えれば、予期できないような出来事が頻発しました。皆様は、このような今までの所謂「常識」が通じないような世の流れに対して、アンテナを大きく広げて戴き、飛び交う情報を冷静にキャッチしてください。そして、乱れ飛ぶたくさんの情報を取捨選択の上、正しい対処法を若者に示して戴きたくお願い申し上げます。

さて、前年度の役員の皆様のご努力によって、大きく構造改革された新制「専科一期の会」も、充足して間もなく一年が経ちます。「ユルユルとした」組織運営、また特定の役員に負担がかからず、皆で支え合うという理念は、その後、他の校友会組織から大きな注目を浴びていると聞きます。コースごとの主催による全体行事も、まちづくりコース主催の上野動物園見学が7月に、健康づくりコース主催の奥多摩溪谷散策が11月に、それぞれ実施され所属のコースを超えて楽しく交流することが出来ました。残るは、郷土を知るコース主催の行事のみとなりました。これにつきましては、既報の通り埼玉の偉人本多静六の業績に触れる勉強会が1月に実施されます。奮ってご参加ください。全体行事を行うに当たって、事前に参加の可否を取らない、費用は各自が実費負担するなどと言った実施方法について、行事担当者の負担軽減と言う観点から他の校友会組織からこれについても大きな関心が寄せられています。

新しい試みの成果については、總會（開催の詳細は別途、お知らせします）の席上で忌憚のないご意見を伺い、更に改善していければ良いと考えます。總會へのご出席を改めてお願い申し上げます。更に、ご都合で退会された皆様に復会を呼びかけていただき会員数が復活することを期待しております。合言葉は、「ワンコインで、オリンピックまで楽しく団結」です。

終わりに、本年も会員の皆様にとって爽りのある素晴らしい一年間でありませうように祈念をして、新年のご挨拶とさせていただきます。



●郷土コース担当企画事業1

専科一期の会第三回企画事業報告

(1 / 18 本多静六記念館を訪れて)

埼玉県の人“本多静六”素晴らしさを知り、魅力を発見する集いの予備学習として久喜市・菖蒲総合支所五階の「本多静六記念館」を訪ねました。参加されたのは健康コースの角田さんと郷土の会10名です。今日は5階の本多静六記念館を野村さんに案内していただき、ビデオによる本多静六博士の紹介を見てから、館内の展示物や掲示物を見学しました。ここで初めて奉仕の精神を心に据えて職業人として生き抜いた、本多静六博士の人柄に触れ、私は感動しました。

★「幼少時に父親を亡くし、その後の苦勞した経験とドイツ留学でのルヨ・ブレンターノ教授の教えから、勤儉貯蓄を処世訓とし、奈良県・吉野の土倉庄三郎翁の書生をしながら直接林業を学び、後に日本で最初の林学博士となっています。質素な生活を心がけ、大学教授として研究に閉じこもるのではなく、全国を飛び歩いて80の公園造りを指導する「日本の公園の父」といわれる職業人として活躍する傍ら、勤儉貯蓄の投資家として巨万の富を築きましたが、退官を機に匿名でほぼすべてを教育、公共の関係機関に寄付したことで知られています。勤儉貯蓄は、収入の1/4は必ず貯蓄をし、貯金と株式投資によって40代で分散投資を実施し数百億円という資産を築いたと言われていいます。★本多静六博士を知る投資家曰く、「職業人と投資家で、ともに優れた業績を残した本多氏は、投資で築いた数百億円と



いう資産のほぼすべてを、退官と同時に寄付した。本多静六は、その生涯を通じて数100冊の本を書いている。そこにはさまざまな名言がちりばめられて居る。『人生は生ある限り、これすべて、向上への過程でなくてはならない。社会奉仕への努力でなくてはならない。もし老人のゆえをもって、安穩怠惰な生活を送ろうとするならば、それは取りも直さず人生の退歩を意味する。』『他人との比較で自分を疲れさせてはいけない。人並み外れた大財産や名誉は、幸福そのものではない。人生最高の幸福は社会生活における愛の奉仕にのみ生じる。わかりやすくいえば他人のために働くことだ』。(岡村)



専科一期の会第四回企画事業報告

(本多静六博士の功績を検証・1/28 明治神宮の森を訪れて14名参加)

★1/18、埼玉県の偉人“本多静六”素晴らしさを知り、魅力を発見する集いの予備学習として、久喜市・菖蒲総合支所五階の「本多静六記念館」を訪ねました。そこで目にしたのは、幼少時に父親を亡くし、その後の苦労した経験とドイツ留学でのルヨ・ブレンターノ教授の教えから、勤儉貯蓄を処世訓とし、奈良県・吉野の土倉庄三郎翁の書生をしながら直接林業を学び、後に日本で最初の林学博士になり、質素な生活を心がけ、大学教授として研究に閉じこもるのではなく、全国を飛び歩いて80の公園造りを指導する「日本の公園の父」といわれる職業人として活躍する傍ら、勤儉貯蓄の投資家として巨万の富を築きましたが、退官を機に匿名でほぼすべてを教育、公共の関係機関に寄付したことで知られる清貧の哲学を持ち、社会のために尽くすことをモットーに生きた博士の姿でした。

★1/28は100年の計をもって設計された、明治の森を見学して本多清六博士の森林学説の正しさを見てまわりました。日比谷公園の設計などで知られる林学博士の本多静六、造園家の本郷高德、日本の造園学の祖とされる上原敬二等のそうそうたるメンバーを集めて「明治神宮造営局」が発足。「永遠の森」を目指した壮大な計画のもと、大正4年から森の造成計画が本格的に始まりました。「神社の森は永遠に続くものでなければならない。それには自然林に近い状態をつくり上げることだ」と、これが基本計画の骨子。主木として選んだのは、カシ、シイ、クスノキなどの常緑広葉樹だった。もともとこの地方に存在していたのが常緑広葉樹であり、各種の広葉樹木の混合林を再現することができれば、人手を加えなくても天然更新する「永遠の森」をつくることができると考えていた。ところが、この構想に当時の内閣総理大臣・大隈重信が異を唱えたので何とか納得させたという。全国から植樹する木を奉納したいと献木が集まり、全部で約10万本の木が奉獻され延べ11万人に及ぶ青年団の勤労奉仕により植林することによって、代々木の杜が誕生した。

●明治神宮の魅力＝森＝何ととっても、緑豊かな森で、初詣は人気NO1です。大鳥居から一步足を踏み入れると、次々と現れる大木に圧倒され、シイ、カシ、クスなど常緑広葉樹の約10万本（234種類）が大空に向けて、くっきりと伸びている。木の幹もどっしりし、10メートルの高さを超す木々も多い。深呼吸するだけで、木々、そして、自然の神々しさを感じ取ることができる。神秘的でさえある。この森こそ日本の林学の父とも言われる本多静六博士が常緑広葉樹を多く植えることで、100年後も生き残る森を提唱し、造りあげた森です。常緑広葉樹なら、自然に落下する種子によって、次の木が育つからです。人為的な手入れではなく、自然の力を生かした森造りとも言える。大木の緑は迫力でいっぱい空気も澄んでいて、森林浴にもなる。健康コースの斉藤さん、まちづくりコースの蔦川さん参加していただき有難うございました。



●健康コース事業

本土寺のアジサイを鑑賞してきました！！

日時：平成28年6月12日（日）8時50分

集合場所：大宮駅改札（かえるポスト前）参加者：10名

行程 大宮駅（京浜東北線）⇒南浦和駅⇒（武蔵野線）新松戸駅⇒（常磐線）北小金駅⇒（徒歩）本土寺

梅雨時の天気予報も降雨の予想でしたが、当日は晴れて強い日差しの中、予定通り電車を乗り継いで北小金駅に到着、徒歩10分ほどで目的地の本土寺に到着しました。日曜日とあって参拝客も多かったが、道幅の狭いところまで車が入ってくるのには驚きです。沿道には土産品も販売して賑わいを増しています。参拝券を購入して境内に入ってからすぐ左側でアジサイと五重塔をバックに記念写真をパチリ。境内の小高い丘には紫、青、白、のアジサイが咲いて今が見頃。順路に沿って進むと低地には花菖蒲が一面に見られ、一部は花が落ちていましたがまだ十分に開花を楽しめました。約1時間の鑑賞時間でしたが、周りには木々も多く、春には桜、秋には紅葉も楽しめるスポットです。昼食は帰路の途中、越谷レイクタウンで下車、暑さの中を歩いたおかげで食前の一杯のビールは格別でした。食事中的話題は家族の事、クラブ活動の苦労話、雑談等でコミュニケーションを取りながら楽しく過ごすことができました。最後にレイクの前で集合写真をパチリ。



●郷土コース事業＝7/31 昼食会・鷲宮神社の「土師一流催馬楽神楽」見学＝



●郷土コース事業＝29. 1/28 明治神宮の森見学・大宮で懇親会＝



●まちづくりコース事業＝29.3/23 迎賓館赤坂離宮の見学会＝

3月23日(木)、まちづくりコースの暇人7名で迎賓館の見学に行きました。

言うまでもなく、迎賓館は世界各国の国王、大統領、首相など国賓・公賓が宿泊し、歓迎行事を始めとして首脳会談、要人との会談、晩餐会の開催など、華々しい外交活動の舞台となったところです。

◇今回の迎賓館見学は申込みが締切ぎりぎりのドタバタ劇でした。というのは日頃グランド・Gの練習で顔を合わせる仲間を参観者として勝手に拾い、記名申し込みを行い、その後に本人の同意を得るという具合だったからです。抽選は当たり難いと常々聞いていたので、幸運の報には驚嘆しました。



◇当日は大宮駅に集まり、

埼京線の始発電車に固まって座り話しながらのんびり出来たのは良かったのだが、乗り換えの新宿駅で中央線下りホームへ降りるポカをしでかす。慌てて階段を上り返し、上り線ホームに落ち着いたところで、みんな顔を見合わせ大笑い。

◇腹ごしらえは四ツ谷駅北側の飲食街の一路で見つけた「魚民」。客室は空いていて、男性軍はとんかつ定食、女性軍は海鮮丼を注文。丼は直ぐ来たが草鞋のようなとんかつには大分待たされた。しかし、値段も1,000円前後で手ごろな上、味は上々だった。

◇館内参観が午後2時からなので、30分前には順番待ちしている入場行列の後ろに着いた。観光バスの団体さんが大勢いた。結局、入場券を買い終わって「さあー」行くぞと時刻

を見たらずいぶん2時を少し回っていた。時間が大幅にかかったのは嚴重な身体検査の所為である。持ち物のチェックは空港の搭乗ゲート並み、ポケットに入れた物はバックやザックの手荷物に入れ替え、開け広げて検査機に通される。私は飲み掛けのコーヒーとお茶のペットボトル2本を持っていたので、一口ずつ飲まされた。危険物所持の嫌疑を掛けられた訳です。

◇寒空の下、待つこと30分、館内トイレ

は不可との事で全員が特設トイレに寄って期待の参観と相成る。



平成29年度専科一期の会活動報告

月日	行事内容	会場	備考	
3	31	第7回定期総会	大宮シーノ和室	出席者 29 名
6	1	専科1期の会だより第1号発行		PDF50名・印刷7名
6	10	健康コース企画事業	北山公園菖蒲苑外	参加者 18 名
10	18	郷土コース企画事業	防衛庁見学	参加者 26 名
1	1	専科1期の会だより第2号発行		PDF50名・印刷7名
1	24	街づくりコース企画事業	川越七福神めぐり	参加者 11 名
3	6	役員会	大宮シーノ	参加者 4 名
4	10	第8回定期総会	大宮シーノ	出席者 32 名
毎月1日		HP掲載情報発行		PDF50名
クラブ活動報告=練習・ボランティア・月例会・大会・発表会の回数と延参加人数=				
1	手話ダンス同好会	練習 22 回外、ボラティア 11 回	参加者延べ 198 名	
2	太極拳クラブ	練習 22 回	参加者延べ 164 名	
	はくつるの会ハイキング	1 回	参加者 6 名	
3	俳句「ゆめ」クラブ	10 回 2/27	参加者延べ 161 名	
4	俳句「遊」クラブ	11 回	参加者延べ 97 名	
5	卓球クラブ	練習 17 回、年末打上 1 回	参加者延べ 175 名	
6	専科合同グラウンドゴルフ	大会 7 回 (専科一期生のみ)	参加者延べ 102 名	
7	合同墨彩画展	1 回	参加者 5 名	
各コース活動報告				
1	健康コース	9/4 懇親会(暑気払い)さいたま新都心	参加者 14 名	
		12/4 紅葉の平林寺散策	参加者 11 名	
2	郷土コース	9/5 神道無念流戸賀崎氏練武場遺跡と 恵文館道場訪問・懇親会	参加者 14 名	
		11/11 「徳川12代将軍家慶社参りと 中里村・医師高橋正案」	参加者 3 名	
		3/11 鷲宮・青毛堀川河津桜花見会	参加者 7 名	
3	まちづくりコース	9/15 造幣局見学	参加者 15 名	
		10/30 迎賓館見学	参加者 8 名	
		11/19 「こしがや平和フォーラム2017」	参加者 2 名	
一期校友会事業参加者延べ91名、クラブ活動参加者延べ908名、 各コース事業参加者延べ74名で全参加者延べ人数は1073名となります。				

※クラブ活動では広報担当で把握できていない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

●第8回定期総会＝H30. 4. 10＝

1、開会の挨拶	副会長 新井 貞男
2、会長挨拶	会 長 久保田圭子
3、議長	会 長 久保田圭子
4、書紀	広報担当岡村 昭則
5、	
①第1号議案 平成29年度活動報告	副会長 新井 貞男
②第2号議案 平成29年度決算報告	会 計 岡田 時雄
③第3号議案 平成29年度監査報告	会計監事安藤 允浩
④第4号議案 平成30年度新役員選任（案） 久保田会長の退任あいさつ 議長交代（新会長）	副会長 新井 貞男
⑤第5号議案 平成30年度活動方針（案）	新会長
⑥第6号議案 平成年度予算計画（案）	新会計
6、議長解任	
7、新会長就任挨拶	
8、閉会のことば	副会長 新井 貞男



平成 30 年度役員選任（案）

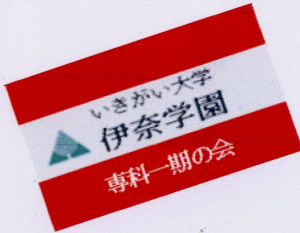
役 職	氏 名	コース別
会 長	埴 恒雄	健康コース
副会長	新井 貞男	郷土コース
会 計	岡田 時雄	まちづくりコース
監 事	久保田圭子（まちづくり）	
広 報（HP 管理人）	岡村 昭則（郷土）	
ホームページ委員		
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠
まちづくりコース	久保田圭子	山田 宏明



(1)

彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期の会会報

平成29年6月1日発行



校友会だより

平成29年度 第1号
発行者 久保田圭子
会員総数 56名

専科一期の会会長 久保田圭子

ごあいさつ



平成29年度「専科一期の会」の会長に就任致しましたまちづくりコースの久保田圭子です。どうぞよろしくお願い致します。会長と言っても何もしない会長です。以前のような負担がなくなりとても気楽に会長をお引き受けすることが出来ました。

ご承知の通り、「専科一期の会」は会員の高齢化や諸般の事情を勘案して、とにかく会員に負担がかからないようにということで組織や運営方法を見直し、28年度に再構成されました。各コースを横に結ぶだけの緩やかな組織に変わり、会費もワンコイン500円となりました。なにより役員負担が減りました。各コースから1名だけ代表者を選び、持ち回りで会長、副会長、会計としますが、実態は名前だけをお貸しする形で従来のような定例の理事会もありませんし、校友会のために個人の時間を割くことはほとんどなくなっています。そして各コースが1年間に1回だけ行事を企画します。他のコースにも呼び掛けますが、事前の確認も不要で現地集合現地解散が原則です。費用も実費精算となります。28年度から実施した内容に沿って、29年度も同じ路線で進めて行きたいと思っております。尚、各コース内の活動については、従来通り実施するしないも含め、コースごとに決めて頂くこととなります。

1年間ではありましたが共に学び、その後校友会を通して9年にも亙りこうしてご縁を結び続けていることとなります。このご縁を大切に安藤前会長が提唱された「ワンコインでオリンピックまで負担なく楽しく団結」をスローガンに、この会を継続して行きたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。以前退会された方々にもお声をかけて再加入をお願いしたいと思っております。現に戻ってきてくださった方々もいらっしゃいますので、この流れが今後も続くことを祈っております。

一言付け加えさせていただきます。この会をオリンピックまで続けてゆくという前提は、郷土を知るコースの岡村さんがHPをはじめ広報活動他、実務を一手に引き受けて、オリンピックまでは永久幹事をして下さる仰って頂いたことです。そして3月31日の総会でご了承頂いた7号議案の通り、専科1期入学後の12年間を振り返って思い出を綴る「思い出の踏み跡」集の刊行に関わる実務も引き受けて下さることになりました。岡村さんなくしてはこの校友会は続けて行けませんので、どうかいつまでもお元気で引き続きこの校友会のためにご尽力下さるようお願い致します。簡単ではございますが会長就任のご挨拶とさせていただきます。



平成29年度「専科一期の会」第1回企画行事

(6/10 東村山市・国宝正福寺千体地藏堂～北山公園菖蒲苑～八国山体験の里～八国山緑地～徳蔵寺)

(H29. 6. 10)

健康づくりコースの企画により、標記行事を18名（健康8名、郷土3名、まち7名）の参加を得て、賑やかに開催することが出来ました。

コースは、まず、国宝木造建造物「正福寺千体地藏堂」でボランティアガイドの話を聴いた後、10万本の菖蒲が今を盛りと咲き誇る北山公園菖蒲苑を鑑賞してから、八国山緑地尾根を通り、再び東村山駅に戻るというものでした。

今日は紛れもない梅雨晴れ間…、30度を超す蒸し暑さでしたが、「八国山たいけんの里」での食事時の緑陰の下や八国尾根伝いは折からの心地よい風が頬を撫で、爽やかな一日でもありました。

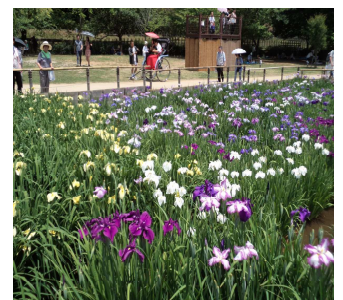
参加した皆さんは、苑一杯に広がる菖蒲の花の艶めかしさ、美しさ、しおらしさ、そして優しさに…心奪われ…、一人の例外なく、すっかりその魅力に圧倒され放し…でした。

途中、約1名がグループを離れ、連絡がつかないというハプニングがございましたが、八国山尾根道を下りた先にある徳蔵寺で再び合流…、結果的に一人の落後者もなく、18名全員、無事に15時頃には大宮方面に辿り着けました。

大宮では、それぞれ下山祝いと称し、反省会の名のもとに一杯飲むグループもあったようです。兎にも角にも、苑一杯に広がる菖蒲の花を…心一杯、精一杯、和気藹々と愛でることが出来た楽しい一日となりました。以上（企画担当 健康コース 新井貞男）



国宝木造建造物「正福寺千体地藏堂」前



平成29年度「専科一期の会」第2回企画行事

(10/18 防衛省市ヶ谷台ツアー)

「専科一期の会」平成29年度2回目企画事業はハイキング日和となり、申込み者26名全員（健康＝4名、郷土＝16名、まちくり＝6名）が防衛省市ヶ谷台ツアーに参加と相成りました。ここは日本の国防を担当する総本部ですが、民主主義の国として国防を国民に理解してもらうためにPRも必要なことから、これまでの歴史的建築物遺産の部分を中心に見学させています。正門に入るのも大変厳しいチェックで、事前に申込込んだ個人の氏名、住所、生年月日等を、見学時に各個人が提示する証明書で確認し、問題がない場合のみに、首からぶら下げる立ち入り名札を配布して、そこから案内ガイドに引率されながら順次見学していきました。

見学のメインは現在の庁舎A棟の建設地にあった、1937（昭和12）年に竣工された旧1号館を歴史的建築物として移築・復元した市ヶ谷記念館です。旧1号館は大本営陸軍部、陸軍省、参謀本部として使用され、終戦で米軍による接收を経て、昭和21年からの極東国際軍事裁判の法廷として使用され、昭和34年返還された後に、陸上自衛隊東部方面総監部などが置かれ、平成12年防衛庁が六本木から市ヶ谷地区へ移転するに当たり、象徴的な部分を残して移設され、記念館となっています。この記念館の大講堂は日本の戦後の国防を憂い、国際的にも作家として有名な三島由紀夫と盾の会メンバーが総監の益田兼利陸将を人質にとって籠城し、自衛官と詰めかけたマスコミ陣に向けてバルコニーで演説を行い、その後自殺した三島事件の現場となったことです。

今回、見学して感じたことは、自衛隊は国を守るだけではなく、国内の災害でもなくはならない存在であることは誰しも疑う余地のないところです。憲法や法律の前に「自分の命は自分で守れ」が基本で国にも同じことが言えます。平和ボケであってはならないのです。眼に見えないところで自衛隊が緊張感を持って防衛任務にあたっていることを国民は忘れてはならないのです。



●専科1期の会だより第2号

(1)

彩の国いきがい大学伊奈学園専科1期の会会報

平成30年1月1日発行



一期の会だより

平成29年度 第2号
発行者 久保田圭子
会員総数 57名

専科1期の会
会長 久保田 圭子



新年ご挨拶

新年 明けましておめでとうございます

会員の皆様におかれましては良いお正月をお迎えになられたことと思います。昨年自然災害の多い年でした。年々地球を取り巻く環境がおかしくなっているようで、我々の後の世代のためにも地球温暖化の防止に真剣に取り組まなくてはならないと感じます。そして我々シルバー世代はまず健康に気を配り、ボランティア活動を始め、各人の得意なフィールドで存分に能力を発揮して活躍されることを願っております。

11月19日には、まちづくりコースの関利雄さんが「こしがや平和フォーラム2017」で講演をされました。「あなたに伝えたいこと～90歳を超えた兵士より～」という演題でした。ご自身の戦争体験を元に、戦争の悲惨さ、平和の尊さを、戦争を知らない今を生きる人達に伝えたものです。94歳になってもなお要録として世のために貢献されている関利雄さんの姿は、私達の誇りでもあり手本でもあります。

また、昨年11月25日、さいたま市で発刊する「さいたま市生涯現役生活応援ガイド」(仮称)というガイドブックに掲載するボランティア団体の一例として、手話ダンス同好会が掲載される運びとなり、ニチイグループホーム大宮公園「ほほえみ」で取材を受けました。

専科1期の会も新しい組織になってから2年が過ぎようとしています。この間ゆるゆるの組織運営は会員の間にすっかり浸透し、皆が負担なく気楽に行事に参加出来るようになりました。6月10日の健康コース企画の東村山市の北山公園音楽苑散策、10月18日の郷土を知るコース企画の市ヶ谷防衛省施設見学にも、沢山の会員の方々にご参加頂きました。残るまちづくりコースの企画は、1月24日(水)の川越の七福神巡りですので、皆様お誘いあわせの上奮ってご参加下さいませようお願い致します。

今年も皆様にとって健康で幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

会長挨拶	P. 1
年間行事実施済表	P. 2
校友会行事報告	P. 3
各コース活動報告	P. 5
クラブ活動報告	P. 9
みんなの投稿	P.16
編集後記	P.20



平成29年度専科一期の会第3回企画行事報告

(平成30年1月24日・川越七福神巡り)

まちづくりコースの企画により、11名（郷土3名、健康2名、まち6名）の参加を得て川越七福神巡りを行いました。二日前の想定外の大雪で自宅から駅まで行くのが困難な方がいることも予想され、果たして川越七福神近辺の雪も溶けているだろうかとの心配もありました。ぎりぎりまで開催が危ぶまれましたが、電車は動いているので取り敢えず無理なく来られる方が川越駅に集まり、現地の状況を見ながらルートについて検討してから散策しようということになりました。集まった11名で相談した結果、当初予定していたルートを全部徒歩で回るのはとても無理だと判断し、バスで札の辻まで行って回れそうなところだけ回ることにしました。

★最初は見立寺の「布袋尊」でした。お参りした後に菓子屋横丁を通りました。この雪のためか観光客はほとんどおらず、店も閉まっているところが多くていつもの賑わいは感じられませんでした。静かな散策が出来ました。その後蔵造りの町並みに出て「時の鐘」を見学しながら連馨寺の「福祿寿神」を目指しました。連馨寺でおびんづる様も撫でてから、成田山の「恵比寿天」に向かい、すぐ隣の喜多院の「大黒天」もお参りしました。これで4人の神様をお参りしましたが、4という数字はあまり良くないので5人目をお参りしようということになり、川越駅近くの「毘沙門天」のある妙善寺まで歩くことにしました。これで5人の神様をお参りしたことになります。それぞれの御朱印も頂いて5福神巡りは無事終了しました。

★雪が溶けていない道も多く、転びそうになりながらも何とか無事に回れたのは、やはりお参りしたご利益があったのではないかと思います。9時半に集合し、解散したのは2時前でした。バスを使いましたが10,000歩近く歩いたことになります。今回は大雪のため参加人数は減りましたが、和気藹々と互いに話をしながら楽しく散策することが出来ました。川越駅で全員で昼食を摂ってから解散しました。(久保田圭子 記)



●健康コース事業

健康づくりコース懇親会(暑気払い)

今年の夏は例年のない天候不順が続きました、特に8月に入ってから連日の雨天続きで夏らしい暑さが感じられませんでした、9月に入って秋の気配を感じられるようになり、本日は肌寒い中での懇親会でした。

日 時：平成29年9月4日(月)12時00～14時00

場 所：日本料理「秋ヶ瀬庵」(ホテルラフレさいたま2階・さいたま新都心駅)

参加者：14名(男性5名、女性9名)

会 費：(男性2,500円・女性2,000円)

12時開始予定が、東北線電車遅延のため3名の方が遅れ、15分遅れになりました。全員が揃ったので会場入りし、テーブルに料理が配膳されて、角田さんの合図により乾杯をし、食事をとりながら各人の近況報告に入り、何年ぶりでお会いできた方もおりますが、皆元気で何よりです。

話は、卒業後の仲間の安否、自身の活動状況、孫の話等が話題の中心です、クラブ活動の手話ダンスは発足から現在までボランティア活動が80数回を数え活動先で大変感謝されておりますが人数減少が頭の痛いところだそうです。活動報告はホームページでご覧になれます。歓談途中、幹事さんの計らいでビンゴゲームを行い、商品は100円ショップで購入したもので“ビンゴ達成”と大きな声をだして商品を受け取り、楽しいひと時を過ごす事ができました。最後は次期役員候補の埴さんの締めで健康コースの団結を誓い無事終了しました。又、松山ノブ子さんが再加入され、人数の少ない中、大いに歓迎しました、今後ともよろしく願います。帰りに喫茶店により14時30分ごろ無事散会しました。

幹事さんご苦労様でした。(写真：新井 文：伊藤)



●郷土コース事業

神道無念流戸賀崎氏練武場遺跡と恵文館道場訪問

9月5日、郷土を知るコースの皆さんは伊奈学園卒業後も郷土の歴史や文化を学ぶ人も多く、特に野村さんや田中さんは、郷土に伝わる文化遺産等を会員に紹介し案内してくれます。今年も昨年に続き、野村さんに地元「久喜市にある神道無念流戸賀崎氏練武場遺跡と恵文館道場」を案内していただきました。今回は特に個人の所有する文化遺産を見せていただくにあたっては、神道無念流戸賀崎家現当主戸賀崎正道さんとの折衝でご苦労があったことをお聞きしています。戸賀崎正道館主からのお話と実技を一通り終えて、振り返ると、館主がお話しされたように、剣道は年齢に関係なく自分を鍛錬することのできる武道だと思いました。人間死ぬまで勉強だという郷土の偉人本多静六博士の言葉が蘇ってきました。最後に戸賀崎正道館主及び奥様にお礼の拍手をもって見学会を終わりました。



●久喜イトヨーカード一隣のビルで懇親会

久しぶりに懇親会を開き旧交を温めました。来年二月に河津桜を見に行くこうではないかと野村さんから提案がありましたので、みなさん喜んでいました。これまでも、今日も野村さんに大変お世話になり、参加者一同心より感謝しています。有難うございました

●まちづくりコース事業

さいたま造幣局見学

9月15日、まちづくりコースは独自のイベントとして埼玉県造幣局見学を行いました。嬉しいことにガイドツアー定員一杯の15名が参加してくれました。造幣局ではガイドを担当してくれた方の軽妙な説明に驚いたり、笑ったりと楽しいツアーとなりました。さいたま造幣局では下記の業務を行っています。

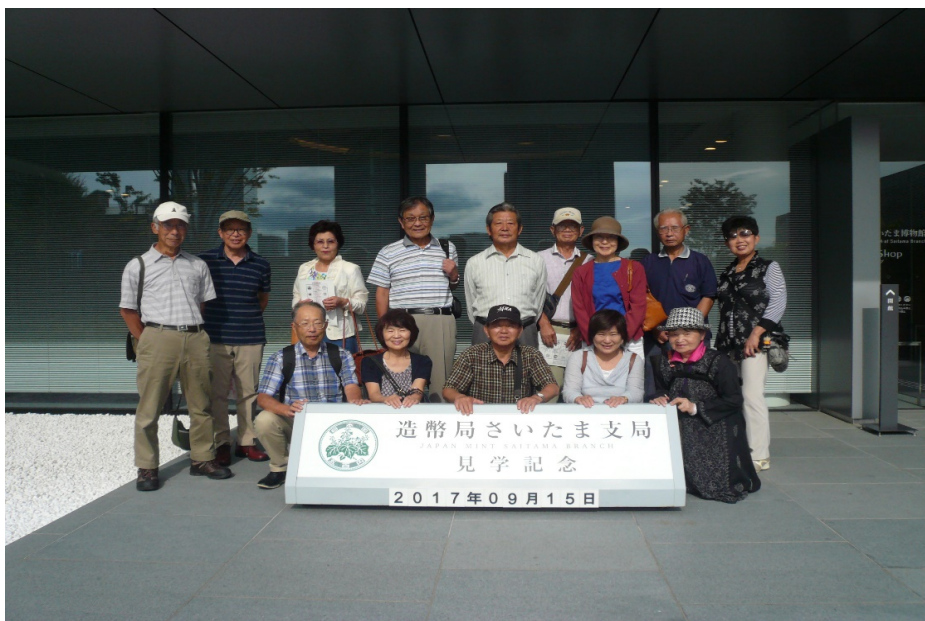
- ① 貨幣の製造（通常貨幣、記念貨幣、プルーフ貨幣、プレミアム貨幣）
- ② 勲章の製造
- ③ 貴金属製品の品位証明等

さいたま支局では、特にプルーフ通貨セットを中心に貨幣の製造を行っているとのことでした。プルーフとは、貨幣の製造仕上げ方法の名称で、特殊な技術を用いて特別に仕上げた円形に、圧印機で貨幣の模様を二度打ちし、華麗な鏡面と鮮明な模様を有する貨幣に仕上げるものです。プルーフ貨幣は、金属工芸品的性格を有し、長く記念品として保有するのに適した貨幣とのことでした。ちなみに実際の貨幣の価値は666円なのに、製造工程からの手間を勘案し、販売価格はほぼ10倍の7500円程度でした。

勲章の製造過程も見学しました。勲章は、国家または公共に対し功労のある方に授与されるもので、美麗・尊厳・品格の諸要素を兼ね備えていることが要求されます。このため熟練した職員が成功な技術と細心の注意を払い、芸術品ともいえる勲章を製造していました。その過程の緻密さと仕上げの美しさに感動しました。貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている人からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したものにマークを打刻してその品位を証明しています。このマークを通称「ホールマーク」と言い、国民の真楽も厚く、貴金属製品の取引の安定に貢献しているとのことでした。ツアーは100分に及びましたが、我々にとって大変ためになるものだったと思います。

最後に参加者が揃って造幣局の前で集合写真を撮りました。卒業してから既に9年目に入りましたが、「専科1期の会」のおかげで気心の知れた仲間と定期的に会う機会がある幸せを改めて噛みしめました。今後も共に元気で楽しく過ごしたいものです。

(久保田圭子 記)



「紅葉の平林寺散策」

12月に入り寒さも増し、紅葉も最盛期を過ぎたと思われる頃に、健康コース11名で平林寺を訪れました。12月4日(月)大宮駅中央改札口カエルポスト前に集合、8時54分発武蔵野号八王子行きに乗車、新座駅に9時13分到着、そこから野火止用水に沿って平林寺山門を目出しました。逆台形型に掘削された野火止用水沿いにはクヌギ、コナラなどが落葉して、敷き詰めた絨毯のような状態です、右側には白菜、ニンジン、ネギ等の野菜畑が点在しており、途中、蛍の生育場があり温度管理された水槽に1cm程の幼虫が見られ、やがて成虫になり夏の夜に舞う蛍の姿を思い出します、武蔵野の面影を残す景色です。しばらく歩くと平林寺総門が見えて、500円の入山志納料を払い境内に入る、境内には晩秋の別れを惜しむ人たちが紅葉を鑑賞しておりました。最盛期を過ぎたといえ、小さな楓は真っ赤な色をして一面に燃え広がっています、境内の通路に沿って歩いてこの景色が途切れることはありません。境内には第5代川越藩主松平伊豆守信綱一族の墓所がまとまって残されている、信綱が平定した島原の乱の犠牲になった士卒や庶民の供養塔。平林寺の反対側の林には睡足軒がある。「電力の鬼」と呼ばれた松永安左エ門も晩年には茶人として我流の茶会を楽しんだ、睡足軒を普段は見せないところを入り口の戸を開けて見せていただいた。約3時間の散策を終えて付近の蕎麦屋でケンチンそばを食べて体を温めた。帰りに新座駅前の喫茶店でコミュニケーションをとり次期役員の確認、近況報告等を話し合い、15時05分の電車に乗りそれぞれの方面に別れて解散した。

【雑木林の再生と保全】

昭和43年平林寺境内林は武蔵野の風情を広くとどめる貴重な文化財として、国の天然記念物に指定された。追加指定も併せて43ha(東京ドーム9個分)になっている。平林寺に残された、掛け替えのない自然と文化の資産である雑木林を再生し、後世へ受け継いでいくため平成26年度より文化庁、埼玉県、新座市との連携のもと、境内雑木林の整備保全事業が進められています。(写真・文 伊藤)



青毛堀川沿いの河津桜を見る

専科一期の会郷土コースの野村さんから、昨年に久喜市の桜狩りについて予告されていたので何時かと楽しみにしていたが、こればかりは気温の変化や花の咲き具合等もあり、最初から予定日を設定するのは難しく、3月6日に、11日の花見会のご案内をいただいたが、8日は春嵐の如く大雨が降り、その後も天気が愚図つき、どうなるかはらはらしていた。当日の今朝は見事に天気も回復して青空となった。集合したのは7名であるが女性の皆さんが多いのには驚いたが、桜狩りなので当然と納得する。何よりも一番嬉しかったことは元気に再会できことである。野村さんの案内で寂れた通りを横切り、青毛堀川に出る。橋の上から見ると東側の川沿いには河津桜が咲き乱れているが、西側には一本の桜もない。その理由は近くの住民が虫もついで自分の所にも被害が及ぶのでないかという理由から反対運動をしたために市役所で切ってしまったとか。



野村さんがここの桜のことを一番知っている御婆を紹介してくれた。こういう人がいてこそ素晴らしい景観が保全されているのだ。その先の橋から兩岸に桜が見られるようになる。野村さん曰く、桜の花が咲いている時は賑わうが、普段は静かな散歩道となっているとか。桜を見ながら南下して、途中の宅地造成地に出くわした時に、キジがいると野村さんが教えてくれたので、街に近いところでキジを見るのは初めてなので驚いたが、それだけまで自然環境が残されていることの証明でもある。やがて青毛堀川ともお別れして青空の下の花見は終わった。そこから市街地のイトーヨーカードまで京都の哲学の道を思わせる裏道を通って行く。最後は喫茶店でお疲れ様の懇親会で締めた。(郷土の会 岡村)



平成30年度専科一期の会活動報告

月日	行事内容	会場	備考	
4	10	第8回定期総会	大宮シーノ和室	出席者 32 名
6	1	専科1期の会だより第1号発行	20頁	PDF50名・印刷7名
6	1	健康コース企画事業	深大寺	参加者 14 名
10	22	まちづくりコース企画事業	柴又帝釈天外	参加者 9 名
1	1	専科1期の会だより第2号発行	16頁	PDF50名・印刷7名
3	2	郷土コース企画事業	結城紬めぐり	参加者 11 名
3	5	役員会	大宮シーノ	参加者 4 名
4	10	第9回定期総会	大宮シーノ	参加者名
毎月1日		HP掲載情報発行	2頁	生原稿 50 名
		伊奈ネットHP連絡会	年2回	参加者 2 名
クラブ活動報告=練習・ボランティア・月例会・大会・発表会の回数と延参加人数=				
1	手話ダンス同好会	練習 13 回外、ボラティア 5 回	参加者延べ 97 名	
2	太極拳クラブ	練習 23 回	参加者延べ 160 名	
	はくつるの会ハイキング			
3	俳句「ゆめ」クラブ	12 回	参加者延べ 138 名	
4	俳句「遊」クラブ	12 回	参加者延べ 101 名	
5	卓球クラブ	練習 11 回、	参加者延べ 114 名	
6	専科合同グラウンドゴルフ	大会・練習・合宿等	参加者延べ 102 名	
7	合同墨彩画展			
各コース活動報告				
1	健康コース	8/3 懇親会(暑気払い)さいたま新都心	参加者 14 名	
		10/12 国宝妻沼聖天山	参加者 9 名	
2	郷土コース	9/11 葛西臨海公園・懇親会	参加者 9 名	
		1/23 鉄道博物館・懇親会	参加者 11 名	
		3/12 鷺宮・青毛堀川河津桜花見会	参加者 12 名	
3	まちづくりコース	11/12 関さん講演と手品	参加者 5 名	
		11/26 蕨宿	参加者 11 名	
一期校友会事業参加者延べ72名(HP連絡会含む)、クラブ活動参加者延べ712名、各コース事業参加者延べ71名、 <u>全参加者延べ人数は855名となります。</u>				

※クラブ活動では広報担当で把握できていない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

●第9回定期総会＝H31. 4. 10＝

- | | |
|--|-----------|
| 1、開会の挨拶 | 副会長 森田 啓資 |
| 2、会長挨拶 | 会 長 埴 恒雄 |
| 3、議長 | 会 長 埴 恒雄 |
| 4、書紀 | 広報担当岡村 昭則 |
| 5、 | |
| ①第1号議案 平成30年度活動報告 | 副会長 森田 啓資 |
| ②第2号議案 平成30年度決算報告 | 会 計 伊藤 登 |
| ③第3号議案 平成30年度監査報告 | 会計監事久保田圭子 |
| ④第4号議案 平成31年度新役員選任（案）
久保田会長の退任あいさつ
議長交代（新会長） | 副会長 森田 啓資 |
| ⑤第5号議案 平成31年度活動方針（案） | 新会長 |
| ⑥第6号議案 平成31年度予算計画（案） | 新会計 |
| 6、議長解任 | |
| 7、新会長就任挨拶 | |
| 8、閉会のことば | 副会長 森田 啓資 |



平成31年度役員選任（案）

役 職	氏 名	コース別
会 長	野村 侃滋	郷土コース
副会長	大森 勇	まちづくりコース
会 計	伊藤 盛夫	健康コース
監 事	塙 恒雄（まちづくり）	
広 報（HP 管理人）	岡村 昭則（郷土）	
ホームページ委員		
健康づくりコース	伊藤 盛夫	塙 恒雄
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠
まちづくりコース	久保田圭子	山田 宏明



●専科1期の会だより第1号

(1) 影の園いきがい大学伊奈学園専科1期の会会報 平成30年6月1日発行



平成30年度 第1号
発行者 嶋 恒雄
会員総数 56名

専科1期の会会長 嶋 恒雄



30年度専科1期の会会長に就任致しました健康コース嶋恒雄です。なんの力もありませんが今年度1年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

■専科1期の会の運営について

ご承知のように専科1期の会は安藤前々会長により斬新な組織改革がなされ役員が大幅に軽減されました。続いて久保田前会長によって運営が定着化され活動がスムーズに行われるようになりました。今年度も同じルー

ルを踏襲致します。

■30年度活動計画

30年度活動計画は総会でご承認いただいた5号議案の内容で進めていきます。行事の1例として企画事業担当は7月：郷土コース、10月：まちコース、1月：健康コースになります。また重要事業として岡村様にご尽力願っている「専科1期の会12年間に渡る踏み躓」は一生の思い出に残る資料になると思います。(2021年3月発行予定)

■一層楽しい会にするための提案

専科1期の会の目的を見ると“会員相互の交流、親睦を図ることを目的とする”となっています。私は“みんなで楽しくなるよう心がけて会を盛り上げよう”と解釈しました。単に参加するのではなく“楽しくなるよう心がけること”が大切だと思います。皆様にはそれぞれの心がけを持って会に参加頂ければ、一層楽しい会になると思います。

下記は心がけの例です。

★例1 “声掛け”の心がけ

専科行事の案内はメールで来ますが、メールを受け取った人の中には行こうか行くまいか決めかねている人がいるかも知れません。そんな時友人から一声掛けられたら行こうと思うかも知れません。参加仲間を1人でも多く増やしたいです。

★例2 “笑顔”の心がけ

手話ダンスでディサービス施設訪問をしています。始めは神妙な雰囲気ですが最後には笑顔がこぼれます。私達はその笑顔を見て笑顔になります。企画事業等で皆が集まった時、誰かが笑顔になると周りが明るくなります。笑顔が心がけると自然に笑顔が広がります。

★例3 “事前調べ”の心がけ

29年度企画事業で北山公園菖蒲苑へ行きました。私は事前に菖蒲、アヤメの見分け方を調べて参加しました。園内に入るとアヤメ苑もありました。私は仲間達に事前に調べた花の違いを説明した所、皆さん大変喜び会話が盛り上がりました。



●健康コース担当企画事業

古刹：深大寺（調布市）を訪ねて（報告）

梅雨入り前でしたが、真夏に近い暑さも湿度がそれ程高くない清々しい晴天の6月1日（金）。平成30年度全体企画行事のトップを切って、東京都では浅草寺に次ぐ古刹と言われている”深大寺の散策”に行きまして。計14名の参加者（健康7名、まち4名、郷土3名）となりました。深大寺周辺は水と緑の豊かな所で、あちこちに水の流れと、湧水を貯えた池には鯉の群れもゆったりと遊んでいました。

◎散策コース

深大寺周辺の主な見所を調布市観光協会所属ボランティアガイドに1時間程度（11時30分～12時30分頃）ご案内頂きました。

<山門、鐘楼、常香楼、無患子の木、本堂、なんじゃもんじゃの木、銅造釈迦如来倚像（国宝）、深沙大王堂 梵鐘など>

◎散策の雑感

仲間と過ごした楽しい逢瀬も間もなく、別れの時が迫って来ている。境内にあった句碑に、『逢ふもまた 別れるもまた 花月夜かな』と刻まれていました。

別れはいつも寂しいものですが、東京オリンピックまでの2年間は一期の会の活動を通じ、お会いする機会を出来るだけ作って、これからもお互い健康に留意しつつ、元気に過ごしていきたいものです。

（文責）健康づくりコース：新井貞男



●健康コース事業

専科1期健康コース暑気払い

(H30.8.3)

8月3日専科1期健康コースのクラス行事“暑気払い”を開催しました。気温35度越えの中、会員16名中14名もの多くの方が参加されました。皆さん互いに合うなり元気を確認し笑顔の握手会になりました。しばらく歓談の後、幹事が“とんちなぞなぞ”を出し正解者巡に景品を渡し同時に近況報告をして頂きました。共通していたのは日々の生活を大切に楽しく過ごそうと言う話しが大半でした。また余興に入り、健康コースのほぼ全員の方が卒業後所属していた手話ダンスクラブの“手話ダンスを踊ろう”を提案した所、皆さん自然に歌を口ずさみ、全員が手話ダンスを舞い始めました。なつかしきで大変な盛り上がりになりました。最後に今後の専科1期の企画行事とクラス行事計画の説明を行い楽しい暑気払いを終了しました。



●郷土コース事業

郷土の会・葛西臨海公園ハイキング

(H30. 9. 11=10 名参加)

埼玉県は海なし県になっていますが、その昔は秩父まで海でした。後退した海は東京都と千葉県の領域となっています。久しぶりに秩父が海だったころを思い浮かべながら海の近くの公園「葛西臨海公園」を訪れる企画を郷土の会が担当しますと、2 か月前に案内を出したものの、現地集合であることや当日の天気など判らないことから、どんな天気でも何人参加してくれるのか、不安が付きまとう企画だった。

8月31日にさいたま市見沼区を襲ったゲリラ豪雨以来、今朝まで天気はすぐれず、異常な炎暑続きの夏は過ぎ去ってしまった。今朝の天気も雨こそ降らなかったものの、空模様は乱れ雲一色で参加を決めていた人も心配していたのではないだろうか。企画担当者としてはどれくらいの方が参加してくれるのか一番の心配だった。いざ10時に葛西臨海公園駅に集まったのは、女性の方が2名、男性はまちづくりの大森さんを含めて8名の10名の方に参加をいただきホッとした。

見学したコースは、野鳥の観察の出来る鳥類園⇒ウォッチングセンター⇒展望レストハウス⇒水族園の順でした。何と言ってもコースのハイライトはここに来たら迫力あるマグロの泳ぎが見られる水槽を見るのが一番です。ここは劇場形式で大きな水槽を目の前に座ってゆっくりとマグロのスピード感あふれる回遊が見られます。



●まちづくりコース担当企画事業

柴又帝釈天～矢切の渡し実施報告

(H30. 10. 22)

今回の担当は「まちコース」でしたが、秋晴れの快晴に恵まれ、計画通り参加者の御協力より楽しい一日を過ごせた事を、担当者から感謝申し上げます。今回の参加者は男性のみで、健康コース1名、郷土コース2名、まちコース6名計9名の少人員でしたが、帝釈天参道の商店街散策、帝釈堂にて「専科1期の皆様の「健康、安全」を祈願して、「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」を見学して、待望の「矢切の渡し」で有名な江戸川を遊船して、昼食は帝釈天参道一の食堂にて・・・「今回の反省」等して頂き、その中で女性の方が一名も参加者なかった事は残念と参加者から・・・それも今回担当の伊藤にあったことを反省しています。次回から多数の女性も参加され、コース担当を安心させて下さい。今回、何事もなく、楽しく無事終了した事をご報告させていただきます。以上

(文責:伊藤 登)



妻沼聖天山の見学

(H30. 11. 2)

熊谷駅10時に集合したクラス仲間8名(+1名現地集合)は熊谷駅前のバスに乗り25分乗車後目指す妻沼聖天前バス停に到着し、見学をスタートしました。

妻沼聖天山は斉藤別当実盛公が当時の庄司として祖先伝来のご本尊聖天さまを1179年にお祀りし創建されたと言われ、現在は国宝に指定されている由緒あるお寺です。

境内に入ると壮大な貴惣門が現れ美しい三層屋根と年代を感じる彫刻に圧倒されました。

更に進むと右手に創建者の実盛公の坐像があり続いて仁王門や石造りの演舞台等を見学堪能しました。そしてその先には目指す御本殿歎喜院聖天堂が見えてきました。

私達は御本殿横に11時に集合し、説明員の“阿うんの会”の方から40分間にわたりお話を頂きました。驚いたのは重みのある御本殿正面の趣とは打って変わって側面、裏面は色鮮やかに輝く絢爛豪華な彫刻に目を奪われました。聖天山彫刻の特徴は七福神や唐子など多くの人物が登場しどれもが穏やかで優しい表情を浮かべており大変癒される彫刻です。庶民のよりどころとして建てられた当時の思いが伝わって来ます。



●まちづくりコース事業

「蕨宿の散策」

11月26日（月）男性4名・女性7名の総勢11名で蕨宿を散策しました。当日風もなくお穏やかな天気で歩くのには最高でした。わらびてくてく観光ボランティアの清藤さんの案内で蕨駅からバスで三学院に行き約40分説明を聞きながら見学しました。大きな敷地の中できれいに掃き清められた境内は京都にいと錯覚をするような寺院でした。さすが智積院の末寺でした。中山道に出る途中の150年前から営んでいるせんべい屋さんでお茶をいただき一息入れて本陣跡へ徳丸邸の跳ね板で堀があったことを確認し、近隣の18社を合祀してできた和楽備神社、今は面影も残っていませんでしたが蕨城趾、その公園の中に成人式の発祥の地記念碑と青年の碑（サミュエル・ウルマンの青春）が建立されていました。12時10分に蕨駅前に着き、そば屋で昼食を取り解散となりました。今回はガイドさんのおかげで蕨宿を学ぶ機会ができ素晴らしい散策でした。（中原愛子 記）



●専科1期の会だより第2号

(1)

影の園いさがい大学伊奈学園専科1期の会会報

平成31年1月1日発行



校友会だより

平成30年度 第2号
発行所 埼玉 飯塚
会員総数 16名

専科1期の会会長 堀 飯塚

二あしはつ



あけましておめでとうございます。
会員の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の秋相を表す漢字に「災」が選ばれました。昨年の自然災害は7月の西日本～北海道豪雨そして4月～9月の鳥取県西部、大阪北部、北海道日知振で甚大な被害が続出しました。防災グッズの整備や最新の災害情報に注視する必要があります。災害救助に行った隊員の話では“一番大切な事は災害時の迅速な対応です。また夜中の震災が大変危険で、枕元に懐中電灯、靴、防寒着の常備が必須です”と強調されました。

校友会活動ですが安藤前々会長の組織の大規模改革、久保田前会長のルール定着化で役員への負担は大幅に低減し活動は大変スムーズに行うことが出来ました。

★企画事業については8月に健康コース主催の深大寺を訪ねて（14名参加）、9月にまちコース主催の斐又帝釈天散策（9名参加）を実施しました。皆さんコースを超えて友好を深めたと思います。今回参加した何人かの会員の方から“女性参加がもっと増えると楽しくなる”との感想が寄せられました。今後企画時に考慮にはしたいと思います。

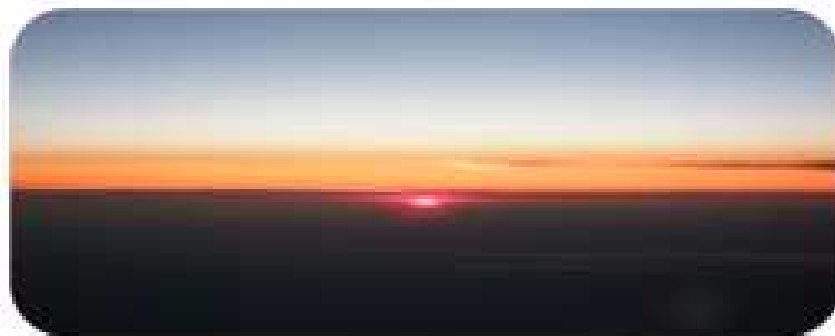
★クラス会では健康コースは暑気払と妻沼聖天山見学、まちコースは蔵宿散策、郷土コースは葛西臨海公園散策を実施しました。

★クラブ活動では「遊」クラブは時行8回、「ゆめ」クラブは時行8回、千鶴グンス同好会は施設ボランティア5回と活発に活動されました。（11月末現在）

★その他、有志の皆さんが伊奈町秋期グラウンドゴルフ大会町長杯や関利雄さん「太平洋戦争体験記」を語る会に参加されています。

今後の活動予定ですが企画事業は郷土コース主催で3月1日に結城納見学を予定しています。多くの皆様の参加を期待致します。またクラス会は郷土コースが鉄道博物館と河津桜花見会を予定しております。

終わりになりますが今年も新年号、元年の年です。新時代を迎え心身を新たに、皆様が健康で穏やかなそして実りのある年になる事を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



●郷土コース事業

「鉄道博物館見学と新年会」

昨年7月14日に新しく南館がオープンしたので、その見学会も兼ねて、平成30年1月23日（水）の鉄道博物館見学には8名（男性7名、女性1名）の方の参加をいただき、案内ガイドを、ここでボランティア活動をされている、元JR職員だった、まちづくりコースの伊藤登さんにお願ひしました。ここに来ると、私達も懐かしい子供時代に戻ってしまうほど心ときめく博物館です。というのは、元鉄道マンだったガイドの伊藤さんが我々の知らないことを沢山説明してくれるので、何もかも新鮮に受け止められ感心することばかりでした。特に蒸気機関車をはじめE5系や山手線などの運転台を再現したシミュレーターがあり、運転台に座ると周りの景色がどんどん流れ運転している実感を味わうことができるシミュレーターは、私達を子供の頃の夢を誘ってくれました。いろいろと実物の新旧の蒸気機関車、電気機関車、新幹線車両、電車等をはじめとする多くの車両を見て来ると、一言で言えば、「鉄道なくしては日本の発展はなかった」と歴史を学ぶ見学会でした。子供たちに夢を与えてくれる鉄道博物館見学は最高でした。見学の後は会場を移して磯丸水産で新年会を開催しました。新たに女性2名、男性1名計3名が加わり、11名で新年会を開催しました。まずは参加された皆さんや郷土の会の会員の健康を祈念し乾杯で始まりました。今回嬉しかったのは体調が回復されて参加された方もいた事です。歓談後、ここで3月の郷土の会企画事業を確認し、31年度の会費徴収と役員を決めて散会しました。



●郷土コース担当企画事業

結城紬の里ハイキング

(H31. 3. 2=11名参加)

30年度一期の会郷土の会企画事業は、健康コースが深大寺6月に、まちづくコースが柴又帝釈天と矢切の渡し10月に、それぞれ実施してきた。郷土の会がしんがりとして3月2日に結城市散策を実施した。案内人は郷土の会の野村さんである。結城紬は1974年にNHK朝の連続テレビ小説で放映された『鳩子の海』で一部結城市が舞台となり、結城紬の知名度も高まった。

★結城市の歴史を紐解けば、鎌倉時代から城下町の基礎を形成しており、茨城県はもとより関東でも有数の古い城下町である。城下町であったことから街道が防衛上の観点から曲がりくねっていることや、殿町は侍町で、結城城大手通り沿いに置かれ、他は町人町でその西側に配置された。その周囲を空堀(御朱印堀)で取囲んでいた。御朱印堀の内側の町人町は商人町である区域と職人町からなり、特に町人町は城下の中核で規模も大きかったという。市内に25という数多くの寺院があり、市内北部の市街地に集中している。神社も数多く、蔵づくりの街並みと相まって歴史深さを感じさせる街である。

★しかしながら、結城も地方都市として衰退していることは目に見えているので、初めて見た私は町おこしの一つとして、年一度、お人形を店先に飾って大勢の方に見て貰えば、人形にとっても喜ばしいことであり、寂れた街に大勢の方が来て何がしのお金を街で使ってもらえば街の活性化に寄与するのではないかと考えている。



青毛堀川沿いの河津桜を見る

(H31. 3. 12)

専科一期の会郷土コースのクラス会として昨年同様に野村さんが案内してくれた。昨年の3月11日に実施した青毛堀川の河津桜花見会と同じコースである。相手が桜なので最初から予定日を設定するのは難しいのだが、昨年4月10日定期総会の日に今日のクラス会を設定して今日の実施にこぎつけた。昨年と同様に、昨日は大雨が降り、どうなるかと思ひしや晴れ男の野村さんの企画なので、3月2日の結城市散策に続いて見事に天気も回復して青空の広がる桜日和となった。鷺宮駅に降りた時に今日は何人参加してくれるのか気がかりだったが、何と12名の方が参加してくれたのには驚いた。特に田中忠さんが奥さんを連れての参加にはびっくりする以外なかった。これであってこそ長年連れ添った老夫婦というものであろうと実感した。また、女性5人が初めて参加してくれたのにも驚いた。案内してくれる野村さんにとっても嬉しい限りだと思う。だからこそ何よりも一番嬉しかったことは元気に再会できることである。

先週の結城市もそうだったが、昔は賑わっていた駅前通りは、どこにも見られる寂れた通りとなっている。野村さんの案内で寂れた通りを横切り、青毛堀川沿いの桜狩りとなった。何時ものことながらHP用の集合写真を一枚撮らなくてはと思い、途中の桜の満ちている土手で撮る。田中忠さんの「口癖」である、カメラ一台でHPが引き立つという教えを実践して普段でもカメラを持ち歩いている。川堤の桜並木の終わる辺りで植物に詳しい友が土筆や野蒜を積んできた。私も土筆を見るのは今年初めてなのでじっくりと見てしまった。やがて青毛堀川ともお別れして青空の下の今年の花見は終わった。



2020年3月27日

専科1期の会 会員の皆様へ

専科第一期の会

会長 野村 侃滋

第10回定期総会の変更について（通知）

会員の皆様、平素は一期の会に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、本会第10回定期総会4月3日（金）をさいたま市大宮シーノ8階和室で開催する予定でしたが、皆様も知ってのとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、さいたま市は、4月19日（日）まで市民利用施設の休止及び市主催イベントの自粛を継続することとなりましたので、第10回定期総会の開催は出来ません。専科一期の会としては、**緊急避難として書面総会に切り替えます**。下記の資料を皆様にメールでお届けしますので第10回定期総会は終了したこととしてご了承ください。また、メールのなき会員7名につきましては資料をコピーして広報担当から郵送いたします。

なお、コロナウイルスが落ち着いた時点で大宮シーノを確保して皆様にお集まりいただき、2020年度の行事計画などを話し合いたいと思っていますので、その節はご協力をお願い致します。

記

送付資料

- 第1号議案 2019年度活動報告
- 第2号議案 2019年度決算報告
- 第3号議案 2019年度監査報告
- 第4号議案 2020年度役員選出（案）
- 第5号議案 2020年度活動計画（案）
- 第6号議案 2020年度予算計画（案）

瀧澤正高会長就任挨拶文

- ★会長瀧澤正高 mtakizawa1949@gmail.com 048-772-3452
- ★副会長健康コース角田進 su-chan@gg.em-net.ne.jp 048-777-7541
- ★会計郷土コース相場恒夫 aiba@jcom.zaq.ne.jp 048-728-2770
- ★会計監事野村侃滋 tada-nomu_83960@tbb.t-com.ne.jp 0480-21-3994
- ★まちづくりコース会長補佐大森勇 iomori@jcom.home.ne.jp 090-8108-0514
- ★広報担当郷土コース岡村昭則 haikubaka59@yahoo.co.jp 080-7898-8282

※2020年度会費として500円は各コースの責任者の方にお渡し下さい。

2019年度専科一期の会活動報告

月日		行事内容	会場	備考
4	10	第9回定期総会	大宮シーノ学習室1	出席者22名
6	1	専科1期の会だより第1号発行	20頁	PDF47名・印刷7名
6	24	まちづくりコース企画事業	豊洲市場	参加者11名
10	18	健康づくりコース企画事業	石坂産業工場見学	参加者12名
1	1	専科1期の会だより第2号発行	16頁	PDF46名・印刷7名
3	3	役員会	県民活動センター	参加者4名
3	7	郷土の会企画事業	大谷石資料館等	コロナウイルス・中止
4	3	第10回定期総会	大宮シーノ	参加者名
毎月1日		HP掲載情報発行	2頁	生原稿46名
		伊奈ネットHP連絡会	年1回	参加者2名
クラブ活動報告=練習・ボランティア・月例会・大会・発表会の回数と延参加人数				
1	手話ダンス同好会		練習15回78名、施設8回38名	参加者延べ116名
2	太極拳クラブ		練習20回 133名	参加者延べ133名
	はくつるの会ハイキング		実績0	
3	俳句「ゆめ」クラブ		10回	参加者延べ148名
4	俳句「遊」クラブ		10回 81名	参加者延べ81名
5	専科合同グラウンドゴルフ		大会・練習等	参加者延べ99名
6	合同墨彩画展		1回	参加者5名
各コース活動報告				
1	健康コース	6/3 はとバス見学		参加者13名
		8/8 暑気払い		参加者13名
2	郷土コース	5/23 明治神宮～新宿御苑		参加者11名
		8/6 自然教育園～港区立歴史博物館		参加者4名
		10/27 うきうきフェステ2019		参加者2名
		1/6 谷中七福神巡り		参加者14名
3	まちづくりコース	3/31 青毛堀川河津桜花見会		コロナウイルス・中止
		11/25 両国界限散策		参加者10名
一期校友会事業参加者延べ51名(HP連絡会含む)、クラブ活動参加者延べ582名、各コース事業参加者延べ67名、 <u>全参加者延べ人数は700名余となります。</u>				

※クラブ活動では広報担当で把握できていない練習日もありますので参加人数はさらに増えると思います。

●第10回定期総会=2020.4.10=(コロナのため書面総会)

1、開会の挨拶	副会長 大森 勇
2、会長挨拶	会 長 野村 侃滋
3、議長	会 長 野村 侃滋
4、書紀	広報担当岡村 昭則
5、	
①第1号議案 2019年度活動報告	副会長 大森 勇
②第2号議案 2019年度決算報告	会 計 伊藤 盛夫
③第3号議案 2019年度監査報告	会計監事 埴 恒雄
④第4号議案 2020年度新役員選任(案)	副会長 大森 勇
野村会長の退任あいさつ	
議長交代(新会長)	
⑤第5号議案 2020年度活動方針(案)	新会長
⑥第6号議案 2020年度予算計画(案)	新会計
6、議長解任	
7、新会長就任挨拶	
8、閉会のことば	副会長 大森 勇



2020年度役員選任（案）

役 職	氏 名	コース別
会 長	瀧澤 正高	まちづくりコース
副会長	角田 進	健康りコース
会 計	相場 恒夫	郷土コース
監 事	野村 侃滋（郷土）	
広 報（HP 管理人）	岡村 昭則（郷土）	
ホームページ委員		
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠
まちづくりコース	久保田圭子	山田 宏明

2020年度専科1期の会会長をまちづくりの瀧澤正高さんに引き受けていただきましたが、入院中のため残念ながら総会を欠席されました。そのために2020年度は、まちづくりの大森勇さんが瀧澤会長を補佐して行くことになりましたので宜しくお願いします。

●専科1期の会だより第1号

(1)

彩の国いきがい大学伊奈学園専科1期の会会報

2019年5月1日発行



2019年度 第1号
発行所 埼玉 伊奈
会員総数 54名

専科1期の会会長 野村 侃哉



専科1期の会の皆さん、我がが卒業してはや10年目を迎えますが、今年も自然はめぐり廻り変わらない芽吹きの春を迎えています。この9年間にはいろいろな変動がありました。自然の再生力は目をみはるものがあり、何ら懸念がなかったように悠然としています。専科1期の会もいろいろな変動がありました。その都度順応力を発揮し変身しながら現在を迎えています。

中でも中興の祖ともいえる平成28年度(2016年度)の役員皆さんの創られた「ワンコインでオリンピックまで」の改革に敬意を表しますとともに感謝しています。

目標を1年後に控えた本年度ですが、来月は令和の元号の代になります。ほとんどの人が後期高齢者に入られておられると思いますが、幸い現会員の人は元気なご様子で何よりです。元気の源泉は「何かを気楽にやること」だと思います。氏家元所長のよく言われた「ボランティア」もその一つ。「墨絵」などの趣味に生きること、在学時の言葉「ピンコロ」の源だと思います。お元気な皆さんには、それぞれの生き方がありそれぞれの活動が続けられると思います。そのような仲間が時々集まり考え方や近況報告をしながら自分を成長させていくことが更なる健康の源になるのでしょうか。このような考えで、それぞれの生きがいの手助けをすることを会の理念とし、専科1期の会のモットーである「ユルユルの組織」を今年度も続けていきたいと考えています。

今年度は「生きがいの幅になる場」としての会をさらに活性化したいと考えています。何らかの因縁で同期となった仲間です。互助精神で今年度の運営をしていきたいと考えています。したがって会が決める活動も従来通りとしますが、自発的な集まりの発案は大歓迎です。是非今年度の役員へ事前連絡していただければ会員の皆さんへ募集をかけます。会員の皆さんは自分の生きがいの幅を広げていく場への積極的参加をお願いします。そうすればオリンピック後も自然発生的に会が続いていくものと思います。

今年度もゆるゆるの活動ですが会員同士のふれあいの場をつくるべく、臨機応変の運営をしていきますので役員一同へのご協力をお願いします。



●郷土コースオープン事業

明治神宮から新宿御苑散策

(令和元年5月23日＝11名参加)

一昨年、郷土の会では埼玉県出身、本多静六博士の偉業の足跡を検証するために明治神宮の森を訪れています。今年五月から新たな元号「令和」になったことから、新たな気持ちで明治神宮を訪れて森を散策し、参拝し、新宿御苑へ足を延ばす企画を野村コース長に企画していただきました。JR原宿駅10時現地集合ですから誰が参加する見当が付きませんでした。健康コースから1名郷土コースから10名の方の参加でした。

★最初に代々木公園の昭憲皇太后葬儀跡と閲兵式の松を訪れる。明治天皇の御后であった昭憲皇太后の葬儀を代々木の地で盛大に葬儀がなされたとのこと、そのちかくにある、これまでの歴史を見つめてきた素晴らしい「閲兵式の松」訪れました。

★原宿駅前の神宮橋が炎天下でも明治神宮に来て、大きい鳥居をくぐれば緑陰の続く杜の涼の世界である。明治神宮は明治天皇と昭憲皇太后をおまつりする神社で、都会の真ん中にいることを忘れさせてくれる、この杜は人工林であることを知る人は少ない。この杜を手掛けたのが埼玉県出身の本多静六博士である。広葉樹林を植えて林自身で再生していくことを目論み、その通りになっている現実に目にすればするほど本多静六博士の眼力には驚くばかり。我々も緑陰のもてなしを受け、胸いっぱい酸素を吸い込んで深呼吸する。

★昼食は運よく国立能楽堂の食堂がオープンしていたので、ここで食べてから資料展示室を見学して、600年以上も継がれた能楽の歴史を垣間見る思いがしました。

★最後に訪れたのは新宿御苑です。明治39年に皇室の庭園として造られたが、戦後、国民公園となり、多くの方に親しまれてきた。広さ58.3ha、周囲3.5kmの庭園にはプラタナス並木が美しい整形式庭園などがあり、数少ないわが国の風景式名庭園である。



●健康コース事業

“東京タワーと国会議事堂”はとバスの旅

健康コースクラス行事として6月3日（月）はとバスによる“東京タワーと国会議事堂”観光に参加しました。参加人数は13名（男5名、女8名）です。2階建バスでの快適なツアーでした。バスガイドさんの説明で懐かしさや新しい発見がありました。またおいしいランチを味わって楽しい一日を過ごしました。

<見学コース>下記①～⑤の施設を見学しました。

東京駅＝銀座＝歌舞伎座＝豊洲＝お台場で①自由の女神像と②ユニコーンガンダム見学＝レインボーブリッジ＝③東京タワー見学＝④汐留ザロイヤルパークホテルでバイキング＝⑤国会議事堂見学＝桜田門＝二重橋前＝東京駅

★お台場、自由の女神像 平成10年にフランスとの友好を祈念して建立されました。ま近で見て感激です。



★国会議事堂 17年の歳月をかけて昭和11年に竣工しました。高さ20m。議事堂の内外装は全国特産の石が使われ輝く大理石等に感銘です。



●まちづくりコース担当企画事業

豊洲市場見学の記

(令和1年6月24日)

まちづくりコースのオープン企画事業は7月29日の予定になっていたが、炎天下での見学も予想され、また一方梅雨の心配もありましたが1か月前倒しし、いづらかでも涼しい時にとの思いから6月に変更、実施することになりました。前夜からの予報通り朝からの雨で午前中は肌寒いくらいの気温で涼しい見学となりました。幸い豊洲市場の見学通路は市場前駅より屋根があり濡れることなく見学することができました

参加者は総勢11名（郷土5名相場さん、浅見さん、有村さん、岡田さん、岡村さん 地創6名伊藤さん、小金澤さん、滝澤さん、蔦川さん、山田（宏）さん、大森）でした

豊洲市場は管理施設棟、青果棟、水産卸売場棟、水産仲卸売場棟と大きく4つの建物に分かれています。私たちは水産卸売棟を除く3棟を見学してきました。水産卸売場棟は早朝にセリが行われ通常の時間帯は何もないのだそうで割愛しました

ただ残念なことに青果棟は見学通路からガラス越しに、水産卸売市場は小窓からのぞいて見るので市場の雰囲気を感じられないことでした。

1時間40分ほど見学し、市場前駅より7駅ほど新橋よりの台場駅に戻り予定していたアクアシティ5F「源ちゃん」で昼食をとることになりました

「源ちゃん」ではお店イチオシのさしみ定食と少々？のアルコールで親睦を図り予定通り2時半ごろ台場駅より、ゆりかもめ新橋駅に向かい新橋駅で解散となりました

帰るころには空も明るくなり雨の影響をほとんど受けずの市場見学となりました。雨の中参加者も少ないのではと心配しておりましたが11名の方にご参加頂き楽しい見学会になりました。有難うございました（報告 大森勇）



●郷土コースオープン事業

郷土の会オープン事業

国立科学博物館附属自然教育園と港区立郷土歴史館

8月6日、「いきがい大学伊奈学園専科一期の会」郷土コースオープン事業で、港区にある国立科学博物館附属自然教育園と港区立郷土歴史館の見学会である。連日の暑さでどれだけ人が参加してくれるか判らないが、目黒駅で9時半から待っていると、岡田さん、塙さん、伊藤さんと4名の方が参加してくれた。この暑さでは参加者も少ないと想定していたので主催者の私としてはこれで十分とホッとした。10時15分まで待つ誰も来なかったので暑い陽射しの中へ歩き出し、写真に見られるように附属自然教育園は大都会「東京」の中心部にあつて豊かな自然が残る、都市砂漠の中のオアシスともいえる緑地です。65



歳以上の人は無料なので全員無料リボンを付け、片手にパンフレットを持ち武蔵野の面影を残している雑木林の中へと踏み出しました。大木に包まれた森に近き散策路を歩くのも



気持ちの良いものです。それらの木々から知らぬ間に「気」をいただいている。自然と触れあふ小道は、私の俳句の世界であり、「★静けさや緑あふれる都会の森」、「★木漏れ日や緑の中の小道ゆく」、「★森林の中の小道や風涼し」と詠む。木陰の路肩にひっそりと咲く山百合の姿が意地らしく思えてしまい、「★山百合や木陰の中にひっそり咲く」と一句捧げてしまう。1時間半程度木陰の中の散策を行い、木陰の中での昼食には格別の美味しさがあった。

都会の中のオアシスともお別れして、炎天下を東に5分ほど歩いて港区立郷土歴史館へ皆さんを案内する。ここは港区の郷土史を見るだけなので目新しいことはないが、皆さんに2つだけ案内したかったのは、**1番目**にこの建物の素晴らしさである。「1938年に完成した旧公衆衛生院のゴシック調の建物は地上6階、地下1階で、東大安田講堂などを手掛けた内田祥三が設計し、米ロックフェラー財団の寄付によって建設された」。**2番目**にビデやで案内している氷河時代を過ぎて温暖化が始まり、日本列島も遙か沖までありましたが、水没して現在の地形になっていることを知ってもらえればと思っている。これは現代の温暖化が進めば、北極と南極の氷が解けて陸地が更に水没する危険があるからです。（郷土の会 岡村）



●健康づくりコース事業

健康づくりコースの暑気払い

日 時 ; 令和元年8月8日(木)

時 間 : 11時30分~14時

場 所 : 「秋が瀬庵」 ラフレさいたま2階 (さいたま新都心駅から徒歩約7分)

出席者 : 13名(男性5名、女性8名) 3名欠席

今年、関東地方の梅雨明けが7月末で例年より1週間から10日ぐらい遅くなり、はじめた毎日が続きました。8月に入り本来の夏の天気になり、連日の暑さに体が対応していきません。当日も猛暑の35度超え、11時10分の集合でしたが、早めに来た方にはすぐに会場に行ってもらいました。女性幹事がティッシュペーパーケースに席次をくじ引きで決め、予定より15分遅れでヘルシーな定食に各自飲み物を注文して、11時45分から新井さんの乾杯音頭で始まり、各人の現況報告態度はいつもと変わっていないことが何よりです。

現況報告は健康維持のためのジョギング、カラオケ、グラウンドゴルフ、地元自治会活動の参加等でこれからも元気に活動できる事をアピールしました。終了後、手話ダンスを鎮目講師の指導によりカセットテープを用いて数曲踊り、大変リラックスできました。

最後に次年度役員と、又、10月18日(金)開催の「石坂産業見学会」の参加者を確認し、14時10分に角田さんの3本締めで無事終了しました。帰りに新都心駅付近喫茶店でコミュニケーションをとり、15時30分に現地解散しました。女性幹事には会計・席次決め等で大変お世話になりました。有り難うございます。(文・写真伊藤)



●健康づくりコース担当企画事業

専科一期の会第二回企画事業報告

(健康コース担当=10/18、リサイクル工場と三富今昔村12名参加)

前日の天気予報では雨天が予想されていたが、幸い当日は雨に降られずに一日を楽しく過ごす事ができました。定刻にバスがふじみ野駅に迎えに来て10時30分からオリエンテーションから始まり工場見学、くぬぎの森、三富今昔語り部館、質疑応答・アンケート提出後、バスでふじみ野駅に送り・ふじみ野駅で解散(15時30分)。

★リサイクル工場見学 創業から50年以上、廃棄物処理ではなく「資源再生」を使命としています。高いリサイクル化率を可能にするため、分別分級の徹底追求を行い、業界に先駆けた先進設備の導入や人材教育を行っています。地域環境に配慮した取り組みをプラント中心に電動式油圧ショベル、全棟LED化、タイヤ洗浄、壁面緑化で防音効果を高めています。●廃コンクリートのリサイクル がれきを粉砕し、再生砕石、再生砂を生産して造成工事や埋め戻し材として再利用。●土砂系混合廃棄物のリサイクル「仕分け場」で荷下ろし後、人の手で粗選別を行います。土砂系廃棄物は高精度の分別分級を行い、埋め戻し材として再生します。良質な紙と軟質プラスチックはRPF(固形燃料)として再生し、金属類は鉄やアルミなど種類ごとに有価物として分別しています。●木材のリサイクル 建築廃材を選別・破砕し、木材の等級別にそれぞれ異なる製品を生産しています。

★再生エネルギーの活用技術 太陽光発電でくぬぎの森プラザの駐車場、非常用照明、ヤマユリ鉄道(ミニSL等)の電源として利用。「くぬぎの森交流プラザ」に、地中熱を利用した環境配慮型の口調システムを導入 風力+太陽光一体型発電 雨天・曇天時には風力による発電、無風時には太陽光パネルによる発電で蓄電し、施設内の常夜灯として利用しています。大型蓄電池国内大手電力会社と大手蓄電池メーカーとの共同プロジェクトとして「大型蓄電池」を設置。夜間電力を充電し、日中に蓄電池の電力を使用することで、契約電力を大幅に削減。

★三富今昔村 ●くぬぎの森 不法投棄絶えない荒廃した雑木林を整備し、四季折々の草花や生物が生きる森へ再生しました。●くぬぎの森交流プラザ “人と人を繋げる交流の

場”として、2016年にオープン。「おいしい体験」の他、楽器の演奏会、写真展、ワークショップや教室などに活用していただいています。●三富今昔語り部館 昔ながらの古民家をそのまま残し、江戸期から昭和期の衣食住や里山での仕事など、人々の暮らしを紹介しています。

★リサイクル工場と聞いたとき、家庭ゴミ、家屋の廃材、コンクリート塊等を思い浮かべるが、今回の見学会でこれらの廃材は最新設備、先進装置を使用して地域環境に配慮した取り組みをし、「資源再生」を見事に計っています。又、地域の環境を守り歴史を今に伝えるため、里山の保全活動は、五感を使って自然を体感し里山の新しい価値を生み出している。(文・写真 伊藤)



●郷土コースオープン事業

浮きウキフェスタ2019 行幸湖

行幸湖は、埼玉県幸手市・久喜市・茨城県猿島郡五霞町の境界にある調整池であると同時に、利根川水系一級河川権現堂川でもある。2007年（平成19年）埼玉県営権現堂公園としての整備が完成。平成21年以来、「水辺の再生」ワクワクイベントとして、★浮島づくり、★カヌー・ドラゴンボート水に親しむ体験、★手作り体験教室、★ちんどんパフォーマン（幸手桜高校演劇部）、★マーチング披露（栗橋東中学校吹奏楽部）、★様々な出店等あり、地域起しを兼ねた秋のイベントとして開かれている。前上田埼玉県知事も力を入れた浮きウキフェスタである。さて、個人的には水辺のある風景が大好きな私は今回の企画を楽しみにしていた。10月27日、埼玉県営権現堂公園に



ついて見れば、お天気に恵まれたイベントが様々企画されており、これは地域起しのお祭りではないのと思ってしまうほどの賑やかさである。実行委員長として忙しい中、専科一期の会会員の田中忠さんにお会いして記念写真を最初に撮らせていただき、それ以降は自由に取材させていただいた。その状況を紹介させていただきます。



浮島は、間伐材と竹を組み合わせたイカダに、木炭とアシの根を入れた袋を積み、水面に浮かしたものだ。アシの成長と共に アシの根による水質改善作用と、茂ったアシによる「島」は、鳥や魚などの休憩場・隠れ場となり、新たな生物多様性空間を出現させる。

●まちづくりコースオープン事業

両国界限散策の記

(11月25日＝10名参加)

令和1年11月25日(月)両国西口10時集合

午前はくもり、午後は雨との予報が出されており心配をしていますが、午前は雲も少し多目ながらも午後になり日がさして散策日和になりました。

一方電車の遅れも出て参加される人数の心配もしましたが、まちコース5名、郷土を知るコース5名計10名の参加をいただき実施することが出来ました。

先ず旧安田庭園(元禄年間に笠間藩主本庄氏下屋敷の庭園として開かれ明治維新後は安田財閥の祖安田善次郎が所有)を散策し、隣接する横網町公園を抜け関東大震災の犠牲者の遺骨を納めた東京都慰霊堂を参拝し、次いで同震災の惨禍と復興を伝える東京都復興記念館を見学する予定でしたがあいにくと休館日。次に急遽変更した北斎記念館も休館、チェックの甘さが参加の皆さんにご迷惑をかけてしまいました。

勝海舟生誕地、芥川龍之介文学碑、吉良邸跡、回向院をめぐり昼食処へ。昼食はやっぱり相撲の街、両国、ちゃんこなべにしました。鶏ちゃんこ、海鮮ちゃんこをそれぞれ好みにより注文、もちろん「生」も加わり楽しい昼食会と懇親の場となりました

2時30分食事終了後両国駅にて解散となりました。皆さんにはいろいろとご協力いただき有り難うございました。(まちづくり文：大森 写真：岡村)





校友会だより

2019年度 第2号
発行者 野村侃滋
会員総数 54名

専科一期の会会長 野村 侃滋

ごあいさつ



あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年の年頭の挨拶に災害の記載がありました。残念ながら昨年同様災害の多さを記憶のためにも今年も記載せざるをえません。大きな被害は洪水が3件、地震が6件と昨年よりまた増加しています。豪雨は数、降雨量とも異常な記録をもたらしました。異常気象が原因で災害が増大していると言わざるをえません。加えて首都直下マグニチュード7レベルの地震が30年以内の発生確率70%という予測のなか、予兆ともいわれる揺れがちょくちょく起こっています。自分を守る「本当の自覚」が求められています。

自然の厳しさが続くであろう今年は、オリンピックを迎えます。「専科1期卒業10年・オリンピックまでは」の強い思いで校友会活動を続けてきました。皆さまの中には競技観覧チケットに応募された方もおられるかと思いますが、どんな形であれ元気にこの祭典を迎えたいものです。

校友活動も年初の計画通り皆様のご協力を得て順調にこなしてきたかなと思っています。ボランティア活動やクラブ活動も継続されています。活動の記録はいきがい大学のホームページに広報担当の岡村さんのおかげで見ることができます。久しぶりにアーカイブを開きましたが、いろいろな事業活動への参加者数の減少に気が付きました。今年の投稿でもボランティア活動報告会への参加者の減少を嘆かれています。体の衰えは仕方ありませんが、活動へ関心を持ち、興味ある活動への参加が精神面、体力面に活性化をもたらします。私事ですが、昨年7月～11月まで以前からの腰椎狭窄症による神経痛が足に出て10mも歩くことができない状態を経験しました。このため皆様の企画された活動に参加できず会長の役目を全く果たしていません。申し訳ない気持ちと自分にはがゆい気持ちが交錯しています。医者に行くことはもちろんですが、体験者の情報や本からの知識によるストレッチ体操などのおかげで、腰痛は少し残っていますがやっと歩けるようになりました。皆様にも健康が第一を基本に自愛と体調維持の努力をされることを希望するとともに、入学当時の情熱を思い出し校友活動へのより多くの参加を期待します。

今年度事業としては、校友会企画3/7「大谷石採掘場跡見学」、郷土の会オープンクラス会3/31「久喜での観桜会」が計画されています。多くの参加者を希望します。校友会活動の一つの目標であった「オリンピックまで」の節目を迎え、「専科1期の12年の歩み」の発行を控え、目標達成後は校友会継続かどうかの決断をすることになります。活発なご意見を承りたく希望します。

最後になりましたが、皆様にはオリンピックの年を健康で充実した年になりますよう祈念し新年の挨拶とします。



●郷土コースオープン事業

江戸時代の一番古い谷中七福神巡り

令和2年1月6日、専科一期の会郷土コースオープン事業の谷中七福神めぐりは、田端駅で10時に待ち合わせしたところ、14名（健康4名、郷土8名、まちづくり2名）の参加をいただきました。企画者として大勢の皆さんに参加していただき「有難う」の一言に尽きます。新しい年のはじめ、七福神を参拝すると7つの災難が除かれ、7つの幸福を授かるといわれ昔から言われています。「谷中七福神めぐり」は江戸一番の古い七福神めぐりでその起源は、江戸中期まで遡るとか。七福神巡りも今が最盛期で今朝も田端の駅は沢山の人達が集まっていました。同じコースを行くわけですから1時間少々のコースも終わってみれば3時間近く掛かりましたが、お天気に恵まれ素晴らしい一日となりました。皆さんの協力に感謝します。最後は伊豆栄で「鰻」の昼食として締めた。

★東覚寺～福祿寿・ご利益は「人望」。赤札仁王尊のすぐ奥が東覚寺。ここはお金があるお寺らしくお寺や庭園が整備されていて清々しい。庭園は小さいながら一度は必見。

★青雲寺～恵比寿・ご利益は「正直」。本堂の前に植えられている二本のしだれ梅が咲いたら本堂を飾り立てるに違いない。

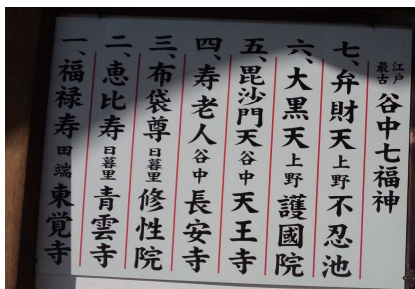
★修性院～布袋尊・ご利益は「大量」。この寺は道脇の塀に七福神のイラストを入れているようにPRが凄いが、トイレが有るのに訪問者に使わせない心無さを実感した。

★長安寺～寿老人・ご利益は「長寿」。本堂に上がって左手に比較的高い位置に寿老人が祀られている。お堂の外には粘板岩で出来た小さな石碑や十六羅漢が祀られている。

★天王寺～毘沙門天・ご利益は「威光」。谷中の墓地の奥にあり、江戸時代、宝くじの発券を幕府から許されていた寺である。天王寺は室町時代の創建と言われ、都内有数の古刹。

★護国院～大黒天・ご利益は「富財」。ここは敷地も広く大木の多く寺院らしい雰囲気を出している。千両にミニ雪囲いをした植木が寺の隅にあり人目を惹いた。

★不忍池弁天堂～弁財天・ご利益は「ご利益は愛敬」。1625年天海僧正が比叡山延暦寺にない、上野台地に東叡山寛永寺を創建。不忍池は琵琶湖に見立てられ、竹生島に習って島（弁天堂）を築き、竹生島宝巖寺の大弁財天を勧請してお祀りしたと言われている。



2020年度役員

役職	氏名		コース別
会長	瀧澤 正高		まちづくりコース
副会長	角田 進		健康コース
会計	相場 恒夫		郷土コース
監事	野村 侃滋		郷土コース
広報 (HP 管理人)	岡村 昭則 (郷土)		
ホームページ委員			
健康づくりコース	伊藤 盛夫	埴 恒雄	
郷土を知るコース	岡村 昭則	田中 忠	
まちづくりコース	久保田 圭子	山田 宏明	

専科一期の会・会長就任挨拶

まちづくりコース 瀧澤正高



会員の皆様には昨今の厳しい情勢の中、如何お過ごしですか。

世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落で株式市場は大幅な値下がりをしています。国内では一斉休校やイベントの自粛要請で経済に深刻な影響を及ぼしています。温暖化による気象状況の悪化も台風の強大化、豪雨災害は毎年発生しています。私たちの住む環境は年々厳しくなっていて、早急に手を打たなければ手遅れになりそうです。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん(17歳)のような若い人が声を上げて環境問題の解決を訴えています。一人一人が環境問題に関心を持つことが必要だと思います。子や孫世代に先送りをしてはいけないと思います。

今年には東京オリンピック開催の年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で無事に開催されるか、心配になって来ました。新型肺炎の早期、終息を祈ります。

彩の国いきが大学がこの春生まれ変わります。「埼玉未来大学」になります。他の校友会が解散するなか、専科1期は荒波にも負けず、継続出来たことは皆様のご協力と広報担当の岡村さんご尽力のおかげと思っています。活動の記録は「専科1期の会ホームページ」を見れば各行事、ボランティア活動、クラブ活動の内容が見られます。他の校友会ホームページより内容が充実しています。

私事ですが、18年前に心臓手術(弁置換)で九死に一生を得て、2年前に介護ストレスで胃潰瘍を起こして1リットル出血して重度貧血で20日間入院し、2度の危機を乗り越えました。今年の1月に腰部脊柱管狭窄症と診断され現在も治療中です。皆様にご迷惑をお掛けしています。母(96歳)は認知症で特別養護老人ホームに入所し、父(96歳)は圧迫骨折と腎機能低下で入院中です。古稀の老老介護で何とか頑張っています。このような状況の私ですが、大森さんはじめまちづくりの皆さんのご支援をいただきながら会長の責務を果たして行きたいと思いますので宜しくお願い致します。

校友会活動の目標であった今年の東京オリンピックまで継続し、「専科1期の会12年間にわたる踏み跡」を発刊する為、最後に会員の皆様に思い出を書いて頂きます。その節は宜しくお願い致します。

最後になりましたが、皆様の健康とご活躍をお祈りいたします。



校友会だより

令和2年度 第1号
発行者 瀧澤 正高
会員総数 53名

専科一期校友会
会長 瀧澤 正高



ごあいさつ

会員の皆様には昨今の厳しい情勢の中、如何お過ごしですか。

★世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落で株式市場は大幅な値下がりをしていませ。国内では一斉休校やイベントの自粛要請で経済に深刻な影響を及ぼしています。温暖化による気象状況の悪化も台風の強大化、豪雨災害は毎年発生しています。私たちの住む環境は年々厳しくなっていて、早急に手を打たなければ手遅れになりそうです。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん(17歳)のような若い人が声を上げて環境問題の解決を訴えています。一人一人が環境問題に関心を持つことが必要と思います。子孫世代に先送りをしてはいけないと思います。

★今年は東京オリンピック開催の年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で無事に開催されるか、心配になって来ました。新型肺炎の早期、終息を祈ります。彩の国いきがい大学がこの春生まれ変わります。「埼玉未来大学」になります。他の校友会が解散するなか、専科1期は荒波にも負けず、継続出来たことは皆様のご協力と広報担当の岡村さんご尽力のおかげと思っています。活動の記録は「専科1期の会ホームページ」を見れば各行事、ボランティア活動、クラブ活動の内容が見られます。他の校友会ホームページより内容が充実しています。

★私事ですが、18年前に心臓手術(弁置換)で九死に一生を得て、2年前に介護ストレスで胃潰瘍を起こして1リットル出血して重度貧血で20日間入院し、2度の危機を乗り越えました。今年の1月に腰部脊柱管狭窄症と診断され現在も治療中です。皆様にご迷惑をお掛けしています。母(96歳)は認知症で特別養護老人ホームに入所し、父(96歳)は圧迫骨折と腎機能低下で入院中です。古稀の老老介護で何とか頑張っています。このような状況の私ですが、大森さんはじめまちづくりの皆様のご支援をいただきながら会長の責務を果たして行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

★校友会活動の目標であった今年の東京オリンピックまで継続し、「専科1期の会12年間にわたる踏み跡」を発刊する為、最後に会員の皆様に思い出を書いて頂きます。その節は宜しくお願い致します。最後になりましたが、皆様の健康とご活躍をお祈りいたします。



= CONTENTS =

会長挨拶.....	P 1
コース長挨拶.....	P 2
クラブ紹介.....	P 3
活動報告.....	P 4
エッセイ.....	P 10
コロナ関係情報.....	P 13
コロナ感染防止活動中止事業.....	P 14
第10回定期総会の書面総会.....	P 14
編集後記.....	P 14



専科一期の会会員の皆様へ

コロナ感染で世界中に大きな影響が出ています。みなさんも知ってのとおり、末端の我々まで日常生活の中へ大きな影響を及ぼしています。私達の専科一期の会の活動もしかりです。そのために昨年度末から活動もままならない状況が続いています。公共施設の貸し出し中止から総会も開けず書面総会に切り替えさせて頂きました。初代会長の田中忠さんが東京オリンピックまで校友会を続けようという目標に向かって、走り続けてきましたがあっという間に、その時期に到達してしまいました。

しかしながら、皆さんもご存じのようにコロナ感染が世界中に広がり、東京オリンピックどころではなく、1年間延期されたものの、残念ながら我々が目標にしてきたオリンピックは中止せざるを得ないかもしれません。それでも少し落ち着いたので、大宮シーノの施設利用も再開されました。そこで9月4日大宮シーノに半年ぶりに役員の皆さんに集まって頂き、今年度の専科一期の会の役員会を開き、●今年度の校友会活動について、●記念誌発行及び思い出について、●今後の校友会のあり方について等3点について瀧澤会長、角田副会長、相場会計、大森前副会長、伊藤前会計、岡村広報担当の6人で検討いたしました。その結果をお知らせしますので、下記の事については、皆様のご協力をお願い致します。

役員会報告

(R2. 9. 4)

●今年度の校友会活動について

①校友会の企画事業は行わない。

②クラブ活動はクラブの責任で実施してもらう。

★俳句「遊」（まちづくり）、★俳句「ゆめクラブ」（郷土）は県民活動センターを使ったり、投稿俳句でまとめたりしながら活動を実施しています。

★専科合同グラウンドゴルフも公共施設の貸し出しが実施されましたので実施していません。

★太極拳も大宮シーノで練習を再開しています。

③コース活動は各コースの考えにお任せする。現在は、コロナの影響で実施したコースはありません。

④専科1期の会会報とHP掲載情報は、2021年4月まで発行します。

●記念誌（172頁）については、見積もりを2社から積算してもらい、オールカラーで製本にするのか（22万）、セピア色（表紙カラー11.6万円）で製本するのか、白黒（表紙カラー11万円・オール白黒10万円）で製本するのか、成徳のカラコピーしてホチキス止めにしてもらう（10万円）だけにするか等4件について見積もりの金額を見ながら予算10万円前後で収めるにはどれがいいか検討しました。

★その結果＝聖徳のカラコピーしてホチキス止めをして10万円前後で収まり、背表紙等は自分たちで行うことも出来るので、これを採用することにしました。

★発刊の挨拶＝瀧澤会長、記念誌の発行経費報告＝相場会計、あとがき＝角田副会長
専科1期の会の出会いはここから始まる＝岡村広報担当が分担して書きます。

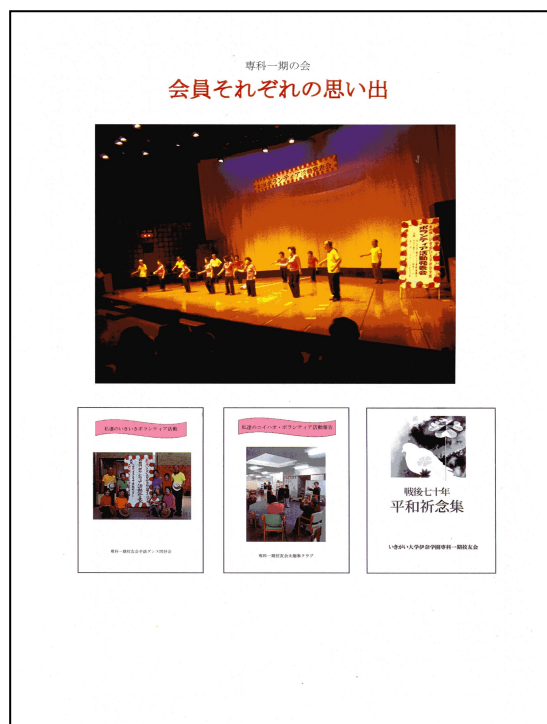
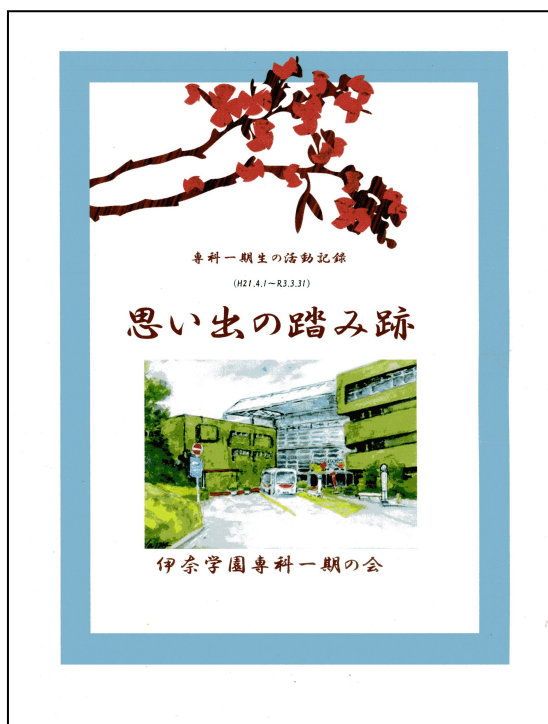
- 記念誌と一緒に配布する「私の伊奈学園での思い出」は会員の皆さんに書いていただきます。

A4判横書き明朝12ポイント1行40字×15行(600字)、健康＝15名(裏表4名、4枚)、郷土＝20名裏表4名、5枚)、まちづくり＝18名計53名(裏表4名、5枚)

A4判表紙2枚＋本文14枚＝16枚×60部＝960枚

A4判2包(500枚入り)×@300＝600円 印刷は岡村所属の退職者会の輪転機を使いホチキス止めまで機械が行いますので印刷代は無料。

★案内は広報担当がメール配信し及びメールなしの人には郵送で案内する。締め切りは11/30で、メールのある人は岡村宛てに送る。郵送する方は各コース責任者に送る。未提出者への請求は各コースの責任者が行う。案内文は後日作成する。



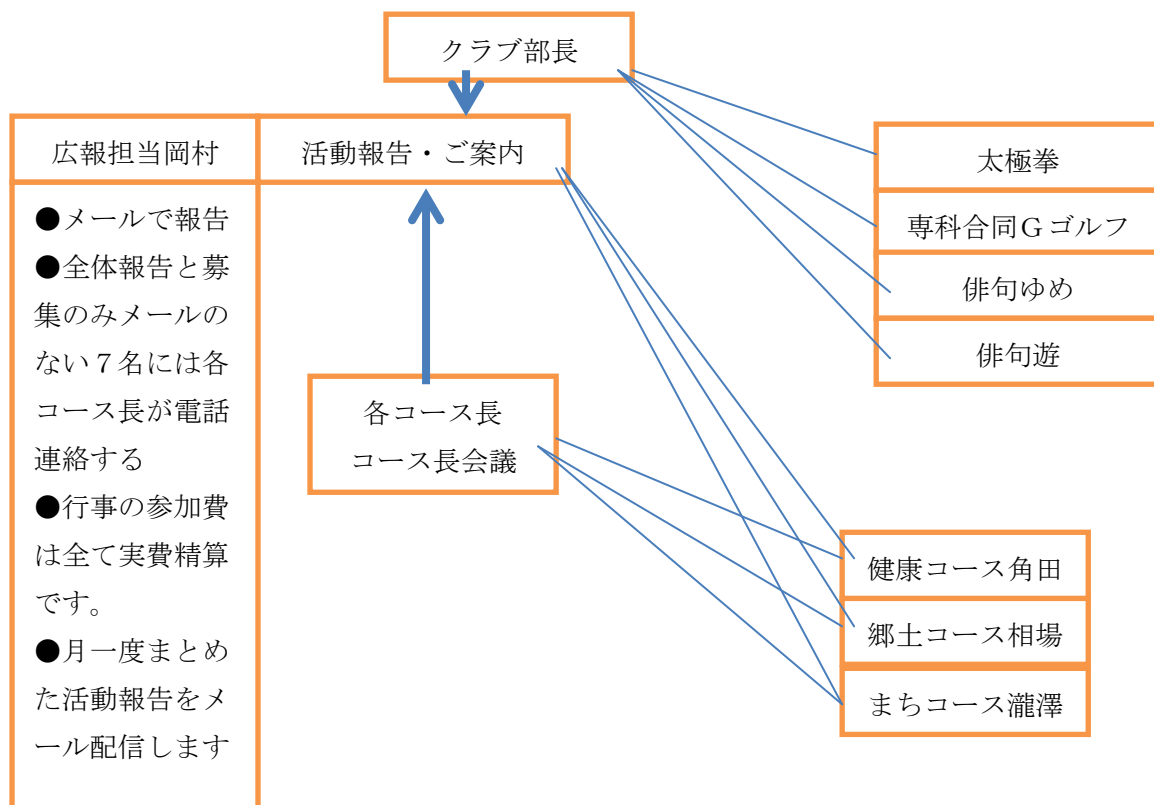
- 来年度の総会をどのような形でするのか検討する。

伊奈学園も社会の流れの変化から今年の3月31日をもって長い歴史を閉じ閉校しました。伊奈ネットクラブも役員も高齢化と後継者いないことや、伊奈学園閉校ということから伊奈ネットの役目も終えたという観点から解散します。そのため私達のHPも2021年6月に廃止になります。校友会も専科コースは1期を除いて全て解散しています。2年制にしても22期を除いて解散しています。

★私達は専科コース1期生として入学し、大勢の仲間との出会いが有り、途中の安藤元会長の時に組織改革を断行して「ワンコインで、東京オリンピックまで楽しく団結」を合言葉に活動してきました。その最終年であるオリンピックも新型コロナが世界を駆け巡り、

中止の危機に追い込まれています。私達は12年経っても出会いの絆を大切にしながら校友会活動を続けてきました。目標としてきた年度が来ましたので**会費制の校友会は記念誌発行を区切りに閉じます。**これからもクラブ活動、コース活動は続くことや、これまでの培ってきた絆を維持するために、**会費なしの専科1期の会を立ち上げ上げます。**組織としては各コースの現役員がコースの連絡員となり、コースをまとめていただき、全体への連絡は岡村広報担当があたり、クラブ活動やコース活動の報告を皆さんに情報連絡を続けることでいつまでも絆を断ち切ることなく続けて行こうということを決めさせていただきましたので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2021年度の専科1期の会組織



2020年度専科一期の会 会員名簿 計53名 (R2.4.1現在)

◎会長、▲副会長、▼会計、■コース長、◇広報担当兼HP管理人

●メールアドレスなし7名 ✕監事 ①HP委員

	健康づくりコース		郷土を知るコース		まちづくりコース	
1	新井 貞男		相場 恒夫	▼■	新井 真弓	
2	伊藤 盛夫 ①		浅見 法子		石井 一好●	
3	奥山 久子		有村 弘		石田 孝彦	
4	小野 正子●		安藤 允浩		伊藤 登	
5	斎藤 志津子		伊藤 昭子		内田 純子●	
6	杉本 キソ●		岩松 忠子		大島 修	
7	高田 忠良		梅田 博		大森 勇	■補佐
8	角田 進	▲■	岡田 時雄		柿沼 政夫	
9	埴 恒雄		岡村 昭則	◇①	久保田 圭子	①
10	星澤 恵美子●		小沢 孝		小金沢 憲男	
11	野本 達子		北氏 和雄		関 利雄	
12	吉澤 愛子		小林久美子		瀧澤 正高	◎■
13	松山 ノブ子●		田中 忠	①	田島 許子●	
14	鎮目 二三子●		中島 和子		玉置 貞明	
15	佐藤寿米子		野村 侃滋	✕	蔦川 忠義	
16			森田 啓資		中原 愛子	
17			八千代幸男		山田 宏明	①
18			吉野利美子		山田 泰子	
19			五反田龍子			
20			長澤 輝子			
計	15名	● 4名	20名		18名	● 3名

閉校は痛恨の極み

(令和2年3月31日閉校)

昭和51年5月11日、埼玉県老人大学運営委員会が設置され、同年7月21日に浦和ね熊谷の2学園が開設されました。平成2年4月に伊奈学園が開設されました。「いきがい大学設置運営規程に高齢者に対する学習機会を提供し、広く仲間作りを行いながら、心身の健康や社会参加によるいきがいを高め、併せて地域活動の推進のために必要な人材の育成を図ることを目的として大学を設置する」と規定されています。

私達が専科1期として入学した時の氏家健也所長は、大学の設置目的を定着させるべくイナ・ヴォイスの取組に力を入れていたことから、専科1期からもボランティア団体として「手話ダンス同好会」、「太極拳クラブはくつるの会」がイナ・ヴォイスに登録して各方面の施設訪問して活躍してきたことは言うまでもありません。また、伊奈学園全体のホームページをサポートする、伊奈ネットクラブ責任者であり、イナ・ヴォイスで活躍してきた鈴木進さんとの出会いによって、専科1期生のHPも、在校生中はどれほどお世話になった計り知れないものがあります。鈴木さんのサポートで2年目から自分たちのHPを曲がりなりに立上げて今日に至っています。

しかしながらボランティア活動者養成校としてのいきがい大学伊奈学園のあり方も日本が貧しくなる中で年金制度の受給年齢の引き上げ、人口減少等から高齢者も働かざるを得ない社会環境の変化に伴って、当初の考え方を變更せざるを得ず、30年間の歴史を積み上げてきた伊奈学園も令和2年3月末に閉校しました。それに伴い、先輩たちから後輩へと引き継がれて、これまで伊奈学園卒業生が積み上げてきたボランティア活動を支えてきたイナ・ヴォイスと伊奈いきがいネットクラブの活動も終了に追い込まれてしまいました。在学時から今日まで12年間にわたりHPを管理して来た者としては、痛恨の極みです。

専科1期の会のクラブによるボランティア活動も、コロナ感染防止観点から施設の訪問もままならず、令和2年2月18日（りふれ宮原）を訪問して打ち切りになり、会員の高齢化から

解散へ追い込まれてしまった。専科1期のボランティア団体とイナヴォイスの関係、専科1期HPといきがいネットクラブの関係を専科1期の踏み跡として残した次第です。



専科一期校友会初代、4代会長田中忠さんの踏み跡を偲ぶ

私と田中さんの出会いは、専科一期生として入学し、役員を決める時に、私は既に「さいたま市シニアユニバーシティ大宮校」のHPを管理しているので、専科一期のHPに携わりたいことや、自分のHPを立ち上げたいことから一番先に手を上げてHP委員に立候補した。次に田中さんも自治会の役員をしており、自治会のHPを立ち上げた思いもあってHP委員に立候補した。二人とも自分たちの目標が決まっているので、HP講習会ではよく勉強したことは言うまでもありません。卒業時まで、曲がりなりにも私が「わが青春」、田中さんが「南栗橋五丁目自治会」のHP立上げにこぎつけた。

卒業近くになると校友会立上げということになり、私が二年制18期校友会会長の田中康勝さんに校友会設立のアドバイスを受け、下書きをして田中さんに相談し、専科一期校友会は郷土コースで引っ張るということで初代の会長を田中さんに引き受けていただいた経過があります。当時、田中さんも65歳というバリバリの歳なので、最初の理事会で「校友会最初の理事会の挨拶で専科一期校友会は、伝統を作るという役目が否応になくあります。学園の皆さんからも注目されていることでしょう。荷が重いと思いますが、みんなでその役目を果たしていきます」と挨拶されているように、校友会の基礎作りに全力で当たっていました。ホームページ委員の傍ら、専科合同ハイキングクラブ・専科合同グラウンドゴルフクラブ立上げに参加されて、奥様の介護の合間にクラブ活動に参加され軌道に乗るまで先頭に立って活躍されてきました。

伊奈連協に加盟してから専科コースに負担のかかる運営を始めたので、私が公開質問状を出したりして、伊奈連協や伊奈ネットクラブからも睨まれましたが、専科一期校友会はアンケートの結果を受けて伊奈連協退会することになり、臨時総会も4代会長の田中さんに取り仕切ってもらいました。それからは専科合同の行事に力を入れてきました。社会情勢の流れからいきがい大学もこれまでの運営が立ち行かなくなり、専科コース廃止、二年制コース廃止、専攻科廃止、そして伊奈学園は閉校してしまいました。そのためボランティア団体を統括したイナ・ヴォイスの事業活動も打ち切り、伊奈学園関係全体の広報を担当していた伊奈ネットクラブも令和3年6月でホームページ閉鎖に追い込まれてしまった。

卒業生の殆どの校友会が解散している中で、専科一期校友会が今日まで続いているのは、田中さんが校友会最初の理事会の挨拶で「伝統を作る」という力強い挨拶から始まり、途中での校友会の改革では、1964年東京オリンピック強化選手でもあり、国体にも出場しているスポーツマンの田中さんから東京オリンピックまで続けようとの提案もあり、その実現に向けて会員一同がまとまり今日に至っています。そのオリンピックもコロナ感染の影響で1年延期したものの、実現も不透明な状況に置かれています。そのような世情の中で田中忠さんは旅立ってしまいました。田中さんとの友情を顧

みて、ここに伊奈学園で活動された田中さんの踏み跡をまとめて捧げることにした次第です。「★遠き日の君の青春（東京）オリンピック」合掌 令和2年12月26日





校友会だより

専科一期校友会 最終号
令和2年度 第2号
発行者 瀧澤 正高
会員総数 53名

専科一期校友会
会長 瀧澤 正高



ごあいさつ

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で人類の直面した未曾有の事態に襲われ、大勢の人々が亡くなり、ウイルスの怖さを実感しました。

昨年の世相を表す漢字に「三密」が選ばれました。三密とは、密閉・密集・密接から名付けられた言葉です。コロナウイルス感染症を避ける為にもこの三密を控えることが重要です。

人間には免疫力と自然治癒力があり、免疫力を高めるには

- ① バランスのとれた食生活
- ② 適度な運動
- ③ 質の良い睡眠
- ④ 良く笑ってストレスをためない

免疫力高めてコロナ感染を防ぎましょう。

昨年の第10回定期総会もコロナウイルス感染防止のため中止になり、書面総会に変更しました。休業・外出自粛の緊急事態宣言の発令があり、校友会活動の行事がほとんど中止になりました。その中でクラブ活動の俳句遊クラブ、俳句夢クラブは4月より「通信句会」など工夫を凝らして実施して、6月より大きな部屋で句会を行いました。専科合同グラウンドゴルフは6月から活動再開、三密の回避や検温、手指用の除菌消毒ポンプを用意して感染防止に努めて実施しました。太極拳クラブも活動しています。

今年は「思い出の踏み跡」集と別冊「12年間の振り返っての思い出」を発行いたします。

最後になりましたが、皆様が健康で充実した年になりますよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



=CONTENTS=

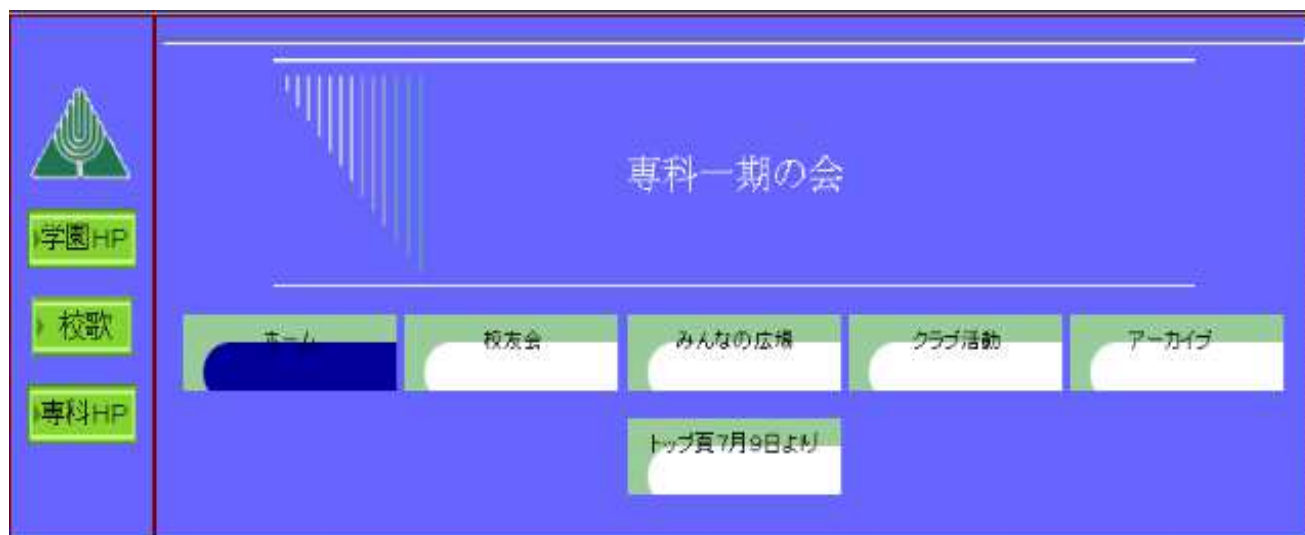
会長挨拶	P	1
各クラブ活動報告	P	2
伊奈学園閉校	P	6
ホームページ終了	P	8
イナヴォイス活動終了	P	10
イナヴォイス委員	P	11
ホームページ委員	P	14
みんなの広場	P	19
編集後記	P	20



(水彩画は山田泰子さんの作品です)

令和2年3月31日を以って彩の国いきがい大学伊奈学園は閉校しました！

それに伴い「伊奈いきがいネットクラブ」が管理してきました、「いきがい大学伊奈学園」のホームページは令和3年6月を以って終了します。専科一期の会ホームページも令和3年3月を以ってホームページ掲載を終了させていただきます。皆様には長い間ご協力をいただきありがとうございました。（専科一期の会HP管理人 岡村昭則）



今年も東日本大震災で被災された方々を支援していきましょう

就任のご挨拶

専科一期の会会長 龍澤 正高



会員の皆様には昨今の厳しい情勢の中、如何お過ごしですか。

★世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落で株式市場は大幅な値下がりを行っています。国内では一斉休校やイベントの自粛要請で経済に深刻な影響を及ぼしています。温暖化による気象状況の悪化も台風の強大化、豪雨災害は毎年発生しています。私たちの住む環境は年々厳しくなっていて、早急に手を打たなければ手遅れになりそうです。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん（17歳）のような若い人が声を上げて環境問題の解決を訴えています。一人一人が環境問題に関心を持つことが必要と思います。子や孫世代に先送りをしてはいけません。

★今年は東京オリンピック開催の年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で無事に開催されるか、心配になって来ました。新型肺炎の早期、終息を祈ります。彩の国いきがい大学がこの春生まれ変わります。「埼玉未来大学」になります。他の校友会が解散するなか、専科1期は荒波にも負けず、継続出来たことは皆様のご協力と広報担当の岡村さんご尽力のおかげと思っています。活動の記録は「専科1期の会ホームページ」を見れば各行事、ボランティア活動、クラブ活動の内容が見られます。他の校友会ホームページより内容が充実しています。

★専科一期の会HP掲載情報も令和3年3月で終了させていただきます。11年間にHP掲載情報120回、校友会だより62回等を発行したことに我ながら驚いています。

専科一期の会ホームページ3月掲載記事のお知らせ

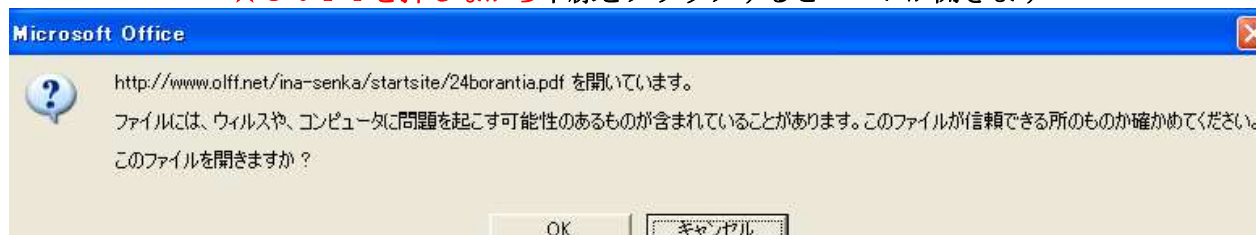
(最終号)

専科一期の会HPは校友会活動情報等を会員の皆様にお届けするため、メールアドレスのある方には毎月HP掲載情報を発行しています。パソコンのメールアドレスのない人のために年2回の校友会だよりを発行しています。

- 2020年度専科一期の会会報第2号発行 **最終号です。長い間ご協力ありがとうございました。**
赤字が3月にHPに掲載したものです。

<http://www.ina-ikigai.net/ina-senka01/>

★Ctrlを押しながら下線をクリックするとページが開きます



- 校友会 ◇田中忠さんの踏み跡 (R3. 1. 31)
◇いきがい大学伊奈学園閉校は痛恨の極み (R2. 11. 12)
◇イナヴォイス解散です (R2. 10. 5)
◇役員会報告 (R2. 9. 4)
◇2020年度専科一期の会会報第1号発行 (R2. 6/1)
◇第10回専科1期の会定期総会 (書面総会) (R2. 3/27)
- みんなの広場◇最新のコロナ情報は●**ここをクリックしてくださいNEW!!**
◇11月分コロナ情報 (R2. 12. 1)
◇10月分コロナ情報 (R2. 11. 3)
- 卓球 ◇卓球クラブ10年間ありがとうございました (H31. 3. 18)
◇伊奈学園専科1期卓球クラブ (伊奈専卓) 旅の思い出 (H31. 3. 18)
- 太極拳 ◇はくつるの会第31回ボランティア報告 (H28. 4. 15)
◇はくつるの会ハイキング (H29. 12. 16)
- 手話ダンス ◇手話ダンスだより 102号 (R2. 2. 18)
- 俳句「遊」 ◇俳句「遊」クラブ活動報告 123号 (R3. 3. 17) **NEW!!**
◇俳句「遊」クラブ活動報告 121号 (R3. 1. 31)
- 俳句「ゆめ」 ◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告 130号 (R3. 3. 28) **NEW!!**
◇俳句「ゆめ」クラブ活動報告 128号 (R3. 1. 31)
- グラウンドゴルフ合同◇**R2年度第5回専科合同グラウンドゴルフ月例会** (R3. 3. 12) **NEW!!**
◇R1年度第6回専科合同グラウンドゴルフ月例会 (R2. 2. 28)
<http://www.ina-ikigai.net/HP2/smile/>
- その他 ◇ボランティアニュース52号 (R1. 12. 7)イナヴォイスも解散です。 (R2. 10. 5)

クラブ活動の紹介



HPに活動報告を寄せられている10クラブに限定しています

- ★手話ダンス同好会
- ★太極拳クラブ
- ★はくつるの会ハイキング
- ★俳句「ゆめ」クラブ
- ★俳句「遊」クラブ
- ★卓球クラブ
- ★専科合同ハイキング
- ★専科合同グラウンドゴルフ部
- ★合同墨彩画展
- ★街道ウォーククラブ

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★手話ダンス同好会 令和2年12月9日解散											
10-180	23-345	23-300	23-230	23-180	23-161	23-140	22-120	13-73	15-78	1-6	176-1813

★手話ダンスについて

私達、いきがい大学伊奈学園専科「健康コース」第1期生として学んだ仲間達が、学園祭での「手話ダンス発表講演」活動をそのまま終わらせることなく、継続してこそ成果が出ると考え、在校時より話し合いを続け、手話ダンスを卒業後も学ぶことにより、さらにコースの親睦を深め、メンバーの健康維持を「病は気から」の講演の教えの基に、私達見た目の年齢を若く保つためには、何よりも気を若く持つこと、これからの人生の若返りも「気」からをモットーに活動し、



し、自分らの健康維持と地域に貢献することを目的に立ち上げました

★手話ダンス同好会だより 14号

H24. 4. 27 伊奈町志久のデーサービス介護施設 “ふくろうの杜



私達手話ダンス同好会はボランティア活動で地域貢献することを会の目標にしています。昨年4月に初めての施設訪問ボランティア活動を行ったのを手始めに今回9回目の施設訪問ボランティア活動を行いました。施設は伊奈町志久にあるデーサービス介護施設“ふくろうの杜”です。ここはまだ開業から半年の真新しい施設で、外観は木材で囲った雰囲気の良い感じで、施設の中も同様に木材が多用され、木の臭いが残っている明るい施設でした。14名のデーサービスの皆様の前で手話ダンスを計4曲踊りました。特に施設の皆様に教えた手話ダンスは皆さん手を振り振り楽しそうに踊ってくれました。途中懐かしい童謡歌を3曲一緒に唄いましたが、皆で声をはりあげ唄いました。

コロナで残念な幕切れとなってしまいました

私たち手話ダンス同好会は、平成22年3月の専科1期卒業後、健康づくりコースのクラス会代わりとして結成されました。結成時の会員数は20名を大きく超え、名実ともにクラス会として相応しいものでした。しかし、1年後に練習日をそれまでの月1回から月2回に増やしたこと、また高齢者介護施設等へボランティア訪問をすることになったのを機に、当初の主旨と違ってきたと感じられたのか、数人の方が退会されました。

以来10年、月2回の練習と年間10回程度のボランティア訪問を続けてきました。その間、ご自身の高齢化・お体の具合や家庭の事情等によりメンバーが少しずつ減り続け、年号が変わった頃には6人になってしまいました。それでも長年の積み重ねで、臆することなく施設の皆さんの前で手話ダンスを披露してきたのでした。

ところが、令和2年2月からの新型コロナウイルス感染拡大により、練習会場の確保難、ボランティア先からのキャンセルが相次ぎ、メンバー間で話し合った結果、誠に残念ながら活動終了のやむなきに至ったのです。

ここで、皆さんの前で演舞した回数を集計してみると、

校友会合同研修会（初舞台）	1回	
高齢者介護施設訪問	35施設	延べ 86回
放課後学童保育	1回	
いきがい大学伊奈学園の後輩への講義	3回	
ボランティア活動発表会出演	3回	
手話ダンスグループ交流会出演	3回	合計97回でした。

もしもコロナ禍がなければ100回を数えることができたのにと、それだけが心残りですが、先行きの見えない状況下、受け入れざるを得ないと判断したものです。

訪問した施設はさいたま市、上尾市、蓮田市を中心に計35施設。一番多く訪問したところは大宮白菊苑で、9回を数えました。そのほか3回、4回と回を重ねた施設も多かったです。そして、何と言っても行く先々の施設で皆さんから温かい声援を受けたことが忘れられません。ボランティアとして皆さんに元気をつけに行ったのに、逆に元気をもらって帰ってくるのがたくさんあったことは、望外の幸せでした。

終わりに、皆様には長年にわたり本会を応援していただきまして誠にありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。（文：角田）



22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★太極拳クラブ											
1-15	6-64	7-45	11-54	12-66	4-16	1-5	22-164	23-160	20-133	9-57	116-779

★太極拳クラブ立ち上げ

H21年5月12日のクラブ編成協議には15名が参加し、クラブ活動として、楊名時太極拳の指導者資格をお持ちの健康づくりコースの吉橋佳子さんを先生としてお願いし、郷土を知るコースの森田啓資部長の下、19名で活動を続けてきました。吉橋先生の厳しくも温かい指導により学園祭で演武を公開できるところまで到達しました。3月末で3名が都合で退会されましたが、残りの方全員一致で校友会のクラブ活動として継続していくことを決めました。



★太極拳“はくつるの会”第19回ボランティア報告

H26.7.17“ツクイ大宮公園デイサービス”5名が訪問しました。参加者は日帰りデーサー

ビスの方12名です。私達のボランティアは月曜か金曜日が多いので殆どの方が始めてお会いする方でした。皆さん何をするのか興味深そうに迎えて頂きました。こんにちはと葛川部員が”はくつるの会”の紹介と「太極拳をして今晚は良く眠れますよ」とPRをして始まりました。次に吉橋師範が”ニイハオ”と挨拶し、皆さんも元気良く”ニイハオ”と応え和やかな雰囲気です。ゆったりと吸って、吐いて吐いての呼吸法にうなずきながら一生懸命取り組んでくれました。



★次に健康運動八段錦から、一段錦(両手のひらを上に向けて伸ばし、胃腸を整える運動)、二段錦(弓を左右に引くポーズで心肺機能を高める運動)、三段錦(片手を上げ下ろしして、脾臓と胃を丈夫にする運動)、四段錦(首を回し視線を水平に移動し慢性的な体調不良を改善する運動)、六段錦(両手を交互に伸ばし、内臓を刺激する運動)を師範が丁寧に説明しながらゆったりと時間を掛けて行い、皆さんの顔色も徐々にピンク色になってきました。佳境に入りCD音楽と共に、楊名時太極拳24式の1～4番までを一緒に演じ、皆さん手足の動きがとてもスムーズになりました。

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度				計
★はくつるの会ハイキング											
9-66	11-67	6-37	9-57	3-17	2-10	2-11	1-6				43-271

★はくつるの会ハイキングクラブ立ち上げ

県活が休館のために太極拳を練習できない月曜日が有ることが思わぬ副産物を産んでいます。すなわち、そのような月曜日を利用して月に一度のペースで、ハイキングを実施しています。登山を趣味にしている方達が音頭をとって、手頃な山（丘）を選んでくださるので、ゆったりのんびりと季節の花々を愛でたりしながら汗を楽しんでいます。

実施日	行き先	26. 1. 26	雷電山・青梅丘陵
22. 6. 21	大平山	3. 29	御岳山・日出山・青梅梅林
7. 5	鳴虫山	4. 29	箕山
8. 17	切り込湖・刈込湖～光徳牧場	5. 28	北高尾山稜
9. 13	物見山～日和田山	9. 15	棒ノ嶺
10. 29	那須朝日岳	27. 5. 29	大霧山と秩父高原牧場
11. 7-8	千葉白浜	12. 4	葉原峠～風布みかんの里
12. 6	高尾山	28. 4. 1	城山カタクリの里
23. 1. 16-17	日光霧降湯屋・大江戸温泉物語	9. 30	高尾山
2. 21	子の権現～竹寺	29. 12. 10	高尾山
4. 13	鐘撞堂山～円良田湖～羅漢山		
5. 30	高幡不動・関八州見晴台		
6. 11	日光・高山		
7. 16	霧降高原・大山		
9. 24	御岳山		
10. 9	伊豆ヶ岳・正丸峠		
11. ?	高水三山		
12. 9	足利行道山		
24. 1. 18	石尊山		
2. 18	四阿屋山		
3. 24	越上山・顔振峠		
5. 26	筑波山		
6. 23	陣馬山		
10. 21	石老山		
11. 25	丸山		
12. 10	大山		
25. 2. 24	城ヶ崎海岸「自然研究路」		
4. 29	琴平丘陵から羊山公園		
5. 18	奥多摩むかし道		
7. 6	大霧山～定峰コース		
9. 18	那須茶臼岳・朝日岳		
10. 30	金時山		
11. 23	高尾山		
12. 14	天覧山～多峰主山		

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★俳句「ゆめ」クラブ R2はコロナの為に通信句会5回実施											
13-199	12-164	11-145	12-180	12-206	12-195	11-165	11-161	12-138	10-148	7-91	123-1792

立ち上げ経過

新たに設立された「俳句ゆめクラブ」の初研修会は、平成22年3月23日に15名が参加して、和気あいあいのうちに開催されました。講師役の梅田さんは「みなさん、これから熱心に取り組む雰囲気を感じて、とても期待しています」と新人たちの成長を楽しみにしています。



「俳句ゆめクラブ」便り 1

猪俣千代子先生の授業をきっかけに作られた俳句ゆめクラブもそろそろ半年になります。最初の2回は梅田先生から俳句とは・・・という基本を18名のクラブ員が学び、3回目からいよいよ俳句に取り組みました。郷土のクラスで受けた授業の時とは違って正式な句会にはいろいろな作法（ルール）があるのでまずそれに慣れるのが第一、今までに何回か経験しながらもまだ完全には身に付いてないかも・・・（作法通りにやるのを忘れていて先生から注意、“あっ、いけねえ！”となってそこで皆が爆笑、というのもクラス仲間だけの集まりという和やかな雰囲気のせいでしょう）。いままでのところ、セミナールームで2回の句会と1回の吟行（及び句会）を行い会員それぞれの個性豊かな秀作・凡作を味わっています。

俳句とは己が自然と出るもののように、1年間のクラスでの付き合いでは分からなかった面を知ることが多々あり、これ又楽しからずや！というところ。6月22日には初めて屋外で作句する吟行を開催しました、場所は上尾円山公園。季節柄アジサイ、菖蒲、睡蓮などの花々が咲いており、緑豊かな公園で池を巡りながら各自頭をフル回転してその午後の句会に提出する3句の俳句作りに苦労したのも楽しい経験でした。

☆☆吟行の句もそれぞれに花菖蒲☆☆



活動は月に1回（原則・第4火曜日）ですが、セミナールームでの句会と屋外での吟行を交互に行う予定で、次回の吟行は8月に行田の古代蓮の里に行く予定です。

（「俳句ゆめクラブ」便り作成者 小林健一郎）

※会報作りを通して会員を結びつけている小林さんの存在は「俳句ゆめクラブ」の要です。

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★俳句「遊」クラブ R2はコロナの為に通信句会5回実施											
6-80	11-156	11-144	12-155	12-140	12-118	10-105	11-97	12-101	10-81	7-62	114-1239

立ち上げの経過

平成22年4月20日に、この3月に専科1期「まちづくり」コースを卒業した有志13名が集まり、俳句クラブを立ち上げました。講師は同じく専科1期「郷土を知る」コースをご卒業の梅田 博先生にお願いすることになりました。

俳句遊クラブ活動報告73

平成28年10月18日(火)、俳句遊クラブは北本市野外活動センター(まほろばの郷)にて吟行しました。先月は台風で中止になりましたが再度チャレンジ、遊クラブ全員参加(11名+先生)の、秋晴れで最高の「吟行日和」となりました。まほろばの郷の「まほろば」とは、本当に優れた良いところ・場所という意味だそうです。近くには氷川神社、厳島神社、須賀神社と3つの神社がありました。皆でそれぞれ句を作りました。ランチはこれまた最高……。歩いてすぐのイタリアンレストランで舌鼓をうちました。活動センターの温もりのある会議室に戻って句を作り、いつものおとぼけあり、笑いありの楽しい句会となりました。来月は別所沼公園へ吟行の予定です。(新井真弓 記)



梅田先生の句

秋祭真白く大き幟立つ

秋空を一刀両断飛行機雲

秀麗やお宮参りの子は眠り

10月の句(5名自薦の句)

秋澄みて連山青く近くあり 石井一好

秋深し宮司の衣赤く冴え 市川三重子

秋高しヨガサークルが芝の上 鈴木清子

秋天に幟はためく村の杜 高橋幸子

宮参り祈りとどけむ神無月 蔦川忠義



22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度		計
★卓球クラブ											162回
21-315	18-250	22-254	18-203	20-257	16-177	18-182	18-175	11-114	解散		1927名

立ち上げの経過

H22.5.12 クラブ結成に17名の出会いがありました。「メンバーの一人ひとりが卓球を楽しみ、メンバーの親睦を図るとした目標」を達成して卒業しましたが、この絆で今日まで卓球クラブの活動は続いています。



久しぶりの忘年会（部活動番外編）

専科1期を卒業してから6年半になりました。我が伊奈専卓は、毎月1回から2回の練習を県活体育館で元気に続けてきました。とは言っても、年々体のどこかに不調が見つかるのは仕方ありません。そのため、しばらく部活動番外編の催し物がありませんでしたが、久しぶりの集まりは大宮駅東口からほど近い「うおや一丁」での忘年会となりました。



平成28年12月5日、午前の練習に続き夕方5時半の定刻前には男性6人、女性5人の11人が全員集合。真面目なものです。4,000円飲み放題のコースは全8品で、枝豆、めいめい盛りのサラダ、豚チゲ鍋、お刺身5天盛り、カニみそピザ、イカ焼き、鮭のわっぱ飯と出てきて、最後はデザートかと思いきや鳥の唐揚げとポテトフライと、一番先に出てきそうなものが出されてビックリ。これは料理を食べ終わってもグイグイ進む飲み物のつまみがないと寂しかろうという店側の気配りかもしれません。それにしても最近飲み放題の元が取れない集まりが多いなか、我が伊奈専卓の健啖ぶりはさすがと言うべきか。来年2月には3度目の草津冬期合宿の計画も決まり、K部長の下、ますます結束を固めるのであります。(文、写真：角田)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度				計
★専科合同ハイキング											
	2-17	3-38	1-3	2-24	2-28	1-2	解散				11-112

立ち上げ経過

専科2期生が卒業したことで、専科は専科でまとまろうと専科一期と二期の会長の話し合いでグラウンドゴルフ、音楽会、学習会やハイキングを合同で行うこととなり、その一環としてオープン参加としてハイキングも現地集合ということで実施してきました。

第3回合同ハイキング・関さんの体力に感服！

平成24年4月9日(月)、第3回専科校友会合同ハイキングは桜日和となり、大宮公園周辺の花見をしながら★土呂駅⇒市民の森⇒土呂の地蔵堂⇒寿能城跡⇒大宮第二公園⇒大宮公園・氷川神社⇒大宮駅まで歩きました。専科校友会合同事業として実施したものです。東北線土呂駅に集合したのは、一期生16名・二期生12名で何と28名です。その中には大宮に住んでいる専科一期の最高年齢で米寿を過ぎている関利雄さんもいます。

★関さんと私のお付き合いが始まったのは6年前のさいたま市シニア大学に入学して2年間一緒に学び、クラブ活動のパソコンクラブでのお付き合いは現在も続いています。関さんがシニア大学、いきがい大学川越学園、伊奈学園専科一期校友会と21期等の校友会の行事に元気に参加している姿を見るに付け、我々にとっても大変励みになっています。★いつかある時、関さんに「元気の源は何ですか」とお訪ねすると。



「スケジュールに参加行事を一杯入れて、それに参加するために気持を集中させることです。だから私は健康に対する特別に何もやっていません」と返事が返ってきました。それは関さん流の健康法なのです。関さんの健康をお手伝いすることも兼ねて、これまでもシニア大学や伊奈学園専科校友会で関さんに「太平洋戦争体験」を講演していただきました。講演する度に関さんの目は輝いており、大勢の人に感銘を与えたことは言うまでもありません。関さんを支えていたのが最愛の奥様ですが、その奥様が一昨年亡くなられ悲しみで

行事参加も一時遠のいていましたが、また、復活されて今回の合同ハイキングにも関さんの参加をいただき、我々も、また、関さんから元気を貰いました。歩き出して2時間も桜狩しながら大宮第二公園まで来ると、みなさんへトへトに歩き疲れてしまいました。桜の花が枝垂れる下での昼食は美味しく楽しみました。昼食後、解散したので私は帰りましたが、仲間曰く、周辺を散策してから大宮駅に向かう途中で喫茶店に入ってお茶タイムとしたところ、参加者の中で最年長である89歳の関さんが席に座るや、直ぐにケータイ電話を取り出して歩数計を見て、日進の家から土呂駅まで歩いて来た歩数も加えて今日は1万4千歩も歩いたと呟いたので、周りの人はその健脚ぶりに驚いてしまったとか。それにしてもスピードといい、最後まで遅れず歩かれた体力に感服するとともに、後輩の我々は見習わなくてはとの思いを強くしたことを話してくれました。これからも関さんが参加されることを願って止みません。(岡村)



22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★専科合同グラウンドゴルフ部 2-11											
1-4	1-17	3-39	1-15	1-15	4-40	4-34	22-102	16-102	24-99	5-27	82-494

立ち上げ経過

H22.5.12 クラブ結成に参加したのは13名でした。経験者の小金澤さんに部長になっていただき、1年間活動し、卒業後は先輩達のクラブで1年間活動しましたが、専科2期生が卒業したことで、専科は専科でまとまろうと専科一期と二期の会長の話し合いで、在学中のクラブを引き継いだ形で専科グラウンドゴルフ部を結成して今日に至っています。現在は専科1期から6期までの方の方が参加し、部員も50数名と大所帯になりましたが、活動は月2回、年一度大会や夏休み合宿等も実施しています。

合同グラウンドゴルフクラブ創設一周年記念大会

専科一期、二期の仲間が立ち上げた合同グラウンドゴルフクラブも創設してから一年が経ちます。平成25年2月1日(金)、県民活動センターのグラウンドで一周年記念大会を開催したところ、19名(女性4名、男性15名=専科一期11名)の方々が参加されました。当日は風もなく小春日和と好天に恵まれた中で19名が元気にプレイを楽しみました。



グラウンドの整備が悪くどんなスコアが出るのか心配していましたが、いざプレイを始めてみれば、皆さんの実力はグラウンドコンディションもなんのそので、19名中13名の方がホールインワンを連発し、一周年記念大会を盛り上げてくれました。

★28年7月24日・25日、風爽やかな高原の尾瀬岩鞍リゾートにて夏合宿(1泊2日)を開催しました。総勢18名参加

(専科1期からは7名、2期以降で11名参加)

大宮9時発で北上尾駅を經由して途中、上里SAで休憩し目的地に向かいました。1日目はGG練習会、練習後、併設されている

「ゆり園」を行きはリフトに乗り、帰りは徒歩で降りて見事に咲いた百合を見学しました。流石、群馬県片品村に広がる関東最大級の花畑を満喫しました。温泉に浸かり汗を流しました。夜は宴会、美味しい料理に喉を潤すビールで盛り上がり、カラオケやダンスで楽しい夜を過ごしました。2日目はGG大会を開催、高原特有な涼しい風を感じながらプレーする喜びを感じました。



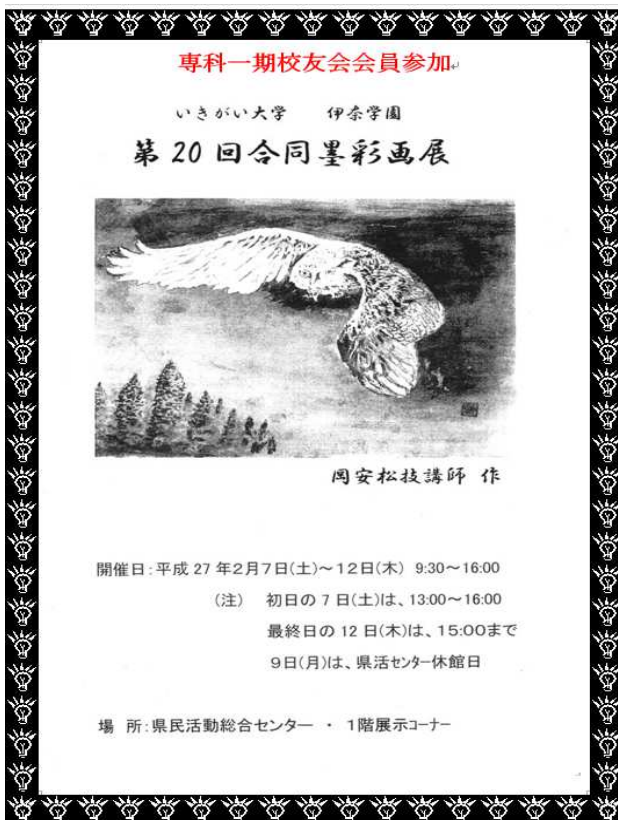
22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★合同墨彩画展											
1-3	1-6	1-6	1-5	1-5		2-10	1-5		1-5		9-45

立ち上げ経過と卒業後の活動

入学当初はクラブ発足規定の10人に足らず、5月末に8人が集まり何とかクラブとして学園に認められ誕生しました。卒業後は2年制に進まれた方はそちらの墨彩クラブへ、専科コースで終わった方は専科2期の墨彩クラブに入り、それぞれ活動を続けています。年一度の合同墨彩画展でお互いの作品を見ることができます。

第20回合同墨彩画展

(H27. 2. 7-12)



★伊藤 登さん「雪山の樹林」



★大井昭子さん「名月」



★滝澤正高さん「奥入瀬」



★玉置貞明さん「高麗川の春」



★山田泰子さん「溪流」



22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	計
★街道ウォーククラブは天谷さんの逝去により廃部になりましたが、その功績を称えて最後まで掲載します。											
15-125											15-125

立ち上げの経過

いきがい大学伊奈学園の生活に慣れてきたものの、何か物足りなさを感じ、学園での学習の外に、プラスα的な事は出来ないかと考えて、中山道の宿場を中心として、史跡と施設見学を抱き合わせた形で活動しようと街道ウォークを天谷さんが立ち上げ、卒業後も続きましたが、天谷さんが亡くなったことで廃部になりました。思い出の史跡めぐり等を紹介します。

第7回ウォーキングサークル幸手宿

4月6日(火)は、お天気にも恵まれて桜日和となりました。22名と大勢の方が参加され、日光街道「幸手宿の史跡」めぐりと権現堂の桜を楽しみました。。ここで少し「幸手宿」と「権現堂の桜」の歴史を紐解いて見ましょう。「幸手宿」★大和朝廷時代になると幸手を含めた関東にもその影響が及び、日本武尊が東征に際して「薩手が島」に上陸、田宮の雷電神社に農業神を祭ったという言い伝えが残っています。★江戸時代になると幸手は交通の要地として今に続く繁栄の礎を築くこととなります。まず、五街道のひとつ日光道中と徳川将軍家が日光参詣に使った御成道が合流し、さらに筑波道が分岐する宿場町として栄えました。そして街道が整備され参勤交代や交易の往来が盛んになるにつれて、現在の市街地につながる基礎が形作られてきました。「権現堂の桜」★江戸時代天正年間に利根川の支流（現在は分流）である権現堂川の堤防として築かれたものと言われ、かつては6キロにわたり約3000本の桜があり、大正時代から桜の名所として賑わっていました。また、明治9年に明治天皇が東北巡幸の際に立寄ったことから、行幸) 堤とも呼ばれるようになりました。※ウォーキングサークルは、クラブ活動としてではなく、サークル活動として他のコースの皆さんにも門戸を開いています。次回は5月18日越谷宿です。参加をお待ちしています！



あとがき

合縁奇縁



専科1期生の活動記録「思い出の踏み跡」、いかがでしたか？ この冊子の発刊に当たっては、編集の岡村さんの絶大なるご努力の賜物ではありますが、校友会が発足してからホームページに投稿していただいた皆様のご協力があってこそでもあります。しかも、ホームページに掲載されたのは、この冊子の何倍にもなる量でした。まさに、活動も記録も皆さんで作りに上げてきたものだと言えましょう。

人との出会い…それはまことに不思議なものです。それまで全く縁（ゆかり）のなかった者同士が、専科1期という枠組みの中で出会い、学び、活動してきました。私ごとで恐縮ですが、会社が経営危機になれば真っ先にリストラの対象になるかどうかの崖縁（ふち）にいた私でしたが、何とか60歳の定年を迎えることができました。その後、1年ごとの再雇用嘱託契約で2年目を迎えたとき、職場では私の後任に教えることはなくなり、一つの仕事を二人でこなすような状況になりました。そこで、あと1～2年は勤められる状況ではありましたが、平成21年7月に迎える62歳の誕生日をもって退職することにし、その年の4月から新設されたいきが大学伊奈学園専科1期に入学したのでした。ですから、あと1年勤めていれば専科1期の皆さんとは出会わなかったこととなります。まさしく、奇なる縁（えにし）で結ばれた仲間と言えましょう。

専科1期の1年間はあっという間に修了し、約半数の人が続く2年制の21期に進学するなか、専科1期校友会が結成されました。2年後には21期の校友会が出来、そこで二つの校友会のどちらを選ぶか、二つとも所属するのかの選択を迫られました。結果として、21期校友会は2年遅れて発足したのに1年早く解散してしまいました。明らかに専科1期の会の方が、結束が強かったのです。因縁（いんねん）というと、今ではマイナスの意味に使われることが多いようですが、本来は、人と人が互いに気心が合うかどうかは、みな因縁という不思議な力によるものであるという仏教用語で、これはもう、ご縁（えん）があったというほかありません。

人生の最終コーナーを回って直線に入った今、過ぐる11年間にわたる校友会活動の記録集である本冊子を、皆様の思い出の縁（よすが）として、折にふれ、お手にとって再読されますことを願ってやみません。

令和3年3月吉日

令和2年度副会長 角田 進

専科一期生の活動記録
思い出の踏み跡

2021年4月29日発行

編集・発行	専科一期の会
発行人	瀧澤正高
編集人	岡村昭則

印刷所	印刷センター成徳 港区芝大門2-12-6 TEL03(5472)3611
-----	--

